

ニ任ズ

理事ハ組合員中ヨリ選舉立會人二人乃至四人ヲ指名スベシ

第二十四條 議員ノ選舉ハ無記名投票ニ依リ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

第二十五條 組合員ハ選舉ノ當日投票時間内ニ自ラ選舉場

ニ到リ投票用紙ニ被選舉人一人ノ氏名ヲ記載シテ投函スベシ

投票用紙ハ理事ノ定メタル一定ノ式ヲ用フベシ

第二十六條 左ノ投票ハ之ヲ無効トス

- 一 成規ノ用紙ヲ用ヒザルモノ
- 二 現ニ議員ノ職ニ在ル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 三 一票中二人以上ノ被選舉人ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 四 被選舉人ノ何人タルカヲ確認シ難キモノ
- 五 議員タル資格ヲ有セザル者ノ氏名ヲ記載シタルモノ
- 六 被選舉人ノ氏名ノ外他事ヲ記入シタルモノ但シ職業、身分、住所又ハ敬稱ノ類ヲ記入シタルハ此ノ限ニ在ラズ
- 七 被選舉人ノ氏名ヲ自書セザルモノ

ナルトキハ選舉長之ヲ決スベシ

第二十七條 投票ノ效力ハ選舉立會人之ヲ決定ス可否同數

ナルトキハ選舉長之ヲ決スベシ

第二十八條 議員ノ選舉ハ有效投票ノ最多數ヲ得タル者ヲ

能ハザルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フベシ

第三十四條 議員ノ選舉法令又ハ規約ニ違反シ選舉ノ結果

ニ異動ヲ生ズルノ虞アル場合ニ於テハ組合員ハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ當選ニ關シテハ第三十一條ノ公示ノ日ヨリ三十日以内ニ選舉又ハ當選ノ取消ヲ地方長官ニ申立ツルコトヲ得

組合員前項ノ申立ヲ爲ストキハ組合ヲ經由シテ申立書ヲ地方長官ニ差出スベシ此ノ場合ニ於テハ組合ハ意見ヲ附シ七日以内ニ地方長官ニ之ヲ進達スベシ

議員ハ選舉又ハ當選ノ取消アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第三十五條 選舉ノ取消アリタルトキハ三月以内ニ更ニ選舉ヲ行フベシ

當選ノ取消アリタルトキハ第三十二條及第三十三條ノ例ニ依リ更ニ當選者ヲ定ムベシ

第三十六條 本令ニ規定スルモノノ外議員ノ定數、資格及

選舉ニ關スル事項ハ規約ノ定ムル所ニ依ル

第三十七條 組合會ハ理事之ヲ招集ス

議員定數ノ三分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ組合會招集ノ請求ヲ爲シタルトキハ理事ハ七日以内ニ

其他 國民健康保險法施行規則

以テ當選者トス但シ議員ノ定數ヲ以テ有效投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ六分ノ一以上得票アルコトヲ要ス
前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ年長者ヲ取り年齢同ジキトキハ選舉長抽籤シテ之ヲ定ムベシ

第二十九條 選舉長ハ選舉錄ヲ調製シテ選舉ノ顛末ヲ記載シ選舉立會人ト共ニ之ニ署名スベシ

選舉錄ハ投票及關係書類ト共ニ議員ノ任期間理事ニ於テ之ヲ保存スベシ

第三十條 當選者定マリタルトキハ理事ハ直ニ當選者ニ當選ノ旨ヲ告知スベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ告知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ理事ニ申立ツベシ

第三十一條 議員就職シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ公示スベシ議員退職又ハ死亡シタルトキ亦同ジ

第三十二條 當選者當選ヲ辭シタルトキ、選舉ノ期日後ニ於テ議員タル資格ヲ有セザルニ至リタルトキ若ハ組合員タラザルニ至リタルトキ又ハ死亡者ナルトキハ第二十八條第一項但書ノ得票者ニシテ當選ト爲ラザリシ者ヲ以テ順次當選者トス

第三十三條 選舉スベキ議員ノ數ニ足ル當選者ヲ得ルコト

之ヲ招集スベシ

組合會ノ招集ハ會議ノ目的タル事項ヲ示シ急施ヲ要スル場合ヲ除クノ外開會ノ日ヨリ少クトモ三日前ニ之ヲ爲スベシ

組合會開會中急施ヲ要スル事項アルトキハ理事ハ直ニ之ヲ其ノ會議ニ付スルコトヲ得

組合會ハ理事之ヲ開閉ス

第三十八條 組合會ハ議員定數ノ半數以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ但シ第四十一條ノ除斥ノ爲半數ニ滿チザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第三十九條 組合會ノ議事ハ出席議員ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第四十條 組合ノ分割、合併若ハ解散又ハ規約變更ノ議事ハ議員定數ノ四分ノ三以上ノ多數ヲ以テ之ヲ決ス

第四十一條 議長及議員ハ其ノ一身上ニ關スル事項ニ付テハ其ノ議事ニ參與スルコトヲ得ズ但シ組合會ノ同意ヲ得タルトキハ會議ニ出席シ發言スルコトヲ得

第四十二條 議員ハ自ラ會議ニ出席シ表決ヲ爲スベシ但シ病氣其ノ他已ムヲ得ザル事由ニ因リ會議ニ出席スルコト能ハザル議員ハ豫メ書面ヲ以テ出席議員ニ委任シテ表決ヲ爲スコトヲ妨グズ此ノ場合ニ於テハ之ヲ會議ニ出席シタルモノト看做ス

第四十三條 組合員ハ組合會ノ會議ヲ傍聽スルコトヲ得但シ組合會ニ於テ傍聽禁止ノ議決アリタルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第四十四條 議長ハ會議録ヲ調製シ出席議員二人以上ト共ニ之ニ署名スベシ

第四十五條 組合會ハ會議規則ヲ設クベシ

第四節 役員

第四十六條 理事ノ定數ハ三人ヲ下ルコトヲ得ズ

第四十七條 國民健康保險法第二十八條第三項ノ規定ニ依ル理事以外ノ理事ノ任期ハ四年トシ選任ノ日ヨリ之ヲ起算ス

補缺理事ハ其ノ前任者ノ殘任期間在任ス
理事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第四十八條 組合ノ事務ハ規約ニ別段ノ定ナキトキハ理事ノ過半數ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ理事長ノ決スル所ニ依ル

第四十九條 理事ハ規約、財産目錄、事業報告、組合原簿及組合會ノ會議録ヲ事務所ニ備フベシ

組合員前項ノ書類ノ閱覽ヲ求メタルトキハ理事ハ正當ノ事由アルニ非ザレバ之ヲ拒ムコトヲ得ズ

第五十條 國民健康保險法第四十五條ノ規定ニ依リ解職セ

ラレタル者ハ二年間組合ノ役員タルコトヲ得ズ

第五十一條 第十九條、第三十一條及第三十六條ノ規定ハ理事長及理事ニ之ヲ準用ス

第五節 財務

第五十二條 組合ノ會計年度ハ政府ノ會計年度ニ依ル

第五十三條 組合ハ每會計年度收入支出ノ豫算ヲ調製シ前年度二月末日迄ニ認可申請ヲ爲スベシ

豫算ヲ更正又ハ追加シタルトキハ其ノ都度認可申請ヲ爲スベシ

豫算ニ定メタル各款ノ金額ハ彼此流用スルコトヲ得ズ
豫算ニ定メタル各項ノ金額ハ組合會ノ議決ヲ經テ之ヲ流用スルコトヲ得

第五十四條 組合ハ組合會ノ議決ヲ經テ繼續費ヲ設クルコトヲ得

第五十五條 組合ハ豫算超過ノ支出ニ充ツル爲豫備費ヲ設クベシ
豫備費ハ規約ヲ以テ定メタル費途以外ノ費途ニ之ヲ充ツルコトヲ得ズ

第五十六條 組合ノ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ閉鎖ス

第五十七條 組合ハ少クとも保險給付ニ要シタル費用ノ前

三年度ノ平均年額ニ相當スル額ニ達スル迄毎年度ノ剩餘金中ヨリ該平均年額ノ百分ノ五以上ニ相當スル額(剩餘金ガ該平均年額ノ百分ノ五ニ達セザルトキハ其ノ全額)ヲ準備金トシテ積立ツベシ

前項ノ限度内ノ準備金ハ保險給付ニ要スル費用ニ不足ヲ生ジタルトキニ非ザレバ之ヲ使用スルコトヲ得ズ

第五十八條 準備金其ノ他ノ財産ノ管理方法ハ規約ヲ以テ之ヲ定ムベシ

第五十九條 組合ハ支拂上現金ニ不足ヲ生ジタルトキハ準備金ニ屬スル現金ヲ繰替使用シ又ハ一時借入金ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ繰替使用シタル金額及一時借入金ハ當該會計年度内ニ之ヲ返還スベシ

第六節 分合及解散

第六十條 組合合併ノ認可申請書ニハ合併スル各組合ノ名稱及組合員ノ員數並ニ合併後存続スル組合又ハ合併ニ因リテ成立スル組合ノ名稱ヲ記載シ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ

- 一 合併後ニ於ケル事業計畫書
- 二 認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル各組合ノ財産目錄

其他 國民健康保險法施行規則

合併後存続スル組合アル場合ニ於テハ合併ニ伴フ規約變更ノ認可申請ハ合併ノ認可申請ト同時ニ之ヲ爲スベシ

第六十一條 合併ニ因リテ成立スル組合ノ規約及初年度ノ收入支出ノ豫算ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ規約ノ認可申請書ニハ保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面ヲ添付スベシ

第一項ノ認可申請ハ合併ノ認可申請ト同時ニ之ヲ爲スベシ

合併ニ因リテ成立スル組合ノ被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ範圍ハ各組合ニ於テ選任シタル者共同シテ之ヲ定メ合併ノ認可申請ト同時ニ認可申請ヲ爲スベシ

第六十二條 組合分割ノ認可申請書ニハ分割スル組合、分割後存続スル組合及分割ニ因リテ成立スル組合ノ名稱及組合員ノ員數ヲ記載シ左ニ掲グル書類ヲ添付スベシ

一 分割後ニ於ケル各組合ノ事業計畫書

二 認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル分割スル組合ノ財産目錄

第六十三條 分割ニ因リテ成立スル組合ノ規約及初年度ノ

其他 國民健康保險法施行規則

收入支出ノ豫算ハ其ノ組合ノ組合員タルベキ者ニ於テ選出シタル者之ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クベシ
前項ノ規約ノ認可申請書ニハ保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面ヲ添附スベシ
第一項ノ認可申請ハ分割ノ認可申請ト同時ニ之ヲ爲スベシ
分割ニ因リテ成立スル組合ノ被保險者ニ對シ診療又ハ藥劑ノ支給ヲ爲ス醫師、齒科醫師又ハ藥劑師ノ範圍ハ其ノ組合ノ組合員タルベキ者ニ於テ選出シタル者之ヲ定メ分割ノ認可申請ト同時ニ認可申請ヲ爲スベシ
分割ニ因リテ成立スル組合ニ於テ承繼スル權利義務ノ限度ノ認可申請ハ分割ノ認可申請ト同時ニ之ヲ爲スベシ
第六十四條 組合解散ノ認可申請書ニハ認可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル財産目錄ヲ添附スベシ
第六十五條 組合員ノ缺亡ニ因リ組合解散シタルトキハ組合ノ名稱及解散ノ年月日ヲ理事タリシ者ニ於テ遲滞ナク地方長官ニ届出ヅベシ
前項ノ届書ニハ解散ノ日ノ現在ニ依リ調製シタル財産目錄ヲ添附スベシ
第六十六條 組合ノ分割又ハ合併ノ認可ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ分割又ハ合併ニ因リテ成立又ハ消滅シタル組合ニ付左ノ事項ヲ告示スベシ

一 組合ノ名稱
二 事務所ノ所在地
三 組合ノ地區（特別國民健康保險組合ニ在リテハ組合員ノ範圍）
四 認可ノ年月日
組合解散シタルトキハ地方長官ハ前項ノ例ニ依リ之ヲ告示スベシ
第六十七條 第七條乃至第九條ノ規定ハ合併又ハ分割ニ因リテ成立シタル組合ニ之ヲ準用ス但シ同條中發起人トアルハ第六十一條又ハ第六十三條ノ規定ニ依リ選任又ハ選出セラレタル者トス
第六十八條 組合合併又ハ分割シタル場合ニ於テハ理事又ハ理事タリシ者ハ其ノ合併又ハ分割ニ因リ成立シ又ハ存續スル組合ノ理事ニ對シ遲滞ナク其ノ事務ノ引繼ヲ爲スベシ
事務引繼完了シタルトキハ引繼ヲ爲シタル者及引繼ヲ受ケタル者連署ノ上完了ノ日ヨリ五日以内ニ其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ヅベシ
第六十九條 清算終了シタルトキハ清算人ハ其ノ結果ヲ遲滞ナク地方長官ニ届出ヅベシ
第七節 雜則

第七十條

左ニ掲グル者ハ國民健康保險法第十三條ノ規定ニ依リ組合ヲ指定スル場合ニ於テ組合員ト爲ルベキ者ノ範圍ヨリ之ヲ除外ス

- 一 多額ノ收入アル者
 - 二 貧困ノ爲法令ニ依ル救護ヲ受クル者
 - 三 其ノ他地方長官ニ於テ特別ノ事由アリト認めタル者
- 前項第一號ニ規定スル者ノ範圍ハ地方ノ事情ヲ參酌シテ地方長官之ヲ定ム

第七十一條

地方長官國民健康保險法第十三條ノ指定ヲ爲シタルトキハ左ノ事項ヲ告示スベシ第四號ノ事項ヲ變更シタルトキ亦同ジ

- 一 組合ノ名稱
- 二 事務所ノ所在地
- 三 組合ノ地區
- 四 組合員ト爲ルベキ者ノ範圍ヨリ除外スル者
- 五 指定ノ年月日

第七十二條

國民健康保險法又ハ本令ノ規定ニ依リ組合ニ於テ地方長官ノ認可ヲ受クベキ事項ガ組合會ノ議決ヲ經タルモノナルトキハ申請書ニ其ノ會議錄ノ寫ヲ添附スベシ

認可申請ヲ爲スベキ事項ガ理事專決シタルモノナルトキハ申請書ニ專決ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ添附スベシ

其他 國民健康保險法施行規則

第七十三條

組合ノ地區又ハ組合員ノ範圍ノ變更ニ關スル規約變更ノ認可申請書ニハ規約變更後ニ於ケル事業計畫書ヲ添附スベシ

第七十四條

保險料變更ニ關スル規約變更ノ認可申請書ニハ算出ノ基礎ヲ示シタル書面ヲ添附スベシ

第七十五條

規約變更ノ認可アリタルトキハ理事ハ遲滞ナク之ヲ公示スベシ

第七十六條

事業報告及決算ハ年度經過後四月以内ニ組合會ノ認定ニ付スベシ

事業報告及決算ハ組合會ノ認定ヲ經タル後遲滞ナク之ヲ地方長官ニ届出ヅベシ

第七十七條

組合ハ事業報告ニ付組合會ノ認定ヲ經タルトキハ年度末現在ニ依リ調製シタル財産目錄ト共ニ之ヲ公示スベシ

第七十八條

組合ハ被保險者臺帳、歳入簿、歳出簿及現金出納簿ヲ備フベシ

第七十九條

組合ハ毎月ノ事業狀況ヲ翌月十五日迄ニ地方長官ニ報告スベシ

第八十條

組合ニ於テ組合員ノ權利義務ニ關スル規定ヲ定

其他 國民健康保險法施行規則

メ又ハ改廢シタルトキハ遲滞ナク之ヲ地方長官ニ報告シ且組合員ニ周知セシムベシ

第八十一條 理事長及理事就職、退職又ハ死亡シタルトキハ組合ハ遲滞ナク其ノ旨ヲ地方長官ニ届出ヅベシ

第八十二條 本章中地方長官トアルハ二以上ノ道府縣ニ跨ル組合ニ付テハ之ヲ厚生大臣トス

第二章 國民健康保險組合聯合會

第八十三條 組合聯合會設立ノ認可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 規約

二 事業計畫書

第八十四條 組合聯合會ハ其ノ名稱中ニ國民健康保險組合聯合會ナル文字ヲ用フベシ

國民健康保險組合聯合會ニ非ザルモノハ其ノ名稱中ニ國民健康保險組合聯合會ナル文字ヲ用フルコトヲ得ズ

第八十五條 初年度ノ收入支出ノ豫算ハ組合聯合會ヲ設立セントスル組合及組合ノ事業ヲ行フ法人共同シテ之ヲ定メ地方長官ノ認可ヲ受クベシ

前項ノ認可申請ハ組合聯合會設立ノ認可申請ト同時ニ之ヲ爲スベシ

第八十六條 第六條、第十條、第四十四條、第四十九條、

第五十條、第五十二條乃至第五十六條、第五十八條乃至第六十九條、第七十二條、第七十五條乃至第七十八條及第八十條乃至第八十二條ノ規定ハ組合聯合會ニ之ヲ準用ス

第三章 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人

第八十七條 地方長官ハ國民健康保險法第五十四條ニ規定スル法人ニシテ左ノ各號ニ該當スルモノニ限り同條ノ許可ヲ爲スコトヲ得

一 特別ノ事由ナキ限り一町村ノ區域ヲ其ノ地區トスルモノ

二 事業ノ成績及收支ノ狀況良好ニシテ且醫療ニ關スル施設ノ適當ナルモノ

前項ノ許可ハ地方ノ事情及地區内世帯主ノ加入狀況等ヲ參酌シテ之ヲ爲スベシ

第八十八條 國民健康保險法第五十四條ノ許可申請書ニハ左ニ掲グル書類ヲ添附スベシ

一 定款又ハ規約ノ變更ニ關スル總會又ハ總代會ノ會議錄ノ寫

二 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フコトニ關シ必要ナル規程(以下國民健康保險規程)ト稱ス

三 事業計畫書

四 保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面

五 事業及收支ノ狀況ニ關スル書類

六 醫療ニ關スル施設ノ内容ヲ記載シタル書類

第八十九條 國民健康保險規程ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 被保險者タルベキ者ノ範圍

二 被保險者ノ資格ノ得喪ニ關スル事項

三 保險給付ニ關スル事項

四 保險料ニ關スル事項

第九十條 國民健康保險法第五十四條ノ許可ヲ爲シタルトキハ地方長官ハ左ノ事項ヲ告示スベシ

一 法人ノ名稱

二 事務所ノ所在地

三 許可ノ年月日

第九十一條 組合ノ事業ヲ行フ法人ノ其ノ事業ニ關スル收入支出ハ他ノ事業ニ關スル會計ト區分シ之ヲ經理スベシ

第九十二條 組合ノ事業ヲ行フ法人ノ其ノ事業ニ關スル左ニ掲グル事項ハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經ベシ

一 收入支出ノ豫算

二 事業報告及決算

其他 國民健康保險法施行規則

三 收入支出ノ豫算ヲ以テ定ムルモノノ外新ナル義務ノ負擔又ハ權利ノ拋棄

四 準備金其ノ他重要ナル財産ノ處分

五 借入金(一時借入金ヲ除ク)

六 國民健康保險規程ノ變更

七 其ノ他重要ナル事項

前項第六號ニ掲グル事項ノ議決ハ當該法人ノ定款又ハ規約ノ變更ニ關スル議決ノ例ニ依ルベシ

第一項第一號及第四號乃至第六號ニ掲グル事項ノ議決ハ地方長官ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第九十三條 前條第一項各號ニ掲グル事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ總會若ハ總代會成立セザルトキ又ハ之ヲ召集スルノ暇ナキトキハ定款又ハ規約ノ定ムル所ニ依リ理事之ヲ專決スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ專決ヲ爲シタルトキハ理事ハ次ノ總會又ハ總代會ニ之ヲ報告スベシ

第九十四條 組合ノ事業ヲ行フ法人ハ地方長官ノ許可ヲ受クルニ非ザレバ組合ノ事業ヲ廢止スルコトヲ得ズ

第九十五條 組合ノ事業ヲ行フ法人前條ノ規定ニ依リ其ノ事業ノ廢止ノ許可ヲ受ケントスルトキハ總會又ハ總代會ノ議決ヲ經テ地方長官ニ申請ヲ爲スベシ

其他

國民健康保險制度ノ實施ト醫療事業ヲ行フ産業組合及同聯合會ノ指導方針トニ關スル件

一九〇

前項ノ許可申請書ニハ理由書及許可申請前一月以内ノ現在ニ於テ調製シタル財産目錄ヲ添付スベシ

第九十六條 地方長官組合ノ事業ヲ行フ法人ニ對シ第九十四條ノ規定ニ依リ其ノ事業ノ廢止ノ許可ヲ爲シ又ハ國民健康保險法第四十五條ノ規定ニ依リ同法第五十四條ノ許可ヲ取消シタルトキハ其ノ旨告示スベシ

第九十七條 組合ノ事業ヲ行フ法人國民健康保險法第四十五條ノ規定ニ依リ同法第五十四條ノ許可ヲ取消サレタルトキ又ハ其ノ事業ヲ廢止シ若ハ解散シタルトキハ當該法人ノ代表者又ハ清算人ハ組合ノ事業ニ關スル收支ノ財産及財産處分ヲ地方長官ニ届出ツベシ

第九十八條 第四條、第五條、第七條、第十一條乃至第十六條、第四十九條、第五十二條乃至第五十九條、第七十二條及第七十四條乃至第八十二條ノ規定ハ組合ノ事業ヲ行フ法人ノ其ノ事業ニ付之ヲ準用ス但シ第四條、第五條及第七條中發起人トアルハ當該法人トシ第十四條、第四十九條、第五十五條、第五十八條、第七十四條及第七十五條中規約トアルハ國民健康保險規程トス

附則

本令ハ昭和十三年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

六七

國民健康保險制度ノ實施ト

醫療事業ヲ行フ産業組合及同聯合會ノ指導方針トニ關スル件

昭和十二年五月二十日三更第五二九〇號
農林省 經濟更生部長 通牒

首題ノ件ニ關シ別紙(甲)號長野縣知事ノ照會ニ對シ(乙)號ノ如ク回答致候ニ付參考迄ニ及送付候也

追而産業組合又ハ産業組合聯合會ノ醫療利用事業經營ニ關スル許可又ハ認可ノ申請以來相當長期ニ互リ許可ノ決定ヲ見ザルモノ有之ニ於テハ遺憾ニ有之候條速ニ處理相成様致度此段申添候

(乙號)

國民健康保險制度ノ實施ト醫療利用事業ヲ行フ産業組合及産業組合聯合會ノ指導方針トニ關スル件

昭和十二年五月二十日一更第五二九〇號
經濟更生部長 通牒 長野縣知事宛

首題ノ件ニ關シ五月十日附一二產組第一二〇二號ヲ以テ御

照會有之候處國民健康保險制度ハ組合員ノ相互保險組織ニ依テ醫療費ヲ分散負擔シ以テ國民各個ノ醫療費負擔ヲ輕減セントスル趣旨ニ出ヅルモノニシテ産業組合又ハ産業組合聯合會ニ於テ病院其他ノ醫療設備ヲ爲シ各組合員ノ負擔スル醫療費藥劑費其他ヲ協同經營ニ依リ合理化シ且醫療機關其物ノ普及ヲ圖リ以テ醫療費ヲ輕減セントスルハ自ラ其施設ノ目的ヲ異ニスルモノニ有之且國民健康保險制度實施ヲ見ルニ於テハ醫療利用組合並ニ其ノ聯合會ノ右ノ如キ機能ハ益々其ノ效果ヲ徹底セシムルニ至ルベキモノト被認候條醫療利用組合及其ノ聯合會ニ關スル從來ノ指導方針ハ國民健康保險制度實施後ト雖モ何等ノ變更無之モノト御了知相成度尙産業組合又ハ産業組合聯合會ノ醫療利用事業經營ニ關シ申請又ハ計畫スルモノニ付テハ速ニ其ノ内容ヲ審査シ之ヲ指導處理相成様致度此段及回答候他

(甲號) (右照會文)

國民健康保險制度ノ實施ト醫療利用事業ヲ行フ産業組合及同聯合會ノ指導方針トニ關スル件

昭和十二年五月十日一二產組第一二〇二號
經濟更生部長 宛 長野縣知事

本縣下産業組合ニ於テ目下醫療利用事業ノ經營ヲ計畫中ノ

其他

國民健康保險組合ノ事業計畫書及保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面ニ關スル件

モノ有之候處國民健康保險法案ノ成立ニ依リ同法施行相成ニ於テハ産業組合又ハ同聯合會ノ醫療利用事業ニ關スル從來ノ指導方針ハ何等カノ變更有之ベキモノナルヤ聊カ疑義相生ジ候ニ付此際御省ノ御方針取急ギ承知致度此段及御照會候也

六八

國民健康保險組合ノ事業計畫書及保險料算出ノ基礎ヲ

示シタル書面ニ關スル件

昭和十三年六月三十日社發第六八五號
厚生省保險院社會保險局長 通牒

國民健康保險法施行規則第二條、第七十三條及第七十四條ノ規定ニ依リ組合設立認可申請書、組合ノ地區又ハ組合員ノ範圍ノ變更ニ關スル規約變更認可申請書又ハ保險料變更ニ關スル規約變更認可申請書ニ添付スベキ事業計畫書又ハ保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面ニ付テハ別紙記載例ニ準據シテ作成セシメラレ度

國民健康保險組合事業計畫書記載例

何村國民健康保險組合事業計畫書

一、組合地區内世帯數及人口(昭和何年何月何日現在)

其他 國民健康保險組合ノ事業計畫書及保險料算出ノ基礎ヲ示
シタル書面ニ關スル件

區劃別	世帶數	人	口
字何々			
字何々			
字何々			
計			

二、組合員數及被保險者數

區劃別	組合員タル資格ヲ有スル者ノ數	組合員數	被保險者數
字何々			
字何々			
字何々			
計			

保險料ノ等級別	組合員タル資格ヲ有スル者ノ數	組合員數	被保險者數
第一級ニ該當スル者			
第二級ニ該當スル者			
、、、、、			
計			

計	
---	--

備考

(一) 未加入者ノ未加入理由
(二) 將來加入ノ見込アル組合員數 何人
三、當初五年度間收支豫想

種別	收					入		支	
	初年度	第二年度	第三年度	第四年度	第五年度	計	其他	保險給付費	保健施設費
保險料									
療養ノ給付費用一部負擔金									
國庫補助金									
何々補助金									
計									
其他									
保險給付費									
保健施設費									
事務費									
準備金積立									

事務所ハ何村役場内ニ置ク豫定トス

(注意)

- 一、[組合地區内世帶數及人口]ト[組合員數及被保險者數]トハ同一ノ日現在ノ調査ニ係ルモノヲ記載スルコト
- 二、[組合員數及被保險者數]表中「保險料ノ等級別」欄ニハ保險料ニ一定ノ等級ヲ設ケザル組合ニ在リテハ多額ノ收入アル者ナルヤ否ノ別ニ依リ數階級ニ區分シテ之ヲ記載スルコト
- 三、「未加入者ノ未加入理由」ハ例ヘバ「生活ニ餘裕ナキニ依ルモノ 何人」「事業ニ理解ナキニ依ルモノ 何人」等ノ如キ區別ニ依リ之ヲ記載スルコト
- 四、本例ハ普通國民健康保險組合ノ場合ノ例ナルモ特別國民健康保險組合ノ場合ニ付テモ之ニ準ジテ作成スルコト但シ左記ニ留意スルコト
- イ、同一ノ事業ニ従事スル者ヲ以テ組織スル組合ニ在リテハ「一」ヲ「組合設立ノ基礎タル事業従事員數」トシテ職名別ニ其ノ員數ヲ記載シ、「二」ニハ「職名別」及「報酬額別」(適宜ニ區分スルコト)ニ依リ記載スルコト
- ロ、同種ノ業務ニ従事スル者ヲ以テ組織スル組合ニ在リテハ「一」ヲ「組合ノ基礎タル同業組合員數及世帶員數」ノ如クシテ區、町等ノ區劃別ニ其ノ員數ヲ記

出	其他
計	

- 四、療養ノ給付方法及一部負擔
 - イ、診療又ハ藥劑ノ支給ハ何醫師會、何齒科醫師會及何藥劑師會ト契約シ指定ノ醫師、齒科醫師及藥劑師ヲシテ之ニ當ラシムル豫定トス
 - ロ、診療又ハ藥劑ノ支給ハ何村及何村ノ開業醫師、齒科醫師及藥劑師ヲシテ之ニ當ラシムル豫定トス
 - ハ、一部負擔ノ割合ハ平均何割程度ニ定ムル豫定トス
- 五、助産ノ給付方法

助産ハ何村及何村ノ産婆ヲシテ之ニ當ラシムル豫定トス
- 六、葬祭ノ給付方法

葬祭ハ何村及何村ノ寺院ニ依囑シ葬儀ノ執行ニ必要ナル用具等ハ組合ニ於テ交付シ又ハ貸與スル豫定トス
- 七、保健施設

豫防注射、健康診斷等ヲ施行スルノ外衛生思想涵養ノ宣傳等ニ努ムル豫定トス
- 八、其他

理事長ハ何村々長ヲ以テ之ニ充ツル豫定トス
組合ニ事務員專任何人ヲ置ク豫定トス

其他 國民健康保險組合ノ事業計畫書及保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面ニ關スル件

其他 國民健康保險組合ノ事業計畫書及保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面ニ關スル件

載スルコト

保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面例

(等級ニ依リ保險料ヲ定ムル組合ノ場合)
何國民健康保險組合保險料算出ノ基礎

- 保險料
- 一、組合員一人ニ付 一ヶ月平均何圓何錢
 - (被保險者一人ニ付 一ヶ月平均何圓何錢)
 - 二、組合員保險料負擔表

等級	等級決定標準	組合員一人ニ付保險料月額	組合員數	總額	摘要
第一級					
第二級					
第三級					
計					

割増保險料 (被保險者五人(何人)ヲ超ユル世帯ニ對スルモノ)

世帯人員	第一級—第何級		第何級—第何級		合計
	組合員數	割増額	組合員數	割増額	
月保險料割増額					
月保險料割増額					
總額					
總額					

計	算出ノ基礎	
	男	女
六人(何人)ノ世帯		
七人(何人)ノ世帯		
八人(何人)ノ世帯		
計		

計	一、被保險者數	
	男	女
一〇歳未満		
二〇歳未満		
三〇歳未満		
四〇歳未満		
五〇歳未満		
六〇歳未満		
七〇歳未満		
八〇歳未満		
八〇歳以上		
計		

- 二、被保險者一人ニ付平均療養ノ給付費 何圓何錢
- 三、女子被保險者有夫率 千人ニ付 何人

四、有夫女子被保險者一年間ニ於ケル分娩率 千人ニ付 何人

五、被保險者一年間ニ於ケル死亡率 男千人ニ付 何人
女千人ニ付 何人
平均千人ニ付 何人

六、療養ノ給付費用一部負擔ノ割合 何割何分

七、平均保險料算出順序

- 一、當國庫補助金年額×被保險者數
- 二、被保險者一人當保險料年額×被保險者數
- 三、平均保險料算出順序ハ左ノ例ニ依リ計算式ヲ記載スルコト
- 四、算出ノ基礎ヲ決定スル爲採リタル材料ノ根據ヲ各事項毎ニ備考トシテ附記スルコト
- 五、世帯人員ニ依リ保險料ヲ區別セザル組合ニ在リテハ割増保險料ヲ、助産給付又ハ葬祭給付ヲ爲サザル組合

其他 國民健康保險組合ノ事業計畫書及保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面ニ關スル件

一人當國庫補助金年額×被保險者數

組合員一人當保險料年額 = $\frac{\text{保險料所要年額}}{\text{組合員數}}$

(被保險者一人當保險料年額 = $\frac{\text{保險料所要年額}}{\text{被保險者數}}$)

(注意)

一、組合員數増加ノ見込アルトキハ其ノ見込數ヲ等級毎ニ基本保險料表ノ摘要欄ニ記載スルコト

二、被保險者一人ニ付平均療養ノ給付費年額ニ付テハ醫師ニ依リ診療費、齒科醫師ニ依リ診療費、看護費等ニ區別シ詳細ニ説明ヲ附スルコト

三、平均保險料算出順序ハ左ノ例ニ依リ計算式ヲ記載スルコト

療養給付 被保險者一人當被保險者數

$$\frac{7,399.26}{1,399} = 3.33 \times 2,922$$

助産給付 分娩一件當女子被保險者數

$$\frac{254.11}{390} = 3.00 \times 1,334 \times \frac{390}{1,000} \times \frac{1,000}{1,000}$$

其他 國民健康保險組合ノ事業計畫書及保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面ニ關スル件

ニ在リテハ之ニ關スル事項ヲ夫々記載スルノ要ナキコト
 保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面例
 (報酬月額ニ對スル一定割合ノ保險料ヲ定ムル組合ノ場合)

何國民健康保險組合保險料算出ノ基礎

保險料率
 組合員報酬月額百圓ニ付 何圓何錢ノ割合
 算出ノ基礎
 一、組合員數 何 人
 二、被保險者數 何 人

年齡階級	男	女	計
一〇歳未満			
二〇歳未満			
三〇歳未満			
四〇歳未満			
五〇歳未満			
六〇歳未満			
七〇歳未満			
八〇歳未満			
八〇歳以上			
計			

三、組合員平均報酬月額

男 何圓何錢
 女 何圓何錢
 平均 何圓何錢

四、被保險者一人ニ付平均療養ノ給付費

年 何圓何錢

五、女子被保險者有夫率 千人ニ付 何 人

六、有夫女子被保險者一年間ニ於ケル分娩率 千人ニ付 何 人

七、被保險者一年間ニ於ケル死亡率 男千人ニ付 何 人
 女千人ニ付 何 人
 平均千人ニ付 何 人

八、療養ノ給付費用一部負擔ノ割合 何割合分

九、保險料率算出順序

療養給付費年額 = 被保險者一人當療養ノ給付費年額
 × 被保險者數
 助産給付費年額 = 分娩一件當給付費額 × 女子被保險者數 × 女子被保險者有夫率 × 一年間分娩率
 葬祭給付費年額 = 死亡一件當給付費額 × 被保險者數

× 被保險者一年間死亡率
 保險給付費年額 = 療養給付費年額 + 助産給付費年額 + 葬祭給付費年額
 保險料所要年額 = 保險給付費年額 × (1 + 準備金積立率ノ割合 + 保健施設費額ノ割合 + 事務費額ノ割合) - (療養給付費年額 × 一部負擔ノ割合) - (被保險者一人當國庫補助金年額 × 被保險者數)

保險料率 = $\frac{\text{保險料所要年額}}{\text{組合員平均報酬月額} \times 12 \times \text{組合員數}}$

- (注意)
- 一、組合員數増加ノ見込アルトキハ其ノ見込數ヲ備考トシテ附記スルコト
 - 二、被保險者一人ニ付平均療養ノ給付費年額ニ付テハ醫師ニ依ル診療費、齒科醫師ニ依ル診療費、看護費等ニ區分シ詳細ニ説明ヲ附スルコト
 - 三、保險料率算出順序ノ計算ハ左ノ例ニ依リ記載スルコト

療養給付 被保險者一人當 被保險費年額 療養ノ給付費年額 數
 7,399.26 = 3.33 × 2,222

其他 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人ニ關スル件

六九 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人ニ關スル件

昭和十三年七月十五日社發第七三七號
 厚生省保險院社會保險局長通牒

國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人ニ關シテハ法令ニ規定アルモノノ外左記ニ依リ取扱相成度

- 記
- 一、組合ノ事業ヲ行フ法人ノ其ノ事業ニ關シテハ別段ノ通牒ヲ爲スモノノ外普通國民健康保險組合ノ場合ニ準ジテ取扱フコト
 - 二、組合ノ事業ヲ行フコトノ許可申請書類ハ別紙記載例ニ準據シテ作成セシムルコト(本件ニ關シテハ道府縣公報ニ登載スル等一般ニ周知方取計ハレ度)

其他 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人ニ關スル件

- 三、組合ノ事業ヲ行フ産業組合ノ組合員中ニ農事實行組合又ハ養蠶實行組合アル場合ニ於テハ其ノ實行組合ノ組合員及其ノ世帯ニ屬スル者ヲモ被保險者ト爲スハ支障ナキコト
 - 右ノ場合ニ於テハ國民健康保險規程中ニ其ノ旨ノ規定ヲ設ケシメ且保險料及一部負擔金ニ關シテハ其ノ實行組合ノ組合員ヨリ徵收スル旨ノ規定ヲ設ケシムルコト
 - 四、被保險者ノ資格ノ得喪ニ關シテハ國民健康保險組合ノ被保險者ニ關スル取扱ト同様ニ取扱フコト
 - 五、國民健康保險ニ關スル財務、諸帳簿、諸報告等ニ關シテハ普通國民健康保險組合ノ例ニ準ジテ取扱フコト
 - 六、組合ノ事業ヲ行フ法人ハ組合原簿ニ代ヘテ「組合ノ事業ヲ行フコトノ許可年月日」「常務理事」及「組合員」ニ關スル事項ヲ記載シタル「國民健康保險事業簿」ナル帳簿ヲ備付クルコト（其ノ様式ハ國民健康保險組合ノ組合原簿ノ様式ニ倣フコト）
 - 七、定款又ハ規約ノ定ムル所ニ依リ國民健康保險ニ關スル常務理事ヲ置ク場合ニ於テ其ノ法人ニ從來專務理事ノ如キ常務擔當者アルトキハ其ノ者ヲシテ常務理事ヲ兼ネシムルモ支障ナキコト
- 國民健康保險法第五十四條ノ許可申請書類記載例

國民健康保險法第五十四條ノ許可申請書
國民健康保險法第五十四條ノ規定ニ依リ國民健康保險組合ノ事業ヲ行ヒ度候ニ付許可相成度左記書類相添ヘ申請候也
昭和何年何月何日

何縣何郡何村何番地
何々組合
組合長 何
某團

記

- 一、定款（規約）變更ニ關スル總會（總代會）ノ會議錄ノ寫
 - 一、國民健康保險規程
 - 一、事業計畫書
 - 一、保險料算出ノ基礎ヲ示シタル書面
 - 一、事業及收支ノ狀況ニ關スル書類
 - 一、醫療ニ關スル施設ノ内容ヲ記載シタル書類
- （以下添附書類）
定款（規約）變更ニ關スル總會（總代會）ノ會議錄ノ寫
（記載例省略）
國民健康保險規程
國民健康保險規程例參照
事業計畫書

一、組合地區内世帯數及人口（昭和何年何月何日現在）

世帯數	何戸			
人口	何人			
區劃別	地區内總世帯數	組合員數	被保險者數	摘要
字何々				
字何々				
字何々				
計				

二、組合員數及被保險者數

保險料ノ等級別	地區内總世帯數	組合員數	被保險者數	摘要
第一級ニ該當スル者				
第二級ニ該當スル者				
.....				
計				

備考

- 一 組合未加入者ノ未加入理由
- 二 將來加入ノ見込アル組合員數

其他 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ法人ニ關スル件

- 三、當初五年間收支豫想
- 四、療養ノ給付方法及一部負擔
- 五、助産ノ給付方法
- 六、葬祭ノ給付方法
- 七、保健施設
- 八、組合役員表

役員名	氏名	備考

（注意）

- 一、「組合員數及被保險者數」表ノ記載ニ付テハ左記ニ注意スルコト
 - イ、一世帯ヨリ二人以上ノ組合員ノ加入セルモノアルトキハ「摘要」欄ニ保險料及一部負擔金ヲ徵收セザル組合員ノ數ヲ摘記スルコト
 - ロ、「組合員數」中ニ法人タル組合員ヲ含ムモノナルトキハ「摘要」欄ニ其ノ數ヲ法人ノ種類別ニ再掲シ且其ノ各法人ノ構成員ニシテ組合ニ重複加入セザル者ノ數ヲ附記スルコト
- 二、「組合役員表」ノ「備考」欄ニハ其ノ役員ガ他ニ兼務セ

其他 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合會計ニ關スル件

二〇〇

ル市町村又ハ各種組合ニ於ケル職名ヲ記載スルコト
三、其ノ他記載方法ニ付テハ普通國民健康保險組合ノ例ニ依ルコト

事業及收支ノ狀況ニ關スル書類

一、財産目録

二、貸借対照表

三、事業報告書

(注意)

一 本書類ハ昭和八年一月十一日更第一八九號農林省經濟更生部長及大藏省銀行局長通牒ノ様式ニ依リ作成スルコト

二 最近年度ニ係ルモノヲ記載スルコト

醫療ニ關スル施設ノ内容ヲ記載シタル書類

(昭和十一年十一月二十八日一一更部第一六〇八號農林省經濟更生部長通牒ノ「醫療事業ニ關スル報告書」ノ様式ニ依リ作成スルコト但シ聯合會ノ醫療設備ニ依リ事業ヲ行フモノニ在リテハ其ノ聯合會ノ醫療事業報告書ニ依ルコト)

七〇 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ノ會計ニ關スル件

昭和三十五年七月十五日一五更第五八九三號
農林省經濟更生部長保險院社會保險局長通牒

國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ニ於ケル其ノ事業ニ關スル會計經理ニ付テハ國民健康保險法施行規則第九十一條ニ明規セラル、所ナルガ特別法人稅トノ關係モ有之國民健康保險特別會計ノ剩餘金中法定準備金トシテ積立ツベキ金額ヲ差引キタル殘額ニ付テハ爾今當分ノ間之ヲ當該産業組合ノ一般會計ヘノ繰替ヲ認メザルコトニ方針ヲ決定致候條御了知相成度此段及通牒候

追而本件ニ關スル大藏省主稅當局トノ照復文寫參考迄ニ送付候

國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ニ對スル特別法人稅ニ關スル件

昭和十五年六月二十七日一五更第五八九三號
農林省經濟更生部長保險院社會保險局長照會

國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ニ於ケル國民健康保險特別會計ノ剩餘金並ニ當該産業組合ノ一般會計ヨリ其

ノ特別會計ニ繰入レタル金額ニ對シテハ特別法人稅ヲ課セザルモノト解シ差支ヘナキヤ尙右後段ノ場合ニ於テハ特別會計ノ剩餘金中法定準備金トシテ積立ツベキ金額ヲ差引キタル殘額ヨリ一般會計ハ繰替セザルコトヲ要件トスルモノナリヤニ付一應御回示相煩度此段及照會候也

國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ニ對スル特別法人稅ニ關スル件

昭和十五年七月八日藏稅第二〇六二號
大藏省主稅局長通牒

客月二十六日附一五更第五八九三號ヲ以テ御照會ニ係ル首題ノ件ハ左記ノ通取扱フコトニ決定致候條御了知相成度此段及回答候也

追而本取扱ハ稅務監督局長ニ對シ通牒濟ニ付爲念申添候

記

一、特別ノ法人ガ國民健康保險事業ヲ代行スル場合ニ於テ其ノ國民健康保險特別會計ヨリ生ズル剩餘金ニハ課稅セザル取扱トス此ノ場合ニ於テ特別ノ法人ノ一般ノ會計ヨリ同會計ニ繰入レタル金額アルトキハ特別ノ法人ノ剩餘金ノ計算上當該繰入金額ハ之ヲ損金トシテ取扱フコト

二、前項ノ國民健康保險特別會計ノ剩餘金ハ之ヲ特別ノ法

其他

國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ノ定款變更例及國民健康保險規程例ニ關スル件

二〇一

人ノ一般ノ會計ニ繰入レザルコト

七一 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ノ定款變更例及國民健康保險規程例ニ關スル件

昭和十三年十月十五日社發第一二〇三號
厚生省保險院社會保險局長通牒

國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ノ定款變更例及國民健康保險規程例ニ付テハ左記事項ニ留意セシメラレ度

記

一、國民健康保險法施行規則第九十三條第一項ノ規定ニ依リ總會又ハ總代會ノ議決事項ヲ理事專決シ得ルコトト爲ス産業組合ニ在リテハ昭和十三年六月二十七日官報彙報欄登載ノ定款變更例ニ依リ定款ヲ變更スル場合ニ於テ左ノ一條ヲ設クルヲ可トスルコト

第 條ノ四 國民健康保險法施行規則第九十二條第一項ノ規定ニ依リ總會(總代會)ノ議決ヲ經ベキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ總會(總代會)成立セザルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ理事(組合長)之

其他 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ニ於ケル直營診療所ノ經費ニ關スル件 外一

二〇二

ヲ專決スルコトヲ得

二、組合員中ニ農事實行組合又ハ養蠶實行組合アル場合ニ於テ其ノ實行組合ノ組合員及其ノ世帯ニ屬スル者ヲ被保險者ト爲ストキハ昭和十三年六月二十七日官報彙報欄登載ノ國民健康保險規程例中左ニ依ルコト

イ、第一條中「組合員及其ノ世帯ニ屬スル者」トアルヲ

「組合員及其ノ世帯ニ屬スル者(組合員タル農事實行組合又ハ養蠶實行組合ノ組合員及其ノ世帯ニ屬スル者ヲ

含ム)ト爲スコト

ロ、第二條中「組合員」トアルヲ「組合員(農事實行組合

又ハ養蠶實行組合タル組合員ニ付テハ其ノ農事實行組

合又ハ養蠶實行組合ノ組合員以下之ニ同ジ)」ト爲スコ

ト

七二 國民健康保險組合ノ事業ヲ

行フ産業組合ニ於ケル直營診療所ノ經費ニ關スル件

昭和十三年十月十四日社發第一一九九號
保險院社會保險局長農林省經濟更生部長通牒

國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ニ於テ經營スル診

度此段及通牒候也

通而産業組合、漁業組合等營利ヲ目的トセザル社團法人ニ於テ代行スル場合ニ在リテハ其ノ法人ノ各種施設ヲ充分利用セシムルト共ニ區域内未加入者ノ加入促進ニ努メシメ以テ町村民ニシテ國民健康保險事業ノ利用ニ浴セザルモノ無カラシムル様御配意相成度

七四 保健婦規則

昭和十六年七月十日厚生省令第三十六號

第一條 保健婦ノ名稱ヲ使用シテ疾病豫防ノ指導、母性及ハ乳幼児ノ保健衛生指導、傷病者ノ療養輔導其ノ他日常生活上必要ナル保健衛生指導ノ業務ヲ爲ス者(以下保健婦ト稱ス)ハ年齢十八年以上ノ女子ニシテ左ノ各號ノ一ニ該當シ地方長官ノ免許ヲ受ケタル者ニ限ル
一 保健婦試験ニ合格シタル者ニシテ三月以上本條本文ノ業務ヲ修業シタルモノ
二 厚生大臣ノ指定シタル學校又ハ講習所ヲ卒業シタル者

地方長官免許ヲ與フルトキハ保健婦免狀ヲ下付ス

第二條 精神病者、傳染性ノ疾患アル者又ハ素行不良ト認

ムル者ニハ免許ヲ與ヘザルモノトス

其他 保健婦規則

療所ノ經費(即チ醫員給料其ノ他ノ人件費、藥品代、設備費等)ノ當該産業組合ノ利用事業ニ屬スルモノタルコトハ從來通ニシテ國民健康保險事業ノ會計トハ別個ノモノニ有之從テ該診療所ニ於テ國民健康保險ノ被保險者ニ對シテ爲シタル診療ノ料金ハ之ヲ國民健康保險事業ノ會計ヨリ當該産業組合ノ利用事業ノ會計ニ繰入ルベキモノニ有之爲念

七三 農山漁村經濟更生ト國民健康保險事業トノ關係ニ關スル件

昭和三十四年一月十二日一四更第二五〇號
農林省經濟更生部長保險院社會保險局長通牒

曩ニ施行相成候國民健康保險法ノ實施ニ付テハ目下夫々御配意相成居候事ト被存候處本制度ハ農山漁村經濟更生活上緊要ナル施設ニ有之候ニ就テハ經濟更生指定町村ニ於テ國民健康保險制度ヲ實施スル場合ニ於テハ農山漁村經濟更生計畫中ニ國民健康保險制度ニ關スル施設ヲ加ヘシメ經濟更生ノ實行機關タル産業組合、漁業組合、部落實行組合等各種團體トノ關係聯絡ヲ密ニスルハ勿論當該町村ノ實情ニ即シ經濟更生ニ關スル各種計畫ト併セ綜合的ニ之ヲ指導相成様致

第三條 保健婦試験ハ地方長官之ヲ施行ス

第四條 保健婦試験ハ一年以上看護又ハ產婆ノ學術ヲ修業シタル者ニ非ザレバ之ヲ受クルコトヲ得ズ

第五條 試験ハ左記科目ニ付之ヲ行フ但シ看護婦規則第二條第一項各號ノ一ニ掲グル資格ヲ有スル者ニ付テハ第一號、第二號及第八號乃至第十號ノ科目ノ試験ヲ免ズルコトヲ得

- 一 解剖學大意
- 二 生理學大意
- 三 環境、産業及學校衛生大意
- 四 結核其ノ他慢性傳染病豫防並ニ寄生蟲病豫防大意
- 五 急性傳染病豫防大意
- 六 母性及乳幼児衛生大意
- 七 榮養大意
- 八 救急處置及消毒方法
- 九 繃帶術及治療器械取扱方大意
- 十 看護方法
- 十一 衛生法規大意
- 十二 社會事業大意
- 十三 社會保險大意
- 第六條 保健婦傷病者ノ療養輔導ヲ爲ス場合ニ於テ主治醫

二〇三

其他 職員健康保險法

師アルトキハ其ノ指示ヲ受クルコトヲ要ス

第七條 保健婦其ノ業務執行上必要アルトキハ看護婦規則第一條及第十一條ノ規定ニ拘ラズ看護ノ業務ヲ爲スコトヲ得

第八條 保健婦其ノ業務ニ従事スル場合ニ於テハ厚生大臣ノ定ムル徽章ヲ佩出スベシ

第九條 第一條第一項ノ規定ニ依ル地方長官ノ免許ヲ受ケズシテ保健婦ノ名稱ヲ使用シ同條第一項ノ業務ヲ行ヒタル者ハ五十圓以下ノ罰金ニ處ス

第十條 看護婦規則第六條乃至第十條ノ規定並ニ其ノ罰則ノ規定ハ保健婦ニ之ヲ準用ス

第十一條 本令中地方長官トアルハ東京府ニ在リテハ警視總監トス

附 則

本令ハ公布ノ日ヨリ之ヲ施行ス

看護婦規則第二條第一項各號ノ一ニ掲グル資格又ハ産婆規則第一條各號ノ一ニ掲グル資格ヲ有スル者ニシテ本令施行ノ際引續キ一年以上第一條第一項ノ業務ニ従事スルモノ本令施行後三月以内ニ願出デタルトキハ第一條第一項ノ規定ニ拘ラズ地方長官ハ免許ヲ與フルモノトス
前項ニ該當セザル者ニシテ本令施行ノ際現ニ第一條第一項

ノ業務ニ従事スルモノ本令施行後三月以内ニ願出デタルトキハ第一條第一項ノ規定ニ拘ラズ地方長官ハ其ノ履歴ヲ審査シ免許ヲ與フルコトヲ得

本令施行ノ際現ニ第一條第一項ノ業務ニ従事スル者ニシテ本令施行後三月以内ニ地方長官ニ届出デタルモノニ對シテハ昭和十八年三月三十一日迄第九條ノ規定ヲ適用セズ

七五 職員健康保險法

昭和十四年四月六日法律第七十二號

第一章 總 則

第一條 職員健康保險ニ於テハ被保險者ノ疾病、負傷、死亡又ハ分娩ニ關シ保險給付ヲ爲スモノトス

保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ト同一ノ世帯ニ屬シ被保險者ニ依リ生計ヲ維持スル者(以下世帯員ト稱ス)ノ疾病又ハ負傷ニ關シ保險給付ヲ爲スコトヲ得

第二條 本法ニ於テ報酬ト稱スルハ事業ニ使用セラルル者ガ勞務ノ對價トシテ受クル俸給、給料又ハ賃金及之ニ準ズベキモノヲ謂フ

俸給、給料又ハ賃金ニ準ズベキモノノ範圍及評價ニ關シテハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第三條 報酬ノ額ニ基キ保險料又ハ保險給付ノ額ヲ定ムル

前項ノ規定ハ第一條第二項ノ保險給付ヲ爲ス場合ニ於テハ世帯員又ハ世帯員タリシ者ノ戸籍ニ關シ之ヲ準用ス

第九條 保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ヲ使用スル事業主ヲシテ其ノ使用スル者ノ異動及報酬ニ關シ報告ヲ爲サシメ、文書ヲ提示セシメ其ノ他職員健康保險ノ施行ニ必要ナル事務ヲ行ハシムルコトヲ得

第十條 行政官廳ハ必要アリト認ムルトキハ被保險者ノ異動及報酬並ニ保險給付決定ニ關シ當該官吏ヲシテ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ勤務場所ニ就キ關係者ニ對シ質問ヲ爲シ又ハ帳簿書類其ノ他ノ検査ヲ爲サシムルコトヲ得

第十一條 主務大臣ハ本法ニ規定スル其ノ職權ノ一部ヲ命令ヲ以テ行政官廳ニ委任スルコトヲ得

第十二條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ滯納スル者アルトキハ保險者ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

前項ノ規定ニ依リ督促ヲ爲シタル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ督促手數料及延滯金ヲ徵收ス

第十三條 前條ノ規定ニ依ル督促ヲ受ケタル者其ノ指定ノ期限迄ニ保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ納付セザルトキハ保險者ハ國稅滯納處分ノ例ニ依リ之ヲ處分シ又ハ滯

場合ニ於テハ標準報酬ニ依リ之ヲ算定ス

標準報酬ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ヲ徵收シ又ハ其ノ還付ヲ受クル權利及保險給付ヲ受クル權利ハ一年ヲ經過シタルトキハ時効ニ因リテ消滅ス

前項ノ時効ノ中斷、停止其ノ他ノ事項ニ關シテハ民法ノ時効ニ關スル規定ヲ準用ス

命令ノ定ムル所ニ依リ保險者ノ爲ス保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ徵收ノ告知ハ民法第五百三十三條ノ規定ニ拘ラズ時効中斷ノ效力ヲ有ス

第五條 本法又ハ本法ニ基キテ發スル命令ニ規定スル期間ノ計算ニ付テハ民法ノ期間ノ計算ニ關スル規定ヲ準用ス

第六條 職員健康保險ニ關スル書類ニハ印紙稅ヲ課セズ保險給付トシテ支給ヲ受ケタル金品ヲ標準トシテ租稅其ノ他ノ公課ヲ課セズ

第七條 保險給付ヲ受クル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ差押フルコトヲ得ズ

第八條 保險者又ハ保險給付ヲ受クベキ者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ノ戸籍ニ關シ戸籍事務ヲ管掌スル者又ハ其ノ代理者ニ對シ無償ニテ證明ヲ求ムルコトヲ得

其他 職員健康保險法

納者若ハ其ノ者ノ財産ノ在ル市町村ニ對シ之ガ處分ヲ請求スルコトヲ得但シ職員健康保險組合ガ保險者ナル場合ニ於テ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分スルコトヲ得ルハ市町村ニ對シ處分ヲ請求スルモ市町村ガ其ノ請求ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ其ノ處分ニ著手セズ又ハ九十日以内ニ之ヲ結了セザル場合ニ限ル

前項但書ノ規定ニ依リ職員健康保險組合ガ國稅滯納處分ノ例ニ依リ處分ヲ爲ス場合ニ於テハ主務大臣ノ認可ヲ受タルコトヲ要ス

保險者ガ第一項ノ規定ニ依リ市町村ニ對シ處分ヲ請求シタルトキハ市町村ハ市町村稅ノ例ニ依リ之ヲ處分ス此ノ場合ニ於テハ保險者ハ徵收金額ノ百分ノ四ニ相當スル金額ヲ當該市町村ニ交付スベシ

第十四條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ先取特權ノ順位ハ市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ徵收金ニ次ギ他ノ公課ニ先ツモノトス

第十五條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ニ關スル書類ノ送達ニ付テハ國稅徵收法第四條ノ七及第四條ノ八ノ規定ヲ準用ス

第十六條 本法ハ國、北海道、府縣、市町村其ノ他之ニ準ズベキモノノ事業ニ使用セララルル者ニ之ヲ適用セズ

四 前各號ニ掲グル者ノ外勅令ヲ以テ指定スル者

第十九條 健康保險ノ被保險者タル職員ヲ使用スル事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ職員ヲ事業所毎ニ包括シテ職員健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得

前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ト爲ルベキ者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス

第二十條 前條ノ認可アリタルトキハ其ノ事業所ニ使用セラルル職員ハ職員健康保險ノ被保險者トス

第十八條第三項第三號及第四號ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル事業所ノ事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ事業所ニ使用セララルル者ヲ包括シテ職員健康保險ノ被保險者ト爲スコトヲ得

一 第十八條第一項第一號乃至第六號ニ掲グル事業ノ事業所ニシテ市又ハ指定町村以外ノ地ニ在ルモノ

二 第十八條第一項ニ規定スル者ヲ常時十人未滿使用スル事業所ニシテ市又ハ指定町村ニ在ルモノ

三 前二號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業ノ事業所

第十九條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス
第二十二條 前條ノ認可アリタルトキハ其ノ事業所ニ使用

第十七條 本法中町村トアルハ町村制ヲ施行セザル地ニ在リテハ之ニ準ズベキモノトス

第二章 被保險者

第十八條 左ノ各號ノ一ニ該當スル事業ノ事業所ニシテ市又ハ主務大臣ノ指定スル町村(以下指定町村ト稱ス)ニ在ルモノニ使用セララルル者ハ職員健康保險ノ被保險者トス

一 物ノ販賣ニ關スル事業

二 金融又ハ保險ニ關スル事業

三 物ノ保管又ハ貸貸ニ關スル事業

四 媒介周旋ニ關スル事業

五 集金、案内又ハ廣告ニ關スル事業

六 前各號ニ掲グルモノノ外勅令ヲ以テ指定スル事業

前項第一號乃至第五號ニ掲グル事業ノ範圍ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第一項ノ規定ニ拘ラズ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ職員健康保險ノ被保險者トセズ

一 第一項ニ規定スル者ヲ常時十人未滿使用スル事業所ニ使用セララルル者

二 健康保險ノ被保險者及健康保險法第十四條第一項ノ規定ニ依リ健康保險ノ被保險者ト爲ルコトヲ得ル者

三 一年ノ報酬千二百圓ヲ超ユル者

セララルル者ハ職員健康保險ノ被保險者トス

第十八條第三項第二號乃至第四號ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第二十三條 第十八條ニ規定スル事業所ガ左ノ各號ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ事業所ニ付第二十一條ノ認可アリタルモノト看做ス

一 第十八條第一項ニ規定スル者ヲ常時十人未滿使用スル事業所ト爲ルニ至リタルトキ

二 市又ハ指定町村以外ノ地ニ在リタルトキ

三 第二十一條第一項第三號ノ規定ニ依リ指定スル事業ノ事業所ト爲ルニ至リタルトキ

第二十四條 第十八條、第二十條及第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ業務ニ使用セララルルニ至リタル日又ハ第十八條第三項第二號乃至第四號、第二十條第二項若ハ第二十二條第二項ノ規定ニ該當セザルニ至リタル日ヨリ其ノ資格ヲ取得ス

第二十五條 第十八條、第二十條及第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ハ死亡シタル日、其ノ業務ニ使用セラレザルニ至リタル日又ハ第十八條第三項第二號乃至第四號、第二十條第二項若ハ第二十二條第二項ノ規定ニ該當スルニ至リタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス但シ其ノ事實ア

其他 職員健康保險法

リタル日ニ更ニ前條ノ規定ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十六條 第二十條又ハ第二十二條ノ規定ニ依ル被保險者ヲ使用スル事業主ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケ其ノ被保險者ノ全部ヲシテ其ノ資格ヲ喪失セシムルコトヲ得
前項ノ認可ヲ申請スルニハ被保險者ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ得ルコトヲ要ス
第一項ノ認可アリタルトキハ被保險者ハ認可アリタル日ノ翌日ヨリ其ノ資格ヲ喪失ス

第二十七條 第二十五條ノ規定ニ依リ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル者ニシテ喪失ノ日前二月以上引續キ被保險者タリシモノハ勅令ノ定ムル所ニ依リ繼續シテ被保險者ト爲ルコトヲ得

第二十八條 前條ノ規定ニ依ル被保險者ハ前條ノ規定ニ依リ被保險者ト爲リタル日ヨリ六月ヲ經過シタルトキ其ノ他勅令ヲ以テ定ムル事由ニ該當スルニ至リタルトキハ其ノ資格ヲ喪失ス
第二十五條ノ規定ハ前條ノ規定ニ依ル被保險者ガ死亡シタル場合ニ之ヲ準用ス

第三章 保險者

第二十九條 職員健康保險ノ保險者ハ政府及職員健康保險

組合トス

第三十條 政府ハ職員健康保險組合ノ組合員ニ非ザル被保險者ノ保險ヲ管掌ス

第三十一條 職員健康保險組合ハ其ノ組合員タル被保險者ノ保險ヲ管掌ス

第三十二條 職員健康保險組合ハ事業主及其ノ事業所ニ使用セラルル被保險者ヲ以テ之ヲ組織ス

職員健康保險組合ハ法人トス
第三十三條 一又ハ二以上ノ事業所ニ付被保險者常時三百人以上ヲ使用スル事業主ハ職員健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得
被保險者ヲ使用スル二以上ノ事業主ハ共同シテ職員健康保險組合ヲ設立スルコトヲ得此ノ場合ニ於テハ被保險者ノ員數ハ合算シテ常時三百人以上タルコトヲ要ス

第三十四條 職員健康保險組合ヲ設立セントスルトキハ組合員タル資格ヲ有スル被保險者ノ二分ノ一以上ノ同意ヲ得規約ヲ作り主務大臣ノ認可ヲ受ケベシ
二以上ノ事業所ニ付職員健康保險組合ヲ設立セントスル場合ニ於テハ前項ノ同意ハ各事業所ニ付之ヲ得ルコトヲ要ス

第三十五條 前二條ノ規定ニ於テ被保險者トアルハ第十九

條第一項又ハ第二十一條第一項ノ規定ニ依ル認可ノ申請ト同時ニ職員健康保險組合ノ設立認可ノ申請ヲ爲ス場合ニ在リテハ被保險者ト爲ルベキ者トス

第三十六條 主務大臣ハ一又ハ二以上ノ事業所ニ付第十八條ノ規定ニ依ル被保險者常時五百人以上ヲ使用スル事業主ニ對シ職員健康保險組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得

第三十七條 前條ノ規定ニ依リ職員健康保險組合ノ設立ヲ命ゼラレタル事業主ハ規約ヲ作り設立ニ付主務大臣ノ認可ヲ受ケベシ

第三十八條 職員健康保險組合ハ設立ノ認可ヲ受ケタル時ニ成立ス

第三十九條 職員健康保險組合成立シタルトキハ事業主及其ノ事業所ニ使用セラルル被保險者ハ總テ之ヲ組合員トス

第四十條 職員健康保險組合ノ規約ノ變更ハ主務大臣ノ認可ヲ受クルニ非ザレバ其ノ效力ヲ生ゼズ

第四十一條 主務大臣ハ職員健康保險組合ニ對シ其ノ事業及財産ニ關シ報告ヲ爲サシメ、其ノ狀況ヲ検査シ、規約ノ變更ヲ命ジ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第四十二條 職員健康保險組合ノ役員ニ欠缺若ハ故障アル

其他 職員健康保險法

トキ又ハ組合ノ役員ガ保險給付其ノ他其ノ執行スベキ職務ヲ執行セザルトキハ主務大臣ハ官吏其ノ他ノ者ヲ指定シテ其ノ職務ヲ執行セシムルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テ其ノ職務ノ執行ニ要スル費用ハ職員健康保險組合ノ負擔トス

第四十三條 主務大臣ハ職員健康保險組合ノ決議又ハ役員ノ行爲ガ法令、規約若ハ主務大臣ノ命令若ハ處分ニ違反シ又ハ公益ヲ害シ若ハ害スルノ虞アリト認ムルトキ又ハ組合ノ事業若ハ財産ノ狀況ニ依リ其ノ事業ノ繼續ヲ困難ナリト認ムルトキハ決議ヲ取消シ、役員ヲ解職シ又ハ組合ノ解散ヲ命ズルコトヲ得

第四十四條 解散ニ因リテ消滅シタル職員健康保險組合ノ權利義務ハ政府之ヲ承繼ス

第四十五條 本法ニ規定スルモノノ外職員健康保險組合ノ管理、財産ノ保管及利用方法、分合、解散其ノ他職員健康保險組合ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第四十六條 同時ニ二以上ノ事業所ニ使用セラルル被保險者ノ保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依ル

第四章 保險給付及保健施設

第四十七條 被保險者ガ其ノ疾病又ハ負傷ニ關シ療養ヲ受ケタルトキハ療養費ヲ支給ス

其他 職員健康保險法

前項ノ療養費ヲ支給スベキ療養ノ範圍並ニ療養費ノ額及支給方法ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

保險者ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ被保險者ノ疾病又ハ負傷ニ關シ療養費ノ支給ニ代ヘテ療養ノ給付ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ者ヨリ費用ノ一部ヲ徴收スルコトヲ得

第四十八條 療養費ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ關シ其ノ療養ヲ始メタル日ヨリ起算シ六月ヲ經過シタル後ノ療養ニ付テハ之ヲ支給セズ

主務大臣ノ指定スル疾病ニ關シテハ保險者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ前項ノ期間ヲ超エ尙六月以内ノ療養ニ付繼續シテ療養費ヲ支給スルコトヲ得但シ其ノ療養ヲ始メタル日前勅令ノ定ムル期間引續キ被保險者タリシ者ニ限ル

第四十九條 被保險者ガ療養ノ爲引續キ勞務ニ服スルコト能ハザルトキハ勞務ニ服スルコト能ハザルニ至リタル日ヨリ起算シ三月ヲ經過シタル日ヨリ其ノ後ニ於ケル勞務ニ服スルコト能ハザル期間傷病手當金トシテ一日ニ付報酬日額ノ百分ノ五十ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ日給ヲ受タル被保險者ニ付テハ勞務ニ服スルコト能ハザルニ至リタル日ヨリ起算シ十日ヲ經過シタル日ヨリ之ヲ支給ス

十圓ヲ、出産手當金トシテ分娩ノ前後勅令ヲ以テ定ムル期間一日ニ付報酬日額ノ百分ノ五十ニ相當スル金額ヲ支給ス

第五十三條 保險者ハ被保險者ヲ産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲スコトヲ得

産院ニ收容シ又ハ助産ノ手當ヲ爲シタル被保險者ニ對シテ支給スベキ分娩費及出産手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

第五十四條 分娩ニ關スル保險給付ニ付テハ勅令ヲ以テ分娩前一定ノ期間被保險者タリシ者ニ非ザレバ之ヲ爲サザルコトヲ定ムルコトヲ得

第五十五條 出産手當金ノ支給ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ期間傷病手當金ハ之ヲ支給セズ

第五十六條 被保險者ノ資格ヲ喪失シタル際疾病、負傷又ハ分娩ニ關シ保險給付ヲ受クル被保險者ハ被保險者トシテ保險給付ヲ受クルコトヲ得ベカリシ期間繼續シテ同一被保險者ヨリ其ノ給付ヲ受クルコトヲ得但シ被保險者ノ資格喪失ノ日前勅令ノ定ムル期間引續キ被保險者タリシ場合ニ非ザレハ之ヲ受クルコトヲ得ザルモノト爲スコトヲ得

第五十七條 前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受クル者ガ死亡シタルトキ、前條ノ規定ニ依リ保險給付ヲ受ケタル者ガ

其他 職員健康保險法

前項ノ傷病手當金ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ減額スルコトヲ得

保險者ハ第一項ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ傷病手當金ノ支給ノ待期ヲ短縮シ又ハ廢スルコトヲ得

第五十條 傷病手當金ノ支給期間ハ同一ノ疾病又ハ負傷及之ニ因リ發シタル疾病ニ關シテハ三月ヲ以テ限度トス但シ日給ヲ受クル被保險者ニ付テハ六月ヲ以テ限度トス

第四十八條第二項ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

傷病手當金ハ其ノ支給期間ヲ經過セザルトキト雖モ療養費ノ支給ヲ爲シ得ル期間ヲ經過スルニ至リタルトキハ之ヲ支給セズ

第五十一條 被保險者ガ死亡シタルトキハ被保險者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノニ對シ埋葬料トシテ報酬月額ノ一月分ニ相當スル金額ヲ支給ス但シ其ノ金額ガ三十圓ニ滿タザルトキハ之ヲ三十圓トス

被保險者ガ死亡シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受クベキ者ナキトキハ埋葬ヲ行ヒタル者ニ對シ前項ノ金額ノ範圍内ニ於テ其ノ埋葬ニ要シタル費用ニ相當スル金額ヲ支給ス

第五十二條 被保險者ガ分娩シタルトキハ分娩費トシテ二其ノ給付ヲ受ケザルニ至リタル日後三月以内ニ死亡シタルトキ又ハ其ノ他ノ被保險者タリシ者ガ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日後三月以内ニ死亡シタルトキハ被保險者タリシ者ニ依リ生計ヲ維持シタル者ニシテ埋葬ヲ行フモノハ最後ノ被保險者ヨリ埋葬料ノ支給ヲ受クルコトヲ得

第五十一條ノ規定ハ前項ノ規定ニ依リ埋葬料ノ支給ヲ受クル者ナキ場合及前項ノ埋葬料ノ金額ニ之ヲ準用ス

第五十八條 被保險者タリシ者ガ被保險者ノ資格ヲ喪失シタル日後勅令ヲ以テ定ムル期間内ニ分娩シタルトキハ分娩ニ關シ被保險者トシテ受クルコトヲ得ベカリシ保險給付ヲ最後ノ被保險者ヨリ受クルコトヲ得

第五十九條 前三條ノ規定ニ拘ラズ被保險者タリシ者ガ健康保險又ハ船員保險ノ被保險者ト爲リタルトキハ勅令ノ定ムル所ニ依リ保險給付ヲ爲サズ

第六十條 保險者ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ本章ニ規定スル保險給付ニ併セテ其ノ他ノ保險給付ヲ爲スコトヲ得

第六十一條 疾病ニ罹リ、負傷シ又ハ分娩シタル場合ニ於テ繼續シテ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコトヲ得ベキ者ニ對シテハ之ヲ受クルコトヲ得ベキ期間勅令ノ定ムル所ニ依リ傷病手當金又ハ出産手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セズ

第六十二條 前條ニ掲グル者ガ其ノ受クルコトヲ得ベカリシ報酬ノ全部又ハ一部ヲ受クルコト能ハザリシトキハ保險者ハ之ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ傷病手當金又ハ出產手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給ス
前項ノ規定ニ依リ保險者ノ支給シタル金額ハ事業主ヨリ之ヲ徴收ス

第六十三條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ自己ノ故意ノ犯罪行為ニ因リ又ハ故意ニ事故ヲ生ゼシメタルトキハ保險給付ヲ爲サズ

第六十四條 被保險者ガ闘争、泥酔若ハ著シキ不行跡ニ因リ又ハ故意ニ危害豫防ニ關スル業務上ノ監督者ノ指揮ニ從ハザルニ因リ事故ヲ生ゼシメタルトキハ傷病手當金ノ全部又ハ一部ヲ支給セザルコトヲ得

第六十五條 被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ疾病、負傷又ハ分娩ニ關シ其ノ期間ニ係ル保險給付ハ之ヲ爲サズ
一 陸海軍ニ徵集又ハ召集セラレタルトキ
二 本法施行區域外ニ在ルトキ
三 矯正院其ノ他之ニ準ズベキモノニ入院セシメラレタルトキ
四 監獄、留置場又ハ勞役場ニ拘禁又ハ留置セラレタル

ノ限度ニ於テ被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ第三者ニ對シテ有スル損害賠償請求ノ權利ヲ取得ス

第七十條 保險者ハ被保險者ノ健康ヲ保持増進スル爲左ノ施設ヲ爲スコトヲ得

- 一 疾病又ハ負傷ノ豫防ニ關スル施設
- 二 健康診斷ニ關スル施設
- 三 保養ニ關スル施設
- 四 其ノ他健康ノ保持増進ニ關スル施設

第七十一條 保險者ハ事業ニ支障ナキ場合ニ限り被保險者ニ非ザル者ヲシテ保險者ノ施設ヲ利用セシムルコトヲ得
保險者ハ其ノ施設ヲ利用スル者ニ對シ命令ノ定ムル所ニ依リ利用料ヲ請求スルコトヲ得

七十二條 第六十三條、第六十五條第一項及第二項、第六十八條並ニ第六十九條ノ規定ハ世帯員ニ之ヲ準用ス
第五十六條ノ規定ハ第一條第二項ノ保險給付ニ之ヲ準用ス

第五章 費用ノ負擔

第七十三條 國庫ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ毎年度豫算ノ範圍内ニ於テ職員健康保險事業ニ要スル費用ノ一部ヲ負擔ス

第七十四條 保險者ハ職員健康保險事業ニ要スル費用ニ充ツル爲保險料ヲ徴收ス

其他 職員健康保險法

トキ

他ノ法令ニ依リ國又ハ公共團體ノ負擔ニ於テ診療所ニ收容セラレタル者ニ對シテハ療養費ヲ支給セズ
第四十九條第二項及第五十三條第二項ノ規定ハ前項ニ掲グル者ニ之ヲ準用ス

保險者ハ被保險者又ハ被保險者タリシ者ガ第一項各號ノ一ニ該當スル場合ト雖モ第一條第二項ノ保險給付ヲ爲スコトヲ妨ゲズ

第六十六條 保險者ハ正當ノ理由ナクシテ療養ニ關スル指揮ニ從ハザル者ニ對シ之ニ支給スベキ傷病手當金ノ一部ヲ支給セザルコトヲ得

第六十七條 保險者ハ詐欺其ノ他不正ノ行為ニ依リ保險給付ヲ受ケ又ハ受ケントシタル者ニ對シ勅令ノ定ムル所ニ依リ期間ヲ定メ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲サザルコトヲ得

第六十八條 保險者ハ必要アリト認ムルトキハ保險給付ヲ受クル者ノ診斷ヲ行フコトヲ得
保險者ハ正當ノ理由ナクシテ前項ノ診斷ヲ受ケザル者ニ對シ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲サザルコトヲ得

第六十九條 保險者ハ事故ガ第三者ノ行為ニ因リテ生ジタル場合ニ於テ保險給付ヲ爲シタルトキハ其ノ給付ノ價額

保險料ノ算定ニ關スル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第七十五條 被保險者及被保險者ヲ使用スル事業主ハ各保險料額ノ二分ノ一ヲ負擔ス但シ第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者ハ其ノ全額ヲ負擔ス

第七十六條 少額ノ報酬ヲ受クル被保險者ニ關スル保險料ニ付テハ勅令ヲ以テ事業主ノ負擔スベキ割合ヲ増加スルコトヲ得

第七十七條 職員健康保險組合ハ第七十五條ノ規定又ハ前條ニ基キテ發スル勅令ノ規定ニ拘ラズ其ノ規約ヲ以テ事業主ノ負擔スベキ保險料額ノ負擔ノ割合ヲ増加スルコトヲ得

第七十八條 被保險者ガ第六十五條第一項各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ勅令ノ定ムル所ニ依リ其ノ期間保險料ヲ徴收セズ

第七十九條 事業主ハ其ノ使用スル被保險者ノ負擔スベキ保險料ヲ納付スル義務ヲ負フ但シ第二十七條ノ規定ニ依ル被保險者ノ負擔スル保險料ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ
第八十條 事業主ハ勅令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ規定ニ依リ納付スベキ保險料ヲ被保險者ニ支拂フベキ報酬ヨリ控除スルコトヲ得

第六章 審査ノ請求、訴願及訴訟

其他 職員健康保險法

第八十一條 保險給付ニ關スル決定ニ不服アル者ハ第一次職員健康保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ第二次職員健康保險審査會ニ審査ヲ請求シ其ノ決定ニ不服アルトキハ通常裁判所ニ訴テ提起スルコトヲ得前項ノ審査ノ請求ハ時効ノ中斷ニ關シテハ之ヲ裁判上ノ請求ト看做ス

第八十二條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ賦課若ハ徵收ノ處分又ハ第十三條ノ規定ニ依ル處分ニ不服アル者ハ主務大臣ニ訴願シ又ハ行政裁判所ニ出訴スルコトヲ得前項ノ規定ニ依ル訴願ニ關シテハ職員健康保險組合ヲ訴願法ノ規定ニ依ル行政廳ト看做ス

第八十三條 保險料其ノ他本法ニ依ル徵收金ノ賦課又ハ徵收ノ處分ニ關シ訴願ノ提起アリタルトキハ主務大臣ハ第二次職員健康保險審査會ノ審査ヲ經テ裁決ヲ爲スベシ

第八十四條 本法ニ規定スルモノノ外職員健康保險審査會ニ關シ必要ナル事項ハ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

第八十五條 審査ノ請求、訴ノ提起又ハ訴願若ハ行政訴訟ノ提起ハ處分ノ通知又ハ決定書ノ交付ヲ受ケタル日ヨリ三十日以内ニ之ヲ爲スベシ此ノ場合ニ於テ審査ノ請求ニ付テハ訴願法第八條第三項ノ規定ヲ、訴ノ提起ニ付テハ民事訴訟法第一百五十八條第二項及第一百五十九條ノ規定ヲ

準用ス

第七章 罰 則

第八十六條 正當ノ理由ナクシテ第十條ノ規定ニ依ル當該官吏ノ質問ニ對シ答辯ヲ爲サズ若ハ虛偽ノ答辯ヲ爲シ又ハ其ノ檢査ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタル者ハ三百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十七條 第九條ノ規定ニ依ル保險者ノ請求アリタル場合ニ於テ正當ノ理由ナクシテ報告ヲ爲サズ、虛偽ノ報告ヲ爲シ又ハ文書ノ提示ヲ爲サザル者ハ百圓以下ノ罰金ニ處ス

第八十八條 事業主ハ其ノ代理人、戸主、家族、同居者、雇人其ノ他ノ從業者ガ其ノ業務ニ關シ前條ノ違反行爲ヲ爲シタルトキハ自己ノ指揮ニ出デザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第八十九條 第八十七條ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治產者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第九十條 職員健康保險組合ノ設立ヲ命ゼラレタル事業主ガ正當ノ理由ナクシテ主務大臣ノ指定スル期日迄ニ設立

ノ認可ヲ申請セザルトキハ其ノ手續ヲ遅延シタル期間其ノ負擔スベキ保險料額ノ二倍ニ相當スル金額以下ノ過料ニ處ス

第九十一條 職員健康保險組合ガ第四十一條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シ又ハ處分ヲ拒ミ、妨ケ若ハ忌避シタルトキハ其ノ役員ヲ百圓以下ノ過料ニ處ス

附 則

本法施行ノ期日ハ保險給付、保健施設及費用ノ負擔ニ關スル規定並ニ其ノ他ノ規定ニ付各別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ム

(昭和十四年勅令第八百五十七號ヲ以テ保險給付、保健施設及費用ノ負擔ニ關スル規定ヲ除クノ外昭和十四年十二月二十六日ヨリ施行)

七六 農地調整法抄

昭和十三年四月二日法律第六十七號

第三條 農地ノ所有者又ハ耕作者ハ兵役其ノ他命令ヲ以テ定ムル事由ニ因リテ農地ヲ自ラ耕作シ又ハ管理スルコト能ハザルトキハ市町村其ノ他命令ヲ以テ定ムル團體ニ農地ノ管理又ハ買取ノ申出ヲ爲スコトヲ得前項ノ申出アリタル場合ニ於テハ同項ノ團體ハ命令ノ定ムル所ニ依リ農地ノ管理又ハ買取ヲ爲スコトヲ得

其他 農地調整法抄 農地調整法施行令抄

第四條 道府縣、市町村其ノ他命令ヲ以テ定ムル團體ガ農村ノ經濟更生ノ爲命令ノ定ムル所ニ依リ自作農創設維持

ニ要スル土地ヲ取得シ又ハ使用スルノ必要アルトキハ行政官廳ノ認可ヲ受ケ土地ノ所有者其ノ他之ニ關シ權利ヲ有スル者ニ對シ土地ノ讓渡又ハ使用收益ノ權利ノ設定若ハ讓渡ニ關スル協議ヲ求ムルコトヲ得

前項ノ團體ガ未墾地ヲ開發シテ同項ノ事業ヲ行ハントスル場合ニ於テ同項ノ規定ニ依ル協議調ハザルトキハ開發セントスル未墾地其ノ他其ノ開發ニ必要ナル土地又ハ其ノ使用收益ノ權利ヲ收用又ハ使用スルコトヲ得

前項ノ規定ニ依ル收用又ハ使用ニ關シテハ土地收用法ヲ適用ス

七七 農地調整法施行令抄

昭和十三年七月二十九日勅令第五百三三號

第一條 農地調整法第四條ノ事業ヲ行フ團體ハ道府縣及市町村ノ外產業組合及農事實行組合トス

第二條 農地調整法第四條ノ自作農創設維持ノ事業トハ同條ノ團體ガ命令ノ定ムル所ニ依リ行フ左ノ事業ヲ謂フ
一 個人ノ自作地ト爲スベキ土地ノ購入ニ必要ナル資金ヲ貸付ケ自作地ノ創設ヲ爲スコト

二 個人ノ自作地トシテ土地ヲ購入シタルニ因リ生ジタル債務ノ借替ニ必要ナル資金ヲ貸付ケ自作地ノ維持ヲ爲スコト

三 個人ノ自作地ト爲ス爲ノ未墾地ノ購入若ハ開墾ニ必要ナル資金ヲ貸付ケ又ハ其ノ開墾ニ對シ助成ヲ爲シ自作地ノ創設ヲ爲スコト

第三條 農地調整法第六條ノ自作農創設維持ノ事業トハ道府縣、市町村、産業組合又ハ農事實行組合ガ直接又ハ間接ニ政府ノ資金ノ融通又ハ補助若ハ助成ヲ受ケ命令ノ定ムル所ニ依リ行フ前條第一號乃至第四號ノ事業及同法第四條第二項ノ規定ニ依リ土地又ハ其ノ使用收益ノ權利ヲ取得シテ行フ前條ノ事業ヲ謂フ

七八 農地調整法施行規則抄

昭和十三年七月二十九日農林省令第三三三號
改正昭和十五年五月農林省令第二十五號

第一條 農地調整法第三條ノ團體ハ市町村ノ外市農會、町村農會、産業組合、農事實行組合及養蠶實行組合トス但シ買取ノ事業ニ付テハ市農會及町村農會ヲ除ク

第四條 農地調整法第三條ノ團體同條ノ事業ヲ爲サントスルトキハ市町村農地委員會ノ審議ヲ經テ規程ヲ定メ之ヲ地方長官ニ届出ツベシ

第五條 地方長官ハ何時ニテモ農地調整法第三條ノ團體ヲシテ同條ノ事業ニ關スル報告ヲ爲サシメ又ハ其ノ事業ノ狀況ヲ検査シ其ノ他監督上必要ナル命令又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

第七條 農地調整法第四條又ハ第六條ノ團體同條ノ自作農創設維持ノ事業ヲ行ハントスルトキハ道府縣ニ在リテハ農林大臣ノ、市町村、産業組合又ハ農事實行組合ニ在リテハ地方長官ノ認可ヲ受クベシ但シ市町村、産業組合又ハ農事實行組合ガ農林大臣ノ承認ヲ得タル道府縣ノ施設ニ基キ行フ場合ニ於テハ此ノ限ニ在ラズ

第九條 農地調整法第四條ノ團體同條第一項ノ認可ヲ受ケ

テハ農林大臣ニ、市町村、産業組合又ハ農事實行組合ニ在リテハ地方長官ニ之ヲ提出スベシ

一 取得シ又ハ使用セントスル土地ノ地目、地番、面積及其ノ土地ニ關シ現ニ存スル權利ノ内容ヲ記載シタル書面

二 取得セントスル權利ノ内容ヲ記載シタル書面

三 協議ヲ必要トスル事由及協議ヲ求メントスル者ノ住所氏名ヲ記載シタル書面

四 取得シ又ハ使用セントスル土地ノ附近ノ土地事情ヲ記載シタル書面

五 道府縣農地委員會又ハ市町村農地委員會ノ審議ノ結果ヲ記載シタル書面

七九 自作地登記令抄

昭和十三年七月二十九日勅令第五百二十七號

第一條 農地調整法第七條第一項ノ自作地ノ登記ハ道府縣又ハ市町村ガ事業者ナルトキハ其ノ囑託ニ因リ、産業組合又ハ農事實行組合ガ事業者ナルトキハ其ノ申請ニ因リテ之ヲ爲ス

前項ノ囑託又ハ申請ヲ爲スニハ自作地ナル旨ノ地方長官ノ證明書ヲ添付スルコトヲ要ス

八〇 酪農業調整法抄

昭和十四年三月二十五日法律第二十七號
改正昭和十五年三月法律第五十九號

第二條 行政官廳ノ指定スル地域内ニ於テ牛乳ノ生産ヲ業トスル者ノ組織スル法人ニシテ勅令ヲ以テ定ムルモノ牛乳ノ販賣ニ關スル施設ヲ行フ場合ニ於テハ命令ノ定ムル所ニ依リ行政官廳ニ届出ヲ爲スベシ

第三條 行政官廳牛乳ノ取引上ノ弊害ヲ豫防シ又ハ矯正スル爲テ必要アリト認ムルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ前條ノ法人ニ對シ牛乳ノ販賣ノ統制ニ關スル決定ヲ爲ス

其他 自作地登記令抄 酪農業調整法抄

ベキコトヲ命ジ又ハ同條ノ地域内ニ於テ牛乳ノ生産ヲ業トスル者ニ對シ同條ノ法人ノ統制ニ關スル決定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第四條 牛乳ノ販賣ヲ業トシ又ハ乳製品ノ製造事業ヲ爲ス者行政官廳ノ指定スル地域内ニ於テ牛乳ノ生産ヲ業トスル者又ハ其ノ組織スル法人ト繼續シテ牛乳ノ取引ヲ爲サントスルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ價格、數量其ノ他牛乳ノ取引ニ關スル事項ニ付行政官廳ノ許可ヲ受クベシ

行政官廳牛乳ノ取引上ノ弊害ヲ豫防シ又ハ矯正スル爲テ必要アリト認ムルトキハ前項ノ取引ニ關シ必要ナル命令ヲ爲スコトヲ得

第五條 勅令ヲ以テ定ムル乳製品ノ製造事業(製酪業)ヲ爲サントスル者ハ命令ノ定ムル所ニ依リ工場ノ位置、製品ノ種類及數量其ノ他其ノ事業ニ關スル事項ニ付行政官廳ノ許可ヲ受クベシ

第六條 前條ノ許可ヲ受ケタル者(製酪業者)ハ製酪業ノ改良發達及統制ヲ圖ル爲製酪業者ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ得テ定款其ノ他必要ナル事項ヲ定メ役員ヲ選任シ行政官廳ノ認可ヲ受ケ製酪業組合ヲ設立スルコトヲ得

第七條 製酪業者製酪業組合ヲ設立セザル場合ニ於テ行政官廳特ニ必要アリト認ムルトキハ製酪業者ニ對シ命令ノ

定ムル所ニ依リ製酪業組合ノ設立ヲ命ズルコトヲ得
前項ノ規定ニ依リ設立ヲ命ゼラレタル者ハ前條ノ規定ニ
從ヒ其ノ設立ニ付行政官廳ノ認可ヲ受クベシ

第十二條 製酪業組合ノ設立アリタルトキハ製酪業者ハ其
ノ組合ノ組合員トス

第十三條 製酪業組合ハ定款ノ定ムル所ニ依リ其ノ組合員
ニ對シ經費ヲ分賦シ及過怠金ヲ課スルコトヲ得

第十四條 行政官廳必要アリト認ムルトキハ製酪業組合ノ
組合員ニ對シ第十條第一項第一號ノ統制ニ關スル組合ノ
決定ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

第十五條 行政官廳ハ製酪業組合又ハ其ノ組合員ニ對シ其
ノ業務ニ關シ報告ヲ爲サシメ其ノ他監督上必要ナル命令
ヲ發シ又ハ處分ヲ爲スコトヲ得

行政官廳監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ
製酪業組合又ハ其ノ組合員ノ事務所、工場其ノ他ノ場所
ニ臨檢シ帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得
此ノ場合ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十八條 行政官廳ハ第四條第一項又ハ第五條ノ許可ヲ受
ケタル者ニ對シ許可ヲ受ケタル事項ニ關シ必要ナル報告
ヲ爲サシムルコトヲ得

行政官廳監督上必要アリト認ムルトキハ當該官吏ヲシテ

前項ニ規定スル者ノ事務所、工場其ノ他ノ場所ニ臨檢シ
帳簿書類其ノ他ノ物件ヲ檢査セシムルコトヲ得此ノ場合
ニ於テハ其ノ身分ヲ示ス證票ヲ携帶セシムベシ

第十九條 第五條ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズ又ハ許可ヲ
受ケタル事項ニ依ラズシテ製酪業ヲ爲シタル者ハ千圓以
下ノ罰金ニ處ス

第二十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ五百圓以下ノ罰金
ニ處ス

一 第三條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

二 第四條第一項ノ規定ニ違反シ許可ヲ受ケズ又ハ許可
ヲ受ケタル事項ニ依ラズシテ取引ヲ爲シタル者

三 第四條第二項ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

四 第十四條ノ規定ニ依ル命令ニ違反シタル者

第二十一條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ三百圓以下ノ罰
金ニ處ス

一 第十五條第一項又ハ第十八條第一項ノ規定ニ依ル報
告ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ報告ヲ爲シタル者

二 第十五條第一項ノ規定ニ依ル命令又ハ處分ニ違反シ
タル者

三 第十五條第二項又ハ第十八條第二項ノ規定ニ依ル檢
査ヲ拒ミ、妨ゲ又ハ忌避シタル者

八一 酪農業調整法施行令抄

昭和十四年八月二十三日勅令第六百一號

第一條 酪農業調整法第二條ノ法人ハ農事實行組合、産業

組合、産業組合聯合會、畜産組合及畜産組合聯合會トス

第二條 酪農業調整法第五條ノ乳製品ハ煉乳、粉乳及バタ
ートス

第三十六條 酪農業調整法第二條及第三條中行政官廳トア
ルハ第一條ノ法人ノ主タル事務所所在地ヲ管轄スル地方
長官トス但シ同法第二條ニ規定スル地域ノ指定ニ付テハ
農林大臣トス

酪農業調整法第四條第一項中行政官廳トアルハ取引ヲ爲
ス牛乳生産地ヲ管轄スル地方長官トス但シ同項ニ規定ス
ル地域ノ指定ニ付テハ農林大臣トス

酪農業調整法第四條第二項中行政官廳トアルハ農林大臣
及前項ノ地方長官トス

酪農業調整法第五條乃至第七條、第十條第二項及第十四
條乃至第十六條中行政官廳トアルハ農林大臣トス

酪農業調整法第十八條中行政官廳トアルハ同法第四條第
一項ノ許可ヲ受ケタル者ニ付テハ其ノ許可ヲ爲シタル地
方長官トシ同法第五條ノ許可ヲ受ケタル者ニ付テハ農林

第二十二條 法人又ハ人ノ代理人、戶主、家族、同居者、雇

人其ノ他ノ從業者ガ其ノ法人又ハ人ノ業務ニ關シ第十九
條、第二十條又ハ第二十一條第一號若ハ第二號ノ違反行

爲ヲ爲シタルトキハ其ノ法人又ハ人ハ自己ノ指揮ニ出デ
ザルノ故ヲ以テ其ノ處罰ヲ免ルルコトヲ得ズ

第二十三條 第十九條、第二十條並ニ第二十一條第一號及
第二號ノ罰則ハ其ノ者ガ法人ナルトキハ理事、取締役其

ノ他ノ法人ノ業務ヲ執行スル役員ニ、未成年者又ハ禁治
産者ナルトキハ其ノ法定代理人ニ之ヲ適用ス但シ營業ニ

關シ成年者ト同一ノ能力ヲ有スル未成年者ニ付テハ此ノ
限ニ在ラズ

第二十四條 左ノ場合ニ於テハ法人ノ理事其ノ他ノ法人ノ
業務ヲ執行スル役員ヲ三百圓以下ノ過料ニ處ス

一 第二條ノ規定ニ依ル届出ヲ爲サズ又ハ虛偽ノ届出ヲ
爲シタルトキ

二 第十六條第三號ノ規定ニ依ル處分ニ違反シ事業ヲ停
止セザルトキ

非訟事件手續法第二百六條乃至第二百八條ノ規定ハ前項
ノ過料ニ之ヲ準用ス

大臣トス

八二 酪農業調整法施行規則抄

昭和十四年八月二十五日農林省令第四十號

第一條 酪農業調整法第二條ノ法人(以下團體ト稱ス)ハ其ノ行フ牛乳ノ販賣ニ關スル施設ニ付左ニ掲グル事項ヲ毎年二月末日迄ニ地方長官ニ届出ツベシ

一 前年ニ於ケル事業狀況

二 出荷又ハ販賣ノ條件其ノ他牛乳ノ販賣ニ關スル組織員ノ義務ノ内容

三 牛乳ノ販賣施設ニ關スル規程ヲ設ケタル場合ニ於テハ其ノ規程

第二條 地方長官酪農業調整法第三條ノ規定ニ依リ團體ニ對シ命令ヲ爲ス場合ニ於テハ期限ヲ指定シテ之ヲ爲スベシ

第三條 地方長官酪農業調整法第三條ノ規定ニ依リ牛乳ノ生産ヲ業トスル者ニ對シ命令ヲ爲ス場合ニ於テハ團體名、決定ニ從フベキ者ノ範圍及從フベキ事項ヲ指定シ之ヲ告示スベシ

第四條 地方長官ハ團體ノ區域内ニ於テ牛乳ノ生産ヲ業トスル者ノ三分ノ二以上ガ當該團體ノ組織員タル場合ニ限

リ其ノ組織員ニ非ザル者ニシテ團體ノ區域内ニ於テ牛乳ノ生産ヲ業トスル者ニ對シ酪農業調整法第三條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲スコトヲ得

第五條 團體ハ總會又ハ總代會ノ決議ニ基キ當該團體ノ區域内ニ於テ牛乳ノ生産ヲ業トスル者ニ對シ酪農業調整法第三條ノ規定ニ依ル命令ヲ爲スコトヲ地方長官ニ申請スルコトヲ得

前項ノ決議ニハ農事實行組合ニ在リテハ民法第三十八條第一項ノ規定ヲ、産業組合及産業組合聯合會ニ在リテハ産業組合法第二十八條ノ規定ヲ、畜産組合及畜産組合聯合會ニ在リテハ畜産組合法第二十五條第五項ノ規定ヲ準用ス

第六條 團體前條ノ申請ヲ爲サントスルトキハ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル申請書ヲ地方長官ニ提出スベシ

一 申請ノ理由

二 統制ニ關スル決定ノ内容及統制確保ノ爲執リタル措置

前項ノ申請書ニハ前條ノ決議ノ決議録ノ謄本ヲ添附スベシ
前二項ノ書類ノ外地方長官ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第七條 牛乳ノ販賣ヲ業トシ又ハ乳製品ノ製造事業ヲ爲ス

者牛乳ノ生産ヲ業トスル者又ハ其ノ組織スル法人ト一月以上繼續シテ牛乳ノ取引ヲ爲サントスルトキハ左ニ掲グル事項ニ付酪農業調整法第四條第一項ノ許可ヲ受クベシ

一 取引ノ相手方

二 取引開始ノ時期及其ノ繼續期間

三 數量

四 價格及其ノ決定方法

五 代金支拂ノ方法

六 牛乳受渡ノ方法

七 乳牛、飼料其ノ他ノ物品ノ供給、資金ノ融通、獎勵金ノ交付、違約金ノ支拂其ノ他取引ニ附帶シテ定ムル事項アル場合ニ於テハ其ノ内容

前項ノ許可ヲ受ケントスル者ハ前項各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ取引ノ相手方ノ承諾書ヲ添ヘ之ヲ地方長官ニ提出スベシ

前二項ノ書類ノ外地方長官ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトヲ得

第八條 前條第一項ノ許可ヲ受ケタル者許可ヲ受ケタル日ヨリ三週間以内ニ契約ヲ爲サザルトキハ許可ハ其ノ效力ヲ失フ

前條第一項ノ許可ヲ受ケタル者契約ヲ爲シタルトキハ遲

其他 酪農業調整法施行規則抄

滞ナク其ノ旨地方長官ニ報告スベシ

第九條 第七條第一項ノ許可ヲ受ケタル者許可ヲ受ケタル事項ヲ變更セントスルトキハ變更セントスル事項及變更ノ理由ヲ記載シタル申請書ニ取引ノ相手方ノ承諾書ヲ添ヘ之ヲ地方長官ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

第十條 第七條第一項ノ許可ヲ受ケタル者其ノ取引ヲ廢止セントスルトキハ豫メ其ノ旨地方長官ニ届出ツベシ

第十一條 酪農業調整法第五條ノ乳製品ノ製造事業(製酪業)ヲ爲サントスル者ハ工場毎ニ左ニ掲グル事項ニ付同條ノ許可ヲ受クベシ

一 工場ノ位置

二 製造設備ノ能力

三 製品ノ種類及數量

第十二條 前條ノ許可ヲ受ケントスル者ハ前條各號ノ事項ヲ記載シタル申請書ニ左ニ掲グル書類ヲ添附シ之ヲ農林大臣ニ提出スベシ

一 事業計畫書

二 設備要領書

三 許可ヲ受ケントスル者法人ナルトキハ定款又ハ規約、登記簿ノ謄本、財産目錄及貸借對照表

四 二人以上共同シテ許可ヲ受ケントスル時ハ事業ニ關

其他 酪農業調整法施行規則抄

スル各共同者ノ出資額及權利義務ノ關係ヲ記載シタル書類

五 製酪業以外ノ事業ヲ兼營スル場合ニ於テハ其ノ兼營事業ノ大要ヲ記載シタル書類

二人以上共同シテ製酪業ヲ爲サントスルトキハ内一人ヲ代表者ト定メ其ノ氏名又ハ名稱ヲ許可申請書ニ記載スベシ

第一項ノ書類ノ外農林大臣ハ必要ト認ムル書類ノ提出ヲ命ズルコトアルベシ

第十三條 事業計畫書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 一年間ノ原料牛乳ノ消費見込數量

二 集乳見込地域

三 一年間ノ乳製品ノ種類別製造見込數量

四 乳製品ノ處分方法

五 従業員ノ種類別員數

六 起業費ノ收支概算

七 事業ノ收支概算

八 事業開始ノ年月日

第十四條 設備要領書ニハ左ニ掲グル事項ヲ記載スベシ

一 建物ノ種類及面積並ニ構造ノ概要

二 製造器具機械ノ名稱、型式、能力及員數

前項ノ設備要領書ニハ敷地内ノ建物及設備ノ配置圖ヲ添附スベシ

第十五條 酪農業調整法第五條ノ許可ヲ受ケタル者(製酪業者)許可ヲ受ケタル事項ヲ變更セントスルトキハ變更セントスル事項及變更ノ理由ヲ記載シタル申請書ヲ農林大臣ニ提出シ其ノ許可ヲ受クベシ

第十二條第三項ノ規定ハ前項ノ規定ニ依ル許可ノ申請ニ之ヲ準用ス

第十六條 左ニ掲グル場合ニ於テハ酪農業調整法第五條ノ許可ハ其ノ效力ヲ失フ但シ製酪業者死亡シタル場合ニ於テ其ノ相續人が引續キ其ノ事業ヲ行フトキハ被相續人ニ對シ爲シタル許可ハ爾後相續人ニ對シ之ヲ爲シタルモノト看做ス

一 製酪業者死亡シ又ハ解散シタルトキ
二 許可ヲ受ケタル工場ニ付事業ノ廢止アリタルトキ
三 許可ヲ受ケタル工場滅失シタルトキ

前項但書ノ場合ニ於テハ相續人ハ死亡ノ日ヨリ三十日以内ニ其ノ旨農林大臣ニ届出ヅベシ

製酪業者死亡シ又ハ解散シタルトキハ第一項但書ノ場合ヲ除クノ外相續人又ハ清算人ハ遲滞ナク其ノ旨農林大臣ニ届出ヅベシ

第十七條 製酪業者酪農業調整法第五條ノ許可ヲ受ケタル日ヨリ二年以内ニ其ノ工場ノ事業ヲ開始セザルトキハ農林大臣ハ其ノ許可ヲ取消スコトアルベシ

製酪業者引續キ二年以上其ノ事業ノ全部又ハ一部ヲ爲サザルトキハ農林大臣ハ其ノ許可ヲ取消シ又ハ其ノ工場ノ事業ヲ制限スルコトアルベシ

第十八條 製酪業者ハ毎年二月末日迄ニ工場毎ニ前年ニ於ケル事業ノ狀況ヲ農林大臣ニ報告スベシ

第十九條 左ニ掲グル場合ニ於テハ製酪業者ハ遲滞ナク其ノ旨農林大臣ニ届出ヅベシ

一 製酪業者其ノ氏名若ハ名稱又ハ住所ヲ變更シタルトキ

二 製酪業者タル法人其ノ定款又ハ規約ヲ變更シタルトキ

三 製酪業者其ノ事業ヲ開始シタルトキ

四 製酪業者其ノ工場ノ事業ヲ休止シ又ハ休止シタル工場ノ事業ヲ再ビ開始シタルトキ

五 製酪業者其ノ工場ノ事業ヲ廢止シタルトキ

六 工場ノ全部又ハ一部滅失シタルトキ

七 製酪業者製酪業以外ノ事業ヲ新ニ兼營シタルトキ又ハ兼營事業ヲ廢止シタルトキ

其他 牛乳生産者團體ノ活動促進ニ關スル件

第二十條 第十二條、第十五條、第十六條第二項及第三項、第十八條並ニ前條ノ規定ニ依リ農林大臣ニ提出スル書類ハ當該工場ノ所在地ヲ管轄スル地方長官ヲ經由スベシ

第二十一條 酪農業調整法第六條ノ規定ニ依リ製酪業組合(以下組合ト稱ス)ヲ設立セントスルトキハ製酪業者發起人ト爲リ左ニ掲グル事項ヲ記載シタル書面ヲ以テ製酪業者ニ對シ設立ノ同意ヲ求ムベシ

一 目的及事業ノ概要
二 初年度ニ於ケル收支豫算及經費ノ分賦收入方法
設立ノ同意ハ前項ノ書面ニ記名捺印スルコトニ依リテ之ヲ爲スベシ

發起人第一項ノ書面ヲ作成シタルトキハ遲滞ナク之ヲ農林大臣ニ届出ヅベシ

八三 牛乳生産者團體ノ活動促進ニ關スル件

昭和十四年八月二十八日(四畜第一四三三)號
農林省畜産局長 經濟更生部長 依命通牒

今般酪農業調整法施行相成候處今後同法ノ趣旨ニ鑑ミ牛乳ノ販賣ニ關シ牛乳生産者ノ團體ノ活動ヲ一層促進シ牛乳ノ

其他 牛乳生産者團體ノ活動促進ニ關スル件

二二四

取引ヲ漸次團體取引ニ改ムルノ要緊切ナルモノ有之ニ付テハ地方ニ於ケル特別ノ事情無之限リ左記御含ミノ上産業組合ニ依ル共同販賣ノ促進方適當御配意相煩度依命此段及通牒候也

記

- 一、酪農業發達ノ現狀並ニ斯業ノ技術的特性ニ鑑ミ相當度區域ノ酪農産業組合ノ設立ヲ認ムルコト
- 二、牛乳ノ共同販賣及飼料等ノ共同購入ノ如キ經濟行爲ハ右産業組合ヲシテ行ハシメ乳牛ノ飼養管理、搾乳等ノ指導ノ如キ生産技術方面ハ畜産組合又ハ農會ヲシテ擔當セシメ産業組合又ハ農會トノ連絡協調ヲ緊密ナラシムルコト

八四 貿易組合法抄

昭和十二年八月十四日法律第七十四號

第二條 貿易組合ハ貿易ノ振興ヲ圖ル爲共同ノ施設ヲ爲スヲ以テ目的トス

第九條 同一種類ノ重要輸出品ノ輸出ヲ業トスル者又ハ同一市場ヲ目的トシテ商品ヲ販賣ノ目的ヲ以テ輸出ヲ爲スモノニ對シ其ノ組合ノ統制ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

貿易組合法抄

立スルコトヲ得

前項ノ重要輸出品ハ主務大臣之ヲ指定ス

第十一條 輸出組合ハ左ノ事業ヲ行フコトヲ得

- 一 組合員ノ營業ニ關スル統制
- 二 組合員ノ取扱商品ノ委託輸出、輸出ノ斡旋、保管、選別、包裝、荷造其ノ他組合員ノ營業ニ關スル共同施設
- 三 海外市场ノ調査、新販路ノ開拓其ノ他組合員ノ目的ヲ達スルニ必要ナル施設

組合ハ前項ノ事業ノ外組合員ノ取扱商品ノ買取輸出、組合員ニ對シ其ノ營業ニ必要ナル資金ノ貸付、組合員ノ爲ニスル其ノ營業上ノ債務ノ保證又ハ組合員ノ貯金ノ受入ヲ併セ行フコトヲ得

第一項ニ掲グル組合ノ施設ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限り組合員ニ非ザル者ヲシテ命令ノ定ムル所ニ依リ之ヲ利用セシムルコトヲ得

第十八條 營業上ノ弊害ヲ豫防シ若ハ矯正スル爲又ハ貿易ノ振興上特ニ必要アリト認ムルトキハ主務大臣ハ輸出組合ノ組合員、其ノ組合ノ組合員ニ非ズシテ其ノ組合ノ地區内ニ於テ組合員タル資格ヲ有スル者又ハ其ノ組合ノ組合員タル資格ヲ有セザル者ニシテ其ノ組合ノ地區内ニ於テ其ノ組合ノ組合員ノ取扱商品ト同種ノ商品ヲ販賣ノ目

的ヲ以テ輸出ヲ爲スモノ若ハ其ノ組合ノ組合員ト同一市場ヲ目的トシテ商品ヲ販賣ノ目的ヲ以テ輸出ヲ爲スモノニ對シ其ノ組合ノ統制ニ從フベキコトヲ命ズルコトヲ得

八五 貿易組合法施行規則抄

昭和十二年九月七日商工省令第十八號

第三十一條 商工大臣貿易組合法第十八條ノ規定ニ依リ組合ノ統制ニ從フベキコトヲ命ズル場合ニ於テハ豫メ組合、從フベキ事項及統制ニ從フベキ者ノ資格ヲ指定シ之ヲ告示ス

八六 家畜市場法施行規則抄

明治三十三年十一月一日農商務省令第三十六號
改正大正元年十一月農商務省令第二十三號

第十一條 家畜市場法第八條ノ規定ニ依ル常設家畜市場ノ區域内ニ於テ開設スルコトヲ得ル市場左ノ如シ
一 品評會、共進會、博覽會又ハ競馬會ノ開設スル臨時家畜市場

二 產牛馬組合法又ハ産業組合法ニ依リ設置シタル組合ノ家畜市場

三 家畜市場法施行前ニ開設ノ許可若ハ認可ヲ得タル家畜市場

其他

貿易組合法施行規則抄 家畜市場法施行規則抄
驗場種苗拂下規則抄 種雞種卵拂下規則抄

畜市場

(參照) 家畜市場法

第八條 常設家畜市場ニ付主務大臣ノ認可ヲ得テ地方長官ノ指定シタル區域ニ於テハ命令ニ別段ノ規定アル場合ヲ除クノ外其ノ市場ノ取扱フ家畜ニ付市場ヲ開設スルコトヲ得ス

八七 水産試驗場種苗拂下規則抄

昭和四年四月一日農林省令第六號

第二條 種苗ノ拂下ヲ受クルコトヲ得ル者ハ左ノ各號ノ一ニ該當スル者ニ限ル

- 一 道府縣、市町村其ノ他ノ公共團體
 - 二 水産會、水産組合、漁業組合又ハ産業組合
 - 三 一年以上養殖事業ヲ營ミ相當ノ成績ヲ擧ゲタル者
- 前項ニ該當セザル者ト雖水産試驗場長ニ於テ適當ト認ムル者ニ對シテハ拂下ヲ爲スコトアルベシ

八八 種雞種卵拂下規則抄

昭和十二年十二月二十八日農林省令第二十七號
改正昭和三年七月農林省令第十七號
昭和八年農林省令第十七號

二二五

其他

産卵能力檢定規則抄 産業組合登記簿等ノ謄本抄本其他
交付請求手数料ニ關スル件抄

二二六

第一條 種鶏場ニ於テ拂下グベキ種雞及種卵ノ種類、等級、價格及一出願人ニ對シ拂下グベキ數量ハ農林大臣之ヲ定ム

前項ノ種類、等級、價格及數量ハ之ヲ告示ス

第一條ノ二 種鶏場長ハ種雞ノ拂下ヲ受ケントスル者ノ出願ニ依リ種雞引渡ノ際其ノ血統證ヲ交付スルコトヲ得前項ノ規定ニ依リ血統證ヲ交付スルコトヲ得ル種雞ノ範圍ハ農林大臣之ヲ定メ告示ス

第二條 種雞及種卵ノ拂下ヲ受ケルコトヲ得ル者ハ道府縣、農會、産業組合、産業組合聯合會又ハ種鶏場長ノ適當ト認ムル法人若ハ組合ニ限ル

第三條 種雞又ハ種卵ノ拂下ヲ受ケムトスル者ハ前年十二月三十一日迄ニ種類、等級及數量並ニ血統證ノ交付ヲ受ケントスル種雞ニ付テハ其ノ旨ヲ記載シタル拂下願書ヲ種鶏場長ニ差出スベシ

八九 産卵能力檢定規則抄

昭和三年七月十三日農林省令第九號
改正昭和十四年十一月農林省令第六十號

第一條 道府縣、農會、産業組合、産業組合聯合會又ハ地方長官ノ適當ト認ムル者ハ本則ニ依リ其ノ所有シ又ハ管

理スル鶏ノ産卵能力ノ檢定ヲ種畜場長ニ依頼スルコトヲ得
第二條 檢定ヲ爲スベキ鶏ノ種類及羽數ハ農林大臣之ヲ告示ス

九〇 産業組合登記簿等ノ謄本抄本其他

他交付請求手数料ニ關スル件抄

大正十四年八月二十八日司法省令第二十號
改正(中略)
昭和十五年三月司法省令第九號

左ニ掲ケル登記簿ニ關スル謄本若ハ抄本ノ交付、登記事項ニ變更ナキコト若ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明又ハ登記濟證ノ交付ヲ請求スル者ノ納ムヘキ手数料ニ付テハ明治三十二年司法省令第十四號第一條及第三條乃至第六條ノ規定ヲ準用ス

- 産業組合登記簿
- 産業組合聯合會登記簿
- 産業組合中央會登記簿
- 産業組合中央金庫登記簿
- 産業組合監査聯合會登記簿
- 養蠶實行組合登記簿

農事減行組合登記簿

酪農業組合登記簿

生絲共同施設組合登記簿

蠶絲共同施設組合登記簿

負債整理組合登記簿

恩給金庫登記簿

庶民金庫登記簿

(參照)

明治三十二年司法省令第十四號

第一條 不動産登記法第二十一條又ハ非訟事件手續法第四百二十二條ノ規定ニ依リ登記簿ノ謄本又ハ抄本ノ交付ヲ請求スル者ハ其用紙一枚ニ付キ手数料金十五錢ヲ納ムヘシ但一枚ニ滿タサルモノト雖モ仍ホ之ヲ一枚ニ計算ス
共同擔保目錄ヲ提出シテ登記簿ノ謄本又ハ抄本ヲ請求スル者ハ其提出シタル用紙一枚ニ付キ手数料金十錢ヲ納ムヘシ豫備欄ニ登記シタル事項ヲ謄寫セサル用紙ニ付キ亦同シ

第三條 非訟事件手續法第四百三十三條ノ規定ニ依リ登記事項ニ變更ナキコト又ハ或事項ノ登記ナキコトノ證明ヲ請求スル者ハ每一件手数料金十五錢ヲ納ムヘシ

第四條 明治三十二年司法省令第十三號第二十七條ノ規定

其他

産業組合登記簿等ノ謄本抄本其他交付請求手数料ニ關スル件抄

二二七

ニ依リ商業登記ニ付キ登記濟證ノ交付ヲ請求スル者ハ手数料金十錢ヲ納ムヘシ

第五條 手数料ハ收入印紙ヲ申請書ニ貼附シテ之ヲ納ムヘシ

第六條 第一條乃至第三條ノ規定ハ官吏又ハ公吏カ政府ノ利益ノ爲メ其職務ヲ以テ請求ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セズ

【附錄】定款及規約例

(二) 定款例

一 保證責任 何々信用販賣購買

利用組合定款

(未定稿)

第一章 總則

第一條 本組合ハ左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス

- 一 組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト
- 二 組合員ニ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者、公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト
- 三 加入豫約者ノ貯金ヲ取扱フコト
- 四 組合員ノ委託ヲ受ケ其ノ生産シタル物ニ加工シ又ハ加工セシメテ之ヲ販賣スルコト
- 五 組合員ノ産業又ハ經濟ニ必要ナル物ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セシメテ又ハ之ヲ生産シテ組合員ニ賣却スルコト
- 六 組合員ヲシテ産業又ハ經濟ニ必要ナル設備ヲ利用セシムルコト

七 農業倉庫業法ニ依リ農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト

前項第六號ノ設備中電氣設備、水道、浴場、種蓄及乾満装置ハ組合員ノ利用ニ支障ナキ場合ニ限り組合員タルコトヲ得サル者ニモ之ヲ利用セシムルコトヲ得

第二條 本組合ハ保證責任 何々信用販賣購買利用組合ト稱ス

第三條 本組合ノ組織ハ保證責任トス

保證金額ハ出資ノ一口ニ付金何圓トス

第四條 本組合ノ區域ハ何縣何郡何村トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何郡何村何番地ニ置ク

第六條 組合員ハ本組合ノ區域内ニ居住シ且獨立ノ生計ヲ營ム者又ハ區域内ニ在ル農事實行組合若ハ養蠶實行組合ニ限ル加入豫約者ノ資格亦同シ

第七條 組合員又ハ加入豫約者ハ本組合ト同一ノ事業ヲ行フ他ノ産業組合ニ加入シ又ハ加入ノ豫約ヲ爲スコトヲ得ス

第八條 組合原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ届出及組合原簿ノ提出ハ每事業年度末ニ取纏メテ其ノ後二週間内ニ之ヲ爲ス

第九條 組合員住居ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ本組合ニ届出ツルコトヲ要ス農事實行組合又ハ養蠶實行

附錄

保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

組合ニシテ其ノ規約、組合員名簿又ハ役員氏名若ハ住所ニ變更ヲ生シタル場合亦同シ

第十條 産業組合法ニ依ル公告ハ本組合ノ揭示場ニ揭示シ且何新聞ニ掲載シテ之ヲ爲ス

第十一條 本組合員ノ財産ニ對スル組合員ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム

- 一 出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ算定ス
- 二 準備金ニ對シテハ拂込済出資累計額ニ應シ年度毎ニ之ヲ算定加算ス
- 三 其ノ他ノ財産ニ對シテハ本組合解散當時ノ組合員ニ限リ持分ヲ有シ其ノ割合ハ平等トス

本組合ニ損失アリ準備金ヲ以テ填補シタルトキハ之ニ對スル持分ニ按分シテ控除シ持分ヲ算定ス

本組合財産カ出資總額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス

第一項第二號ノ持分計算ニ付テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第二章 出資及積立金

第十二條 出資ノ一口ノ金額ハ金何圓トス

第十三條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金何圓トス

組合員ハ前項ノ金額ヲ超エテ任意ニ拂込ヲ爲スコトヲ得

第十四條 第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎年何月末及何月末迄ニ金何圓宛拂込ムモノトス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ拂込ニ之ヲ準用ス

第十五條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ其ノ期日後一日ニ付拂込ムヘキ金額ノ二千分の一ニ當ル過怠金ヲ徴收スルモノトス

第十六條 本組合ハ出資總額ノ何倍ニ達スル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十七條 過怠金及拂戻ヲ爲ササル持分額ハ之ヲ準備金ニ繰入ルルモノトス

第十八條 本組合ハ剩餘金ヨリ特別積立金ヲ積立ツルコトヲ得

本組合ハ建物減價償却積立金、設備減價償却積立金及職員退職給與積立金ヲ積立ツルモノトス

建物其ノ他ノ設備ノ設置又ハ買入ノ費用ニ對シ補助金ヲ受ケタルトキハ之ヲ建物減價償却積立金、設備減價償却積立金ニ組入ルルモノトス

第十九條 特別積立金ハ損失ノ補填ニ充ツルモノトス但シ總會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

建物減價償却積立金、設備減價償却積立金ハ建物及設備ノ減價償却ニ充ツルモノトス

職員退職給與積立金ハ總會ノ承認ヲ經テ定メタル支給規定ニ依リ職員ノ退職給與金ニ充ツルモノトス

建物減價償却積立金、設備減價償却積立金及職員退職給與積立金ハ總會ノ決議ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章 機關

第二十條 本組合ニ理事何名監事何名ヲ置ク

理事ハ組合長一名専務理事一名ヲ互選ス

第二十一條 組合長ハ事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス組合長事務故アルトキハ専務理事ニ依リ其ノ一名ニ代ル

故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ一名ニ代ル

第二十二條 監事ハ常ニ財産又ハ業務執行ノ狀況ヲ監査シ必要アリト認ムルトキハ理事ニ對シ意見ヲ開陳スルモノトス

監査ニ關スル細則ハ監事之ヲ定ム

第二十三條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年トス但シ任期滿了後ト雖後任者ノ就任スル迄其ノ任期ヲ伸長スルモノトス

前項但書ノ場合ニ於ケル後任者ノ任期ハ前項本文ノ期間ヨリ伸長期間ヲ控除シタル期間トス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ現任者ノ殘任期ニ依リ但シ理事又ハ監事ノ全員缺ケタル場合ニ於ケル就任者ノ任期ハ第一項本文ノ期間トス

第二十四條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ關員ヲ生シタルトキハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總會ヲ召集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ其ノ總會ニ於テ補闕選舉ヲ爲スモノトス

第二十五條 理事及監事ハ名譽職トス但シ組合長及専務理事ハ之ヲ有給トス

理事及監事ニハ總會ノ決議ニ依リ報酬、手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得

第二十六條 通常總會ハ毎年何回何月(及何月)之ヲ開ク臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ隙アルコトヲ發見シタル場合ニ於テ之ヲ總會ニ報告スル爲必

要ト認メタルトキ

三 理事全員ノ缺ケタルトキ

附 錄 保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

四

四 組合員カ總組合員ノ五分ノ一以上ノ同意ヲ得テ總會ノ目的及其ノ招集ノ理由ヲ記載シタル書面ヲ理事ニ提出シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ

第二十七條 總會ノ招集ハ會日ヨリ少クトモ五日前ニ書面ヲ以テ各組合員ニ對シテ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス前項ノ通知書ニハ其ノ會議ノ目的タル事項ヲ記載シ招集者之ニ記名スル事ヲ要ス

第二十八條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ限り決議ヲ爲スモノトス但シ急速ヲ要スル輕微ノ事項ニ付テハ此ノ限りニ在ラス

第二十九條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレハ會議ヲ開クコトヲ得ス

總會ノ決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス但シ理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、定款ノ變更、組合員ノ除名、聯合會ヘノ加入又ハ脱退、解散一及組織變更ノ件ハサル合併」ノ決議ハ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス(無限責任組合ニアリテハ「」内ヲ削除スルコト)

第三十條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依ル
監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

依ル

第三十六條 本組合ニ部落委員何名ヲ置キ組合員中ヨリ組合長之ヲ囑託ス

部落委員ハ理事ノ指揮ヲ承ケ事業執行上ノ補佐ヲ爲スモノトス

第三十七條 第二十五條第二項ノ規定ハ信用評定委員及部落委員ニ之ヲ準用ス

第三十八條 組合長ハ總會ノ承認ヲ經テ特別ノ技能アル者ヲ協議員ト爲スコトヲ得

協議員ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ組合ノ事業ニ付理事ニ意見ヲ開陳スルモノトス

第三十九條 本組合ニ事務員何名及技術員何名ヲ置キ組合長之ヲ任免ス

第四章 事業執行

第一節 通 則

第四十條 本組合ノ事業年度ハ毎年何月何日ニ始リ(翌年)何月何日ニ終ル

第四十一條 本組合ノ餘裕金ハ産業組合中央金庫、信用組合聯合會、郵便局ニ預入レ又ハ毎年總會ノ承認ヲ經テ銀行ニ預入レ若ハ國債證券、地方債證券、産業債券、復興貯蓄債券、勸業債券、興業債券、北海道拓殖債券、農工

附 錄 保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

五

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニヨリ議長ヲ定ムルコトヲ得

第三十一條 組合員ハ何人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十二條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り開會ノ時期、場所、組合員ノ總數及其ノ出席者數並會議ノ顛末ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十三條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十四條 本組合ニ信用評定委員何名ヲ置キ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス
信用評定委員ハ何月及何月ニ定會ヲ開キ各組合員ノ信用ヲ評定シ信用程度表ヲ作成ス
信用程度表ハ理事之ヲ保管ス

第三十五條 信用評定委員ノ任期ハ一箇年トス但シ任期満了後ト雖後任者ノ就任スル迄其ノ任期ヲ伸長スルモノトス
信用評定委員ハ總會ノ決議ニ依リ何時ニテモ解任スルコトヲ得
信用評定委員ノ選任及解任ニ關シテハ理事及監事ノ例ニ

債券ヲ買入ルルノ外他ニ之ヲ運用スルコトヲ得ス但シ銀行ニ對スル預入金額及所有シ得ヘキ有價證券ノ額ノ合計額ハ國債證券、地方債證券及産業債券ノ合計額ヲ除キ産業組合中央金庫及信用組合聯合會ニ對スル預入金總額ノ二分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十二條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第四十三條 貸付ハ資金ノ用途及信用程度ヲ考査シ其ノ金額及方法ヲ定メ之ヲ爲スモノトス

第四十四條 理事貸付ヲ爲ス場合ニ於テ必要ト認ムルトキハ保證人ヲ立テシメ又ハ擔保ヲ供セシムルモノトス

第四十五條 貸付金ノ貸付期間ハ一箇年内ニ於テ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ三箇年内ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

土地、倉庫、機械、器具、工場、家屋、其ノ他ノ設備ニ要スル固定資金及舊債償還資金ニ限リ特別ノ事由アルトキハ十箇年内ノ割賦償還ノ方法ニ依リ貸付スルコトヲ得前二項ノ規定ハ政府融通ノ資金其ノ他之ニ準スル資金ノ貸付ニ付テハ之ヲ適用セス

第四十六條 貸付金ノ辨濟又ハ其ノ利息ノ支拂ヲ怠リタルトキハ貸付金利率ト同率ノ遅延利息ヲ徵收スルモノトス

附 錄 保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

第四十七條 理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的ニ反スルモノアリト認ムルトキハ期限前ト雖辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十八條 貯金ノ取扱ハ一回金何錢以上トス
加入豫約ノ貯金ハ一人ニ付出一口ノ金額及加入金額ノ合計額ヲ超ユルコトヲ得ス

第四十九條 貯金ノ利率ハ別ニ定メタルモノヲ除クノ外毎年何月末及何月末ノ兩度ニ之ヲ元本ニ組入ルルモノトス
第五十條 貸付金及貯金ノ利率ハ左ノ制限内ニ於テ理事之ヲ定ム

- 一 貸付金年何分以下
- 二 貯金年何分以下

第三節 販 賣

第五十一條 本組合ニ於テ販賣スル物左ノ如シ

- 一 米、麥、大豆、鶏卵、木炭、魚類、何々
- 二 繭、蠶工品、麥稈眞田、何々
- 三 其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物

第五十二條 本組合ニ於テ爲ス加工左ノ如シ
精穀、製粉、乾繭殺蛹、繻ノ仕上、何々

第五十三條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ本組合ニ於テ取扱フ物ヲ本組合ヲ通セスシテ販賣スルコトヲ得

第五十四條 組合員前條ノ規定ニ違反シタルトキハ過怠金ヲ徵收スルコトヲ得
過怠金ノ額及徵收ニ關スル規程ハ總會ニ於テ別ニ之ヲ定ム

第五十五條 理事ハ各組合員ノ生産物ニ付報告ヲ徵シ又ハ必要ナル調査ヲ爲スコトヲ得

第五十六條 本組合カ組合員ヨリ其ノ販賣セントスル物ヲ受取リタルトキハ其ノ品等及數量ヲ査定シ理事之ヲ組合員ニ通知スルモノトス組合ニ於テ加工ヲ爲シタル場合加工後ノ物ニ付亦同シ
品等査定ノ方法及標準ニ關スル規程ハ總會ニ於テ別ニ之ヲ定ム

第五十七條 組合員ハ其ノ販賣委託物ニ付代價又ハ販賣ノ時期ヲ指定スルコトヲ得ス

第五十八條 組合員ハ組合ニ販賣委託物ヲ引渡シタル後ハ何時ニテモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ時價ノ十分ノ八以内ニ於テ理事之ヲ定ム
前項ノ販賣假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩二錢五厘以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス

第五十九條 組合員ニ配分スヘキ販賣代金ノ計算期ハ毎年總會ニ於テ之ヲ定ム

每計算期内ニ販賣シタル物ノ代金ハ當該計算期毎ニ各品等ニ付之ヲ計算シ組合員カ委託シタル物ノ數量ニシテ之ヲ配分スルモノトス

第六十條 一計算期内ニ受取リタル物ニシテ當該計算期内ニ賣却スルコト能ハサリシ物ニ付テハ其ノ後ニ賣却シタル同品等物ノ代金中ヨリ先ツ其ノ代金ヲ配分スルモノトス

第六十一條 本組合カ受託物ノ販賣ヲ爲シタルトキハ販賣歩合金ヲ徵收スルモノトス

第六十二條 受託物中組合ニ於テ精穀、製粉、乾繭殺蛹、繻ノ仕上、其ノ他特殊ノ勞費ヲ加ヘタルモノニ付テハ別ニ手数料ヲ徵收スルモノトス

第六十三條 販賣歩合金及前條ノ手数料ハ總會ノ決議シタル範圍内ニ於テ理事之ヲ定ム

第六十四條 販賣假渡金並其ノ利息、販賣歩合金及第六十二條ニ依ル手数料ハ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス

第四節 購 買

第六十五條 本組合ニ於テ賣却スル物左ノ如シ
一 肥料、家畜、家禽、種苗、蠶種、種卵、漁網、産業用機械、何々

- 二 米、麥、雜穀、味噌、醬油、罐詰、砂糖、酒類、乾物類、茶、織物類、莫大小類、糸類、雨具類、履物類

附 錄 保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

紙類、金物類、文房具類、小間物類、荒物類、薪炭、石炭、家具及其ノ材料、何々

三 鹽、石油、石灰、何々

四 其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物

第六十六條 本組合ニ於テ爲ス加工又ハ生産左ノ如シ

- 一 精穀、肥料ノ配合、蠶種ノ催青、稚蠶ノ飼育、製網、味噌又ハ醬油ノ釀造、家具ノ製作、何々
- 二 家畜、家禽、種卵、種苗又ハ何々ノ生産

第六十七條 理事ハ組合員ノ注文ニ應ジ賣却スヘキ物及其ノ材料ヲ買入レ又ハ生産スルモノトス但シ取扱物件ノ種類ニ依リ便宜買入レ又ハ生産スルコトヲ得

第六十八條 組合員ハ理事ノ承諾ヲ經ルニ非サレハ本組合ニ於テ取扱フ物ヲ本組合外ヨリ購買スルコトヲ得ス

第六十九條 組合員前條ノ規定ニ違反シタルトキハ總會ノ決議ニ依リ過怠金ヲ徵收スルコトヲ得第五十四條第二項ノ規定ハ前項ノ過怠金ニ之ヲ準用ス

第七十條 購買ノ申込多數ノ場合ニ於ケル賣却ノ順位又ハ數量ハ申込人ノ購買必要ノ程度等ヲ參酌シテ理事之ヲ定ム

第七十一條 組合員ニ賣却スル物ノ代價ハ市價ヲ標準トシテ理事之ヲ定ム

第七十二條 理事ハ必要アリト認ムルトキハ組合員ヲシテ其ノ注文シタル物ノ見積代金ノ全部又ハ一部ヲ前納セシムルコトヲ得

第七十三條 組合員ハ組合ヨリ購買物件引渡ノ通知ヲ受ケタルトキハ一週間内ニ之ヲ引取ルコトヲ要ス

前項ノ期間内ニ引取リヲ爲ササルトキハ過怠金ヲ徴收スルモノトス

第五十四條第二項ノ規定ハ前項ノ過怠金ニ之ヲ準用ス

第七十四條 組合員ハ購買物件ト引換ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス

理事ノ承諾アリタルトキハ産業用機械其ノ他特殊ノ購買物件ニシテ多額ノ代金ヲ支拂フコトヲ要スルモノニ在リテハ十箇年内ノ割賦支拂ヲ、其ノ他ノ物件ニ在リテハ六箇月内ノ延納ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ第四十四條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於テハ日歩何錢何厘以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ徴收スルモノトス

第四十六條ノ規定ハ第二項ノ場合ニ於ケル代金ノ支拂又ハ前項ノ利息ノ支拂ヲ怠リタル場合ニ之ヲ準用ス

第五節 利 用

第七十五條 本組合ニ於テ設備スルモノ左ノ如シ
一 脱穀機、粉碎機、發動機、揚水機、倉庫、農業用地、

種畜、乾草裝置、何々

二 水道、浴場、集會場及其ノ附屬設備、理髮設備、冠婚葬祭用具、接待用具、醫療設備、助産婦、何々

三 電氣設備、精穀機、製粉機、何々

第七十六條 組合員ハ設備ノ利用ニ對シ利用料ヲ支拂フコトヲ要ス

利用料ハ總會ニ於テ決議シタル範圍内ニ於テ理事之ヲ定ム

利用設備ヲ損傷シ又ハ之ヲ喪失シタルトキハ理事ノ定ムル辨償金ヲ支拂フコトヲ要ス

第七十七條 前條ノ利用料ハ理事ニ於テ別ニ定ムルモノヲ除クノ外利用終了迄ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

辨償金ハ理事カ辨償ノ請求ヲナシタル日ヨリ二週間内ニ之ヲ支拂フコトヲ要ス

第七十四條第四項ノ規定ハ利用料及辨償金ノ支拂ヲ怠リタル場合ニ之ヲ準用ス

第七十八條 第四十四條及第七十條ノ規定ハ設備利用ノ場合ニ之ヲ準用ス

第七十九條 理事ハ設備利用ノ實況ヲ調査シ利用ノ條件ニ反スルモノアリト認ムルトキハ其ノ利用ヲ停止又ハ廢止セシムルコトヲ得

第二十條 第一條第二項ノ規定ニヨル設備ヲ利用セシムル者ハ左ノ各號一ニ該當スル者ニ限ル

一 本組合ノ區域内ニ居住スルモノニシテ出資能力ナキ爲又ハ法人其ノ他法令ニヨリ組合員タルコトヲ得サル者

二 本組合ノ區域内ニ於テ家屋物件ヲ所有シ使用シ又ハ占有シ之カ爲設備ヲ利用スル必要アル者

三 電氣設備ヲ除ク其ノ他ノ設備ニ在リテハ本組合ノ區域内ニ居住セサル者ト雖其ノ産業又ハ經濟ニ之ヲ利用スルコトヲ必要トスル者

第八十一條 第四十四條、第七十條、第七十六條、第七十七條及第七十九條ノ規定ハ第一條第二項ノ規定ニヨル設備ヲ利用セシムル場合ニ之ヲ準用ス但シ此ノ場合ニ於ケル利用料ハ實費ノ範圍内ニ於テ理事之ヲ定ム

第六節 農 業 倉 庫

第八十二條 第一條第一項第七號ノ業務ハ農業倉庫業務規程ノ定ムル所ニヨリ之ヲ行フ農業倉庫業務規程ハ總會ニ於テ別ニ之ヲ定ム

第五章 剩餘金處分並損失ノ填補及分擔

第八十三條 剩餘金ヨリ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シ尙殘餘アルトキハ特別積立金、事業ノ分量ニ對スル配當

金、拂込ミタル出資額ニ對スル配當金、役員賞與金又ハ繰越金ト爲スモノトス

第八十四條 事業分量ニ對スル配當ハ年度内ニ於テ組合員カ組合ニ對シ支拂ヒタル貸付金利息、販賣歩合金、利用料若ハ保管料、購買價格又ハ組合ヨリ受取リタル貯金利息ヲ參照シテ之ヲ組合員ニ配當スルモノトス但シ其ノ配當ノ率ハ販賣シタル物若ハ購買シタル物又ハ貸付金、利用設備、保管物若ハ貯金ノ種類ヲ參酌シテ之ヲ異ニスルコトヲ得

拂込ミタル出資額ニ對スル配當ハ事業年度ノ終ニ於ケル組合員ノ拂込出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス

前二項ノ配當金ノ計算ニ付テハ圓位未滿ノ基礎金額ハ之ヲ切捨ツルモノトス

第八十五條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第八十六條 本組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於ケル各組合員間ノ損失分擔ノ割合ハ「保證金額」ニ應スルモノトス脱退シタル組合員ノ損失分擔ノ割合亦同シ(本規定ハ無限責任組合ニ在リテハ「」内ヲ「出資額」トスルコト)

第六章 加入、増口及脱退

附錄 保證責任無限責任何々信用販賣購買利用組合定款

第八十七條 新ニ組合員タラントスル者又ハ出資口數ヲ増加セントスル者ハ申込書ヲ理事ニ差出スコトヲ要ス但シ

農事實行組合又ハ養蠶實行組合カ組合員タラントスル場合ニ在リテハ申込書ノ外其ノ規約、組合員名簿並ニ役員氏名住所ヲ提出スルコトヲ要ス

「理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込人ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載スルモノトス」一内ハ無限責任組合ニ在リテハ「理事前項ノ申込ヲ受ケタルトキハ書面ヲ以テ總組合員ニ對シ加入ニ異議アラハ何週間内ニ之ヲ述フヘキ旨催告スルコトヲ要ス

組合員前項ノ期間内ニ異議ヲ述ヘサルトキハ理事ハ申込人ニ對シ加入承諾ノ通知ヲ爲シ第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載スルモノトス」ト規定スルコト加入又ハ増口ノ效力ハ出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス但シ第八十八條第一項、第九十條及第九十二條ノ場合ハ加入承諾ノ通知ヲ發シタルトキトス

第八十八條 加入豫約ノ申込アリタルトキハ理事ハ其ノ許否ヲ決シ申込人ニ其ノ旨ヲ通知スルモノトス前條ノ規定ハ加入豫約者ヲ組合ニ加入セシムル場合ニ之ヲ準用ス但シ此ノ場合ニ於テハ加入豫約者ノ貯金ハ其ノ

全部ヲ出資ノ拂込ニ充ツルコトヲ要ス

第八十九條 加入豫約者カ第九十三條第六號又ハ第七號ニ該當スルトキハ理事ハ加入豫約ノ解除ヲ爲スコトヲ得

第九十條 組合員其ノ持分ヲ讓渡セントスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケントスル者カ組合員ニ非サルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第八十七條ノ規定ヲ準用ス

第九十一條 組合員脫退セントスルトキハ其ノ事業年度末六箇月(三箇月)前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第九十二條 死亡ニ因リ脫退シタル組合員ノ相續人カ直ニ加入シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サス被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノトス

第九十三條 組合員カ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リテ之ヲ除名ス

Table with 2 columns: Position (理事, 監事) and Name (何, 何, 何, 何, 某, 某, 某, 某)

二 保證責任何々信用組合定款 (市街地信用組合)

大正六年十二月二十九日官報第一六四號登載

第一章 總則

第一條 本組合ハ左ノ事業ヲ營ムヲ以テ目的トス

一 組合員ニ産業ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及貯金ノ便宜ヲ得セシムルコト

二 組合員ニ對シ其ノ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ヲ貸付シ及組合員ト同一ノ家ニ在ル者、公共團體又ハ營利ヲ目的トセサル法人若ハ團體ノ貯金ヲ取扱フコト

三 組合員ニ對シ其ノ産業若ハ經濟ノ發達ニ必要ナル資金ノ爲手形ノ割引ヲ爲シ又ハ組合ノ區域内ニ居住スル組合員外ノ者ノ貯金ヲ取扱フコト

第二條 本組合ハ保證責任何々信用組合ト稱ス

第三條 本組合ノ組織ハ保證責任トス

第七章 解散

第九十五條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル但シ總會ノ決議ニ依リ組合員中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章 附則

第九十六條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ改選ス

Table with 2 columns: Position (理事, 監事) and Name (何, 何, 何, 何, 某, 某, 某, 某)

附錄 保證責任何々信用組合定款

附錄 保證責任何々信用組合定款

保證金額ハ出資一口ニ付金三十圓トス

第四條 本組合ノ區域ハ何縣何市トス

第五條 本組合ノ事務所ハ之ヲ何縣何市何町何番地ニ置ク

第六條 組合員タル者ハ本組合ノ區域内ニ住所ヲ有シ獨立

シ生計ヲ營ム者ニ限ル

第七條 本組合ノ存立時期ハ二十箇年トス

第八條 組合財産ニ對スル組合員ノ權利ハ其ノ拂込済出資

額ニ應スルモノトス

第二章 出資及積立金

第九條 出資一口ノ金額ハ金二十圓トス

第十條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金五圓トス

第十一條 第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂

込ニ充ツルモノノ外出資一口毎ニ毎月末金五十錢宛ノ拂

込ヲ爲スモノトス

第十二條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付其

ノ拂込ムヘキ金額ノ百分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス

第十三條 産業組合法第十六條ノ五第一項第一號第二號ノ

事項並組合員ノ氏名及住所ニ付爲スヘキ組合原簿ノ變更

ノ届出ハ毎年十二月三十一日ニ取纏メテ其ノ後二週内

ニ之ヲ爲スモノトス

第十四條 準備金ノ額ハ出資總額ト同額トシ其ノ額ニ達ス

ル迄毎事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ積立ツルモノトス

第十五條 加入金、増口金、過怠金及第五十六條ニ依リ拂戻

ヲ爲シタル持分ノ殘額ハ之ヲ準備金ニ繰入ルルモノトス

第十六條 剩餘金カ準備金ニ積立ツヘキ金額及組合員ニ配

當スヘキ金額ヲ控除シテ尙殘餘アルトキハ特別積立金、

役員ノ賞與金及翌年度ヘノ繰越金ト爲スコトヲ得

第十七條 特別積立金ハ損失填補ニ充ツルノ外總會ノ決議

ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

第十八條 準備金及特別積立金ハ信用組合聯合會若ハ總會

ノ承認ヲ經タル銀行ニ預入レ又ハ之ヲ以テ國債證券、地

方債證券、貯蓄債券、勸業債券、日本興業銀行ノ債券、北海

道拓殖銀行ノ債券、農工債券若ハ總會ノ承認ヲ經タル社

債券ヲ買入ルルノ他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ特別

積立金ハ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第十九條 産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依リ拂戻準

備金ハ供託、郵便貯金法ニ依リ貯金若ハ證券保管又ハ信

用組合聯合會ヘノ貯金トシテ之ヲ管理スルモノトス

第三章 組合ノ機關

第二十條 本組合ニ理事五名監事三名ヲ置ク

理事ハ組合長一名ヲ互選ス

請求アリタルトキ

第二十四條 總會ノ招集ハ少クとも五日日前ニ書面ヲ以テ組

合員ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十五條 總會ハ總組合員ノ半數以上出席スルニ非サレ

ハ開會スルコトヲ得ス若シ半數ニ充タサルトキハ十日以

内ニ更ニ招集シ出席シタル組合員ヲ以テ開會ス

前項ノ場合ニ於ケル決議ハ出席シタル組合員ノ過半數ヲ

以テ之ヲ爲ス

定款ノ變更、理事、監事ノ選任及解任、除名、解散及合

併ノ決議ハ總組合員半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ

同意アルコトヲ要ス但シ合併ニ因リテ組織變更ト同一ノ

結果ヲ生スヘキ場合ハ總組合員ノ同意アルコトヲ要ス

第二十六條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル組合長事故アル

トキハ理事ノ一人之ニ代ル

第二十三條第三項第二號ノ場合ニ於ケル總會ノ議長ハ總

會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ

其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席組合員中ヨリ議長

ヲ互選スルコトヲ得

第二十七條 組合員ハ五人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコ

組合長ハ組合事務ヲ總理シ組合ヲ代表ス

組合長事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ其ノ代理者一名

ヲ定ム

第二十一條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ一箇年

トス但シ再選ヲ妨ケス

補選選舉ニ依リ就職シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期

ヲ繼承ス

理事又ハ監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就職スル迄仍

其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十二條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ關員

ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ俟ツコト能ハサル場合ニ於

テ臨時總會ニ於テ補選選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ同時ニ其

ノ補選選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十三條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス

通常總會ハ毎年一回一月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 産業組合法第三十四條ニ依リ監事カ必要ト認メタルトキ

三 産業組合法第二十三條ニ依リ組合員ヨリ總會招集ノ

附錄 保證責任何々信用組合定款

附 録 保 證 責 任 何 々 信 用 組 合 定 款

トヲ得ス

第二十八條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ署名スルコトヲ要ス

第二十九條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十條 本組合ニ信用評定委員七名ヲ置キ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

信用評定委員ノ任期ハ一箇年トス但シ再選ヲ妨ケス

第三十一條 信用評定委員ハ何時ニテモ解任スルコトヲ得

信用評定委員ノ選任及解任ニ關シテハ理事及監事ノ例ニ依ル

第三十二條 信用評定委員ハ毎年一回一月定會ヲ開キ組合員ノ信用ヲ評定シ信用程度表ヲ作成ス

第三十三條 理事、監事及信用評定委員ハ名譽職トス

理事、監事及信用評定委員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ス

理事、監事及信用評定委員ニハ總會ノ決議ニ依リ報酬又ハ手當ヲ支給スルコトヲ得

第三十四條 本組合ニ書記若干名ヲ置キ理事之ヲ任免ス

書記ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ庶務ニ從事ス

第四章 事業ノ執行

第三十五條 本組合ノ事業年度ハ毎年一月一日ニ始マリ十二月三十一日ニ終ル

第三十六條 組合員ヨリ貸付ノ請求アリタルキハ理事ハ信用程度表及貸付金ノ用途ヲ考査シ其ノ金額及貸付ノ方法ヲ定ムルモノトス

第三十七條 理事貸付ヲ爲ス場合ニ於テハ組合員ヲシテ保證人ヲ立テシメ擔保ヲ供セシムルコトヲ要ス

第三十八條 貸付金ノ辨濟期限ハ六箇月以内ニ於テ之ヲ定ム但シ特別ノ事由アルトキハ二箇年以内ニ於テ之ヲ定ムルコトヲ得

第三十九條 貸付金ノ辨濟ニ付テノ遲延利息ハ貸付金ノ利率ニ依ル

第四十條 理事ハ貸付金使用ノ實況ヲ監査シ貸付ノ目的ニ反スルモノト認ムルトキハ期限前ト雖辨濟ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十一條 手形ノ割引ニ付テハ第三十六條乃至第三十九條ノ規定ヲ準用ス但シ割引期間ハ三箇月以内ニ於テ之ヲ定ム

第四十二條 貯金ノ取扱ハ一回金十錢以上トス

貯金ノ利息ハ毎年五月末及十一月末ノ兩度ニ於テ之ヲ元本ニ組入ルモノトス

第四十三條 貸付金ノ利率、手形割引ノ歩合及貯金ノ利率ハ左ノ制限内ニ於テ理事之ヲ定ム

一 貸付金ニ付テハ年一割二分以下

二 手形割引ニ付テハ日歩三錢以下

三 貯金ニ付テハ年七分以下

第四十四條 組合ノ餘裕金ハ信用組合聯合會、郵便局又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ノ外他ニ之ヲ預ケ入ルルコトヲ得ス

第四十五條 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第五節 剩餘金處分並損失ノ填補及分擔

第四十六條 剩餘金ハ準備金ニ積立ツヘキ金額ヲ控除シタル後ニ非サレハ之ヲ處分スルコトヲ得ス

剩餘金ノ配當ハ拂込済出資額ニ應シ其ノ率ハ年一割以下トス

第四十七條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第四十八條 第一條第三號ノ貯金ニ關スル債務ニ付テハ各理事連帶シテ其ノ責ニ任ス

前項ノ場合ニ於ケル分擔ノ割合ハ各理事ノ出資金額ニ應ズルモノトス退任シタル理事ノ分擔ノ割合亦同シ

附 録 保 證 責 任 何 々 信 用 組 合 定 款

第四十九條 組合財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ組合員間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ出資金額ニ應ズルモノトス脱退シタル組合員ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入及脱退

第五十條 組合ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金ヲ添ヘ理事ニ差出スコトヲ要ス

理事前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨加入者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後組合員名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入金ノ額ハ第一年度ハ出資一口ニ付金二十錢トシ爾後ハ毎年通常總會ニ於テ之ヲ定ム

第五十一條 組合員カ出資ノ増口ヲ爲サムトスルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス此ノ場合ニ於テ徵スヘキ増口金ハ前條ノ加入金ト同額トス

第五十二條 持分ヲ讓渡セムトスル場合ニ於テハ理事ノ承諾ヲ經ルコトヲ要ス持分ヲ讓受ケムトスル者カ組合員ニ非サルトキハ出資拂込ヲ爲サシメサルノ外第五十條ノ規定ヲ準用ス

前項ノ場合ニ於ケル加入金ハ金二十錢トス

第五十三條 組合員カ脱退セムトスルトキハ其ノ事業年度末六箇月前ニ其ノ旨ヲ理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第五十四條 死亡ニ因リ脱退シタル組合員ノ相續人カ遲滞ナク加入ノ手續ヲ爲シタルトキハ組合ハ被相續人ニ對スル持分ノ拂戻計算ヲ爲サシテ之ヲ被相續人ト同一ノ權利ヲ有シ義務ヲ負フモノト看做ス但シ此ノ場合ニ於テハ加入金ヲ徵セズ

第五十五條 組合員カ左ノ事由ノ一ニ該當スルトキハ總會ノ決議ニ依リ除名ス

一 出資ノ拂込、過怠金ノ納付、貸付金ノ辨濟、利息ノ支拂又ハ手形債務ノ履行ヲ怠リ一箇月以内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ

二 組合ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ

三 犯罪其ノ他ノ行爲ニ依リ信用ヲ失ヒタルトキ

第五十六條 組合員脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込済出資額ニ止ムルモノトス但シ死亡、禁治産、區域外ニ轉住、其ノ他總會ニ於テ已ムヲ得サルモノト認メタル事由ニ因リ脱退シタル組合員ニハ持分ノ全部ヲ拂戻スモノトス

第七章 解散

第五十七條 本組合解散シタルトキハ理事其ノ清算人ト爲ル

第八章 附 則

第五十八條 本組合設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事	何	某
理事	何	某
理事	何	某
理事	何	某
理事	何	某
理事	何	某
監事	何	某
監事	何	某

三 保證責任何々信用購買販賣利用組合農業倉庫業務規程

第一條 本組合ノ農業倉庫ニ於テハ左ノ事業ヲ行フモノトス

- 一 受寄物ノ保管
- 二 受寄物ノ調製、改装及荷造
- 三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立
- 四 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次
- 五 貸付

前項第一號乃至第四號ノ事業ハ組合員ニ非サル者ノ爲ニモ之ヲ行フ

第二條 本組合ニ於テ寄託ヲ受クル物品ハ當初ノ寄託者カ自ラ生産シタル穀物若ハ藪又ハ小作料トシテ受ケタル穀物ニシテ其ノ所有ニ係ルモノニ限ル

穀物ノ品目左ノ如シ

米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆

第三條 本組合ハ前條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキ場合ニ限り前條第一項ノ規定ニ拘ラス前條ニ掲クル物品ノ外左ノ物品ノ寄託ヲ受ク

菜種、紫雲英、藪工品

第四條 寄託ノ申込競合シタルトキハ左ノ順位ニ依リ其ノ引受ヲ爲ス

- 一 組合員タル生産者ノ寄託
 - 二 組合員ニシテ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ寄託
 - 三 組合員ニ非サル生産者ノ寄託
 - 四 組合員ニ非サル者ニシテ土地ニ付權利ヲ有スル者ノ寄託
 - 五 其ノ他
- 前項ノ規定ニ依リ同一順位ニ在ルモノニ付テハ其ノ順位ハ左ノ品目順ニ依ル

米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆、藪、菜種、紫雲英、藪工品

第五條 第二條ノ規定ニ依ル物品ノ保管上必要アルトキハ何時ニテモ相當ノ期間ヲ定メ第三條ノ規定ニ依リ保管スル物品ノ出庫ヲ其ノ寄託者ニ請求スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル請求ノ順位ハ前條ノ規定ニ依リ後順位ニ在ルモノヲ以テ先トス

第六條 受寄物中腐敗、變質等ニ依リ他ノ受寄物ニ損害ヲ及ボス虞アリト認ムル物ニ付テハ何時ニテモ其ノ出庫ヲ寄託者又ハ證券所持人ニ請求スルコトアルヘシ

第七條 種類及品位ノ同一ナル穀物ハ所屬倉庫ノ全部ニ付混合保管ヲ爲スモノトス但シ寄託者ノ請求アリタルトキ又ハ特別ノ事情アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第八條 受寄物ニ對シテハ必要ニ應ジニ硫化炭素ノ燻蒸ヲ行フ

第九條 保管料ハ一月ニ付左ノ如ク定メ出庫ノ際受取人ヨリ此ヲ徵收ス但シ一月ニ滿タサル日數ニ付テモ一月分ヲ徵收ス

- 一 米、粳 (混合保管ノ場合) 一袋、一叭又ハ一袋ニ付 (金 二 錢)
- 一 特定保管ノ場合 一袋、一叭又ハ一袋ニ付 (金 一 錢)

- 一 麥 (混合保管ノ場合) 特定保管ノ場合 一俵、一叭又ハ一袋ニ付 金二錢
 - 一 大豆 (混合保管ノ場合) 特定保管ノ場合 一俵、一叭又ハ一袋ニ付 金二錢
 - 一 蕎麥 一石ニ付 金十錢
 - 一 菜種、紫雲英 一俵、一叭ニ付 金二錢
 - 一 藁工品 十貫ニ付 金二錢五厘
- 第十條 保管期間ハ特別ノ契約アル場合ヲ除クノ外六月トス但シ第二條ノ寄託物ニ付テハ所有權ノ移轉ナキトキ、第三條ノ寄託物ニ付テハ第二條ノ規定ニ依ル保管ニ支障ナキトキニ限り保管期間更新ノ求ニ應スルコトアルヘシ
- 第十一條 受寄物ハ倉庫ノ都合ニ依リ之ヲ左ノ倉庫ニ寄託スルコトアルヘシ
- 一 何郡何村 何々農會農業倉庫
 - 二 何郡何村 株式會社何々倉庫
- 第十二條 寄託ノ申込ヲ爲サムトスル者ハ附錄第一號様式ニ準シ申込書ヲ差出スヘシ
- 縣又ハ同業組合ニ於テ検査ヲ施行シタル物品ニ付テハ其

- ノ等級ヲ申込書ノ相當欄ニ記入スヘシ
- 第十三條 受寄物ヲ入庫シタルトキハ附錄第二號様式ノ入庫票ヲ寄託者ニ交付ス
- 第十四條 寄託物ヲ出庫セムトスル者ハ入庫票又ハ第十八條ノ規定ニ依リ發行シタル農業倉庫證券ヲ呈示シテ之ヲ請求スヘシ
- 第十五條 混合保管ヲ爲シタル物ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ物ニ付權利ヲ有スル者ノ協議ニ依ラス前條ノ請求ヲ爲スコトヲ得
- 前項ノ規定ニ依リ出庫ノ請求アリタルトキハ積込ノ順序ヲ問ハス寄託ノ數量ニ應シ之ヲ引渡スモノトス
- 第十六條 寄託物ノ出シ入レ及積ミ卸シニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ倉庫係員ノ指圖ヲ受クヘシ
- 第十七條 保管期間滿了後二週間又ハ第五條若ハ第六條ノ請求ヲ爲シタル後一週間ヲ經過スルモ仍寄託物ヲ受取ラサルトキハ商法第三百八十一條ノ規定ニ依リ之ヲ競賣ニ付スルコトアルヘシ
- 第十八條 本組合ノ發行スル農業倉庫證券ハ附錄第三號様式ノ倉荷證券ノ一種トス
- 證券ハ米又ハ麥ニ限り寄託者ノ請求アリタルトキハ入庫票ト引換ニ之ヲ發行ス但シ第三條ノ規定ニ依ル受寄物ニ

對シテハ之ヲ發行セス

證券ノ發行ニ付テハ手数料トシテ一通ニ付金十錢ヲ徵收ス

第十九條 寄託者又ハ證券所持人第十條ノ規定ニ依リ保管期間ノ更新ヲ求ムルトキハ其ノ入庫票又ハ證券ヲ呈示スヘシ

本組合保管期間ノ更新ヲ承諾シタルトキハ其ノ入庫票又ハ證券ニ更新ノ年月日及期間ヲ記入ス

第二十條 入庫票又ハ證券ヲ滅失シタル所持人カ其ノ再交付ヲ請求スル場合ニ於テ提供スル擔保ハ本組合ノ指定スル物件又ハ二人以上ノ保證人ナルコトヲ要ス

再交付ノ手数料ノ入庫票ニ在リテハ金三錢、證券ニ在リテハ金十五錢トス

第二十一條 本組合ハ寄託ヲ受ケタル穀物及藁ニ付テハ寄託者ノ委任ヲ受ケサル場合ト雖寄託者ノ爲ニ包括火災保險ニ付スルコトアルヘシ

火災保險金額ハ受寄物ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

保險料ハ實費トシ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス

第二十二條 受寄物ノ火災保險ニ關スル事項ハ本組合ト保險者トノ特約ニ依ル

火災保險金ハ必ス本組合ヲ經由シテ其ノ支拂ヲ受クヘキモノトス

- 第二十三條 本組合ハ受寄物ニ付火災、蟲害、鼠害、雨漏、
- 水濡、竊盜、紛失及繩切等ニ依リ生スル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但シ重大ナル過失ニ基カサル火災又ハ不可抗力ニ依ル損害ニ付テハ此ノ限ニ在ラス
- 第二十四條 受寄物ニ付本組合ノ責ニ任セサル損害アリタルトキ又ハ責ニ任スルモノト雖重大ナル損害アリタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ公告ス
- 前項ノ公告ノ方法ハ其ノ損害ノ程度ニ依リ適宜之ヲ定ム
- 第二十五條 混合物ニ付損害アリタルトキハ其ノ寄託者又ハ證券所持人五名以上、寄託者又ハ證券所持人五名未滿ノ場合ハ全員ノ立會ヲ求メテ損害ヲ調査シ混合物ノ價額ニ應シテ混合物ニ之ヲ分賦ス
- 第二十六條 混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付テハ別ニ定ムル検査規定ニ依リ之ヲ検査シ其ノ品位ヲ査定ス
- 前項ノ検査ハ縣又ハ同業組合ニ於テ検査ヲ執行シタル物ニ付テハ之ヲ行ハス但シ必要ト認メタルトキハ縣又ハ同業組合ノ再検査ヲ受クヘキコトヲ求ムルモノトス
- 第二十七條 受寄物ノ調製、改裝若ハ荷造又ハ運送ノ仲立若ハ取次ヲ依頼セムトスル者ハ入庫票又ハ證券ヲ交付シタル後ハ之ヲ呈示スルコトヲ要ス
- 第二十八條 受寄物ニ付調製、改裝又ハ荷造ヲ爲シタルトキハ入庫票又ハ證券ニ其ノ手数料額ヲ記入シ受寄物出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス
- 手数料ノ額ハ別ニ之ヲ定ム

第二十九條

受寄物ニ付運送ノ仲立又ハ取次ノ依頼ヲ受ケタル場合ニ於テ船車ニ依ルノ必要アルトキハ一定數量ニ達スル迄之ヲ取纏ムルモノトス

運送ノ仲立及取次ノ手数料ハ受寄物ヲ運送人ニ引渡スト共ニ依頼者ヨリ之ヲ徴收ス

第三十條

受寄物ノ販賣ノ仲立又ハ取次ハ共同販賣トシ競争入札ノ方法ニ依ル但シ必要ニ應シ隨意又ハ特約販賣ノ方法ニ依ルコトアルヘシ

販賣ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第三十一條

本組合ニ於テ發行シタル農業倉庫證券ニ對シテ爲ス貸付ハ時價ノ八割以内日歩何錢何厘以内トシ其ノ期限ハ受寄物ノ保管期限ヲ超エサルモノトス

第三十二條

事業年度ハ一年トシ毎年一月一日ヨリ始まり十二月末日終ル

第三十三條

本組合ハ特別ノ計算ニ依リ倉庫部ノ損益ヲ算出ス

前項ノ計算ニ依リ生シタル利益ノ處分又ハ損失ノ填補ハ本組合ノ定款ノ規定ニ依ル

(注意) 附錄様式及附屬規程ハ別ニ示サス

四 聯合農業倉庫業務規程

大正十五年九月一日官報第三〇七號登載農務局調査

第一章 總 則

第一條 本會ノ聯合農業倉庫ニ於テハ左ノ事業ヲ行フモノトス

- 一 受寄物ノ保管
- 二 受寄物ノ調製、改裝及荷造
- 三 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ仲立
- 四 受寄物ノ運送又ハ販賣ノ取次
- 五 貸付

前項第一號乃至第四號ノ事業ハ本會ニ所屬セサル組合又ハ聯合會ノ爲ニモ之ヲ行フ

第二條

本會ハ左ノ物品ノ寄託ヲ受クルモノトス

- 一 農業倉庫業者カ農業倉庫業法第一條第一項又ハ第二項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル穀物、砂糖及藪
- 二 聯合農業倉庫業者カ保管スル前號ノ物品

穀物及砂糖ノ品目左ノ如シ

玄米、精米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆、何々
黑糖、白下糖

第三條

本會ハ前條ノ規定ニ依リ保管ニ支障ナキ場合ニ限リ左ノ物品ノ寄託ヲ受ケ

- 一 農業倉庫業者カ農業倉庫業法第一條第三項ノ規定ニ依リ寄託ヲ受ケタル物品
 - 二 販賣組合又ハ販賣組合聯合會カ賣却スル物品
 - 三 聯合農業倉庫業者カ保管スル前二號ノ物品
- 前項ノ物品ノ種類左ノ如シ

玄米、精米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆、何々

黑糖、白下糖、藪、何々、藪工品、澱粉、木炭、何々

第四條

寄託ノ申込競合シタルトキハ左ノ順位ニ依リ其ノ引受ヲ爲ス

一 所屬組合若ハ所屬聯合會ノ受寄物ニシテ農業倉庫業法第一條第一項及第二項ニ屬スルモノ

二 本會ニ所屬セサル組合若ハ聯合會ノ受寄物ニシテ農業倉庫業法第一條第一項及第二項ニ屬スルモノ

三 所屬販賣組合若ハ所屬販賣組合聯合會ノ賣却スル穀物、砂糖及藪

四 本會ニ所屬セサル販賣組合若ハ販賣組合聯合會ノ賣却スル穀物、砂糖及藪

五 其ノ他

前項ノ規定ニ依リ同一順位ニ在ルモノニ付テハ其ノ順位ハ左ノ品目順ニ依ル

玄米、精米、粳、大麥、小麥、稗麥、大豆、何々

第五條

第二條ノ規定ニ依ル物品ノ保管上必要アルトキハ何時ニテモ相當ノ期間ヲ定メ第三條ノ規定ニ依リ保管スル物品ノ出庫ヲ其ノ寄託者又ハ證券所持人ニ請求スルコトアルヘシ此ノ場合ニ於ケル請求ノ順位ハ前條ノ規定ニ依リ後順位ニ在ルモノヲ以テ先トス

第六條

農業倉庫業者カ其ノ受寄物ヲ本會ニ寄託シタルト

附 錄

聯合農業倉庫業務規程

前項ノ検査ハ道府縣又ハ同業組合ニ於テ検査ヲ施行シタル物ニ付テハ之ヲ行ハサルコトアルヘシ但シ必要ト認めタルトキハ道府縣又ハ同業組合ノ再検査ヲ受クヘキコトヲ求ムルモノトス

第十二條 受寄物ニ對シテハ必要ニ應シ燻蒸ヲ行フコトアルヘシ

第十三條 受寄物中變質、腐敗其ノ他ノ原因ニ依リ保管ニ適セス又ハ他ノ受寄物若ハ倉庫ニ損傷ヲ及ボス虞アリト認めタルトキハ寄託者又ハ證券所持人ニ相當ノ處置ヲ爲スコトヲ請求シ又ハ保管期限前ト雖其ノ受寄物ノ出庫ヲ請求スルコトアルヘシ

前項ノ處置又ハ寄託物ノ引取ヲ怠リタル爲ニ損害ヲ生シタルトキハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ賠償ノ責ニ任スルモノトス

第一項ノ場合ニ於テ緊急ノ必要アリト認めタルトキハ寄託者又ハ證券所持人ノ承諾ノ有無ニ拘ラス其ノ者ノ費用ニ於テ相當ノ處置ヲ爲スコトヲ得ルモノトス因テ生シタル損害ハ本會其ノ責ニ任セス

第十四條 保管期間ハ特別ノ契約アル場合ヲ除クノ外六月トス

第二條ノ規定ニ依リ寄託物ニシテ組合又ハ聯合會ニ於テ

保管中其ノ所有權ノ移轉ナキトキ、第三條ノ寄託物ニ付テハ第二條ノ規定ニ依リ保管ニ支障ナキトキニ限り保管期間更新ノ求メニ應スルモノトス

第十五條 寄託物ヲ出庫セムトスル者ハ入庫票又ハ第十九條ノ規定ニ依リ發行シタル倉荷證券ヲ呈示シテ之ヲ請求スヘシ

第十六條 混合保管ヲ爲シタル物ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ其ノ物ニ付權利ヲ有スル者ノ協議ニ依ラス前條ノ請求ヲ爲スコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ出庫ノ請求アリタルトキハ積込ノ順序ヲ問ハス寄託ノ數量ニ應シ之ヲ引渡スモノトス

第十七條 寄託物ノ出入レ及積ミ卸シ等ニ付テハ寄託者又ハ證券所持人ハ倉庫係員ノ指圖ヲ受クヘシ

第十八條 保管期間滿了後二週間又ハ第五條若ハ第十三條ノ請求ヲ爲シタル後一週間ヲ經過スルモ仍寄託物ヲ引取ラサルトキハ商法第三百八十一條ノ規定ニ依リ之ヲ競賣ニ付スルコトアルヘシ

第三章 證券

第十九條 本會ハ寄託者ノ請求アルトキハ第三號様式ノ倉荷證券ヲ交付ス

第二十條 前條ノ倉荷證券ハ受寄物ニ付組合又ハ聯合會ニ於テ發行シタル倉荷證券ニシテ裏書禁止シタルモノ若ハ倉荷證券發行ナキ旨ノ證明書及本會ニ於テ交付セル入庫票ト引換ヘニ之ヲ交付スルモノトス但シ第三條第一項第二號ノ物品ノ倉荷證券ハ入庫票ト引換ニ之ヲ交付スルモノトス

第二十一條 前條ノ規定ニ依リ本會ニ於テ受取りタル組合又ハ聯合會發行ノ倉荷證券ハ本會ニ於テ消印シタル上之ヲ本會ニ保存スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ本會ニ保存スル倉荷證券ニ受寄物ヲ出庫シタルトキ之ヲ寄託申込者ニ返戻スルモノトス

第二十二條 第十九條ノ倉荷證券ヲ喪失又ハ滅失シタルトキハ保證人ヲ立テ又ハ擔保ヲ供シテ受寄物ノ出庫若ハ倉荷證券ノ再交付ヲ請求スルコトヲ得

第二十三條 倉荷證券ノ分割、書換又ハ再交付ノ請求アリタルトキハ本會ノ所定ノ手数料ヲ申受クヘシ

第四章 損害及保險

第二十四條 本會ハ受寄物ニ付火災、蟲害、鼠害、雨漏、水濡、竊盜、紛失及繩切等ニ依リ生スル損害ヲ賠償スル責ニ任ス但シ天災、事變其ノ他避クヘカラサル事由ニ基ク損害及保險者カ填補ノ責任ヲ有スル損害又ハ寄託者ノ申出

ニ依リ保險ニ附セサル損害ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第二十五條 本會ノ賠償ノ責ニ歸スヘキ事由ニ因リ受寄物ニ付生シタル損害額ハ時價ニ據リ之ヲ算出ス

第二十六條 受寄物ニ付本會ノ責ニ任セサル損害アリタルトキ又ハ責ニ任スルモノト雖重大ナル損害アリタルトキハ運滞ナク其ノ旨ヲ公告ス

第二十七條 混合保管ヲ爲ス受寄物ニ付損害アリタルトキハ寄託者又ハ證券所持人五名以上、寄託者又ハ證券所持人五名未滿ノ場合ハ全員ノ立會ヲ求メテ損害ヲ調査シ混合物ノ數量ニ應シ混合物ニ之ヲ分賦ス

第二十八條 本會ハ寄託者ノ委任ヲ受ケサル場合ト雖其ノ者ノ爲ニ受寄物ヲ火災保險ニ附スルモノトス

火災保險金額ハ受寄物ノ時價ニ依リ之ヲ定ム

寄託者又ハ證券所持人ハ本會ノ承諾ヲ得テ前二項ノ規定ト異ル特約ヲ爲スコトヲ得

保險料ハ實費トシ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徴收ス

第二十九條 受寄物ノ火災保險ニ付テハ總テ本會ト保險者トノ契約ニ依ルモノトス

火災保險金ハ本會ヲ經テ授受スヘキモノトス

何又(何々)ニ置ク

第五條 本組合ハ地區内ノ農業者ヲ以テ組合員トス

第六條 本組合ハ何々農會及何々産業組合ニ加入スルモノトス

第七條 本組合ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一 農業生産ノ指導及統制並ニ其ノ協同化
- 二 土地及勞力ノ調整
- 三 農業用資材及生活必需品ノ配給ノ統制
- 四 農産物ノ集荷ノ統制
- 五 貯蓄ノ獎勵及負債整理ノ促進
- 六 共同利用設備及共同收益地ノ設備
- 七 共濟、備荒、保健衛生其ノ他社會施設ノ擴充
- 八 農業ニ關スル研究及調査
- 九 其ノ他本組合ノ目的達成ニ必要ナル事業

第八條 本組合ノ公告ハ組合ノ揭示場ニ揭示シテ之ヲ爲ス

第二章 加入及脱退

第九條 本組合ニ加入シ又ハ本組合ヨリ脱退セントスル者ハ組合長ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス

第十條 組合員死亡シタルトキハ其ノ家督相續人ニシテ組合員タルノ資格アル者ハ被相續人ニ代リテ組合員タルモノトス

第十一條 組合員又ハ組合員タルノ信義ニ反シタル行爲ヲ爲シ改メザルトキハ總會ノ決議ニ依リテ之ヲ除名ス

第三章 事業ノ執行

第十二條 本組合ノ事業年度ハ(毎年四月一日)ヨリ(翌年三月三十一日迄)トス

第十三條 本組合ハ毎月一回組合員及其ノ家族ノ例會ヲ開催スルモノトス

第十四條 本組合ニ事業ノ執行上左ノ部ヲ設ク

- 總務部
- 生産部
- 經濟部
- 社會部
- 婦人部
- 青年部

部ニ部長一名及係員若干名ヲ置ク

部長及係員ハ總會又ハ例會ノ承認ヲ經テ組合員又ハ其ノ家族中ヨリ組合長之ヲ委嘱ス

第十五條 本組合ハ組合費、手数料、使用料及過怠金ヲ徵

收スルコトヲ得

前項ノ手数料、使用料及過怠金ハ總會又ハ例會ニ於テ議決シタル範圍内ニ於テ組合長之ヲ定ム

第四章 役員

第十六條 本組合ニ理事二名(監事一名)ヲ置ク

理事(及監事)ハ總會ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス
理事中一名ヲ組合長トシ他ノ一名ヲ副組合長トシ總會ニ於テ之ヲ指名ス

第十七條 組合長ハ組合ノ業務ヲ統轄シ組合ヲ代表ス

副組合長ハ組合長ヲ補佐シ組合長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス

第十八條 理事ノ任期ハ二年トシ(監事ノ任期ハ一年)トス但シ再選ヲ妨ゲズ

理事(及監事)ハ其ノ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事(又ハ監事)ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第十九條 理事(又ハ監事)ハ總會ノ決議ヲ以テ之ヲ解任スルコトヲ得

第二十條 組合長ハ規約、組合員名簿、總會決議錄、財産目錄、會計帳簿、日誌其ノ他必要ナル帳簿ヲ事務所ニ備

附 錄 農事實行組合同規約例

ハ置クベシ

第二十一條 理事、(監事)其ノ他組合ノ幹部ニハ總會又ハ例會ノ決議ニ依リ報酬又ハ手當ヲ支給スルコトヲ得

第二十二條 本組合ニ總會又ハ例會ノ承認ヲ經テ顧問(相談役)ヲ置クコトヲ得

第五章 會議

第二十三條 總會ハ通常總會及臨時總會トス
通常總會ハ毎年何月之ヲ開ク
臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 組合長ガ必要ト認メタルトキ
- 二 總組合員ノ三分ノ一以上ヨリ會議ノ目的タル事項ヲ示シテ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
- 三 (監事ガ組合ノ財産ノ狀況又ハ業務ノ執行ニ付不整ノ廉アルコトヲ發見シテ之ヲ報告スル爲總會ノ招集ヲ必要ト認メタルトキ)

第二十四條 本規約ニ定ムルモノノ外左ノ事項ハ總會ノ決議ヲ經ルコトヲ要ス

- 一 事業計畫及收支豫算
- 二 組合費ノ分賦收入方法
- 三 基本財産ノ造成及處分
- 四 借入金

五 規約ノ變更

組合長ハ事業成績、收支決算及財産目錄ヲ通常總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第二十五條 總會ノ議事ハ組合員ノ三分ノ二以上ノ同意ヲ以テ決ス但シ組合員ノ除名及基本財産ノ處分ニ付テハ組合員ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ要ス

第二十六條 總會ハ組合長之ヲ招集ス(但シ第二十三條第三項第三號ノ場合ハ監事之ヲ招集ス)

第二十七條 總會ノ招集ハ少クトモ五日日前ニ日時、場所及會議ノ目的タル事項ヲ組合ノ揭示場ニ揭示シテ之ヲ爲スモノトス

第二十八條 總會ニ於テハ前條ノ規定ニ依リテハ豫メ通知シタル事項ニ付テノ議決ヲ爲スモノトス但シ急施ヲ要スルモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

第二十九條 總會ノ議長ハ組合長之ニ當ル但シ組合長及副組合長共ニ事故アルトキハ出席者ノ互選ニ依ル(監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ監事之ニ當ル)

第三十條 組合員ハ其ノ家族又ハ他ノ組合員ヲシテ其ノ議決權ヲ代行セシムルコトヲ得但シ三人以上ヲ代理スルコトヲ得ズ

第三十一條 總會ニ於テハ決議録ヲ作り開會ノ日時、場所、議決シタル事項、組合員數、出席者ノ員數其ノ他會議ノ顛末ヲ記載スルコトヲ要ス

決議録ニハ議長及出席者二名以上之ニ署名又ハ記名捺印スベシ

第六章 會計、資産及損失分擔

第三十二條 本組合ノ經費ハ左ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

- 一 組合費
- 二 手数料又ハ使用料
- 三 共同收益地ニ依ル收入
- 四 補助金又ハ寄附金
- 五 、 、 、 、
- 六 雜收入

第三十三條 本組合ニ基本財産ヲ設ク

基本財産ノ管理ノ方法ハ總會ノ承認ヲ經テ別ニ之ヲ定ム
第三十四條 本組合ニ損失ヲ生ジタル場合ニ於ケル組合員間ノ損失分擔ノ割合ハ最近三年間ノ組合費分賦ノ割合ニ依ルモノトス

附 則

本組合設立當時ノ理事(及監事)ヲ定ムルコト左ノ如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス

理事	何	某
理事	何	某
監事	何	某

昭和何年何月何日日本規約ヲ作成ス

設立者
何府何郡何町 大字何何番地
何縣何市何村 何 某 印

六 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ 米穀販賣組合ノ定款例

販賣組定款例ヲ左ノ如ク改ム

第一章 總則 第一條 左ノ一號ヲ加フ

米穀自治管理法ノ規定ニ依リ米穀統制組合ノ事業ヲ行フコト

第 條ノ次ニ左ノ一節ヲ加フ

第 節 米穀自治管理

第 條ノ二 第 條第 項第 號ノ事業ハ米穀自

附 錄 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ米穀販賣組合ノ定款例

治管理規程ノ定ムル所ニ依リ之ヲ行フ

米穀自治管理規程ハ總會(總代會)ニ於テ別ニ之ヲ定ム

第 條ノ三 本組合ハ地區内ニ於テ米作ヲ爲シ又ハ地區内ニ在ル土地ニ付權利ヲ有シ米穀ヲ小作料トシテ受クル組合員ニシテ米穀自治管理法施行規則第四條ノ規定ニ依ル資格ヲ有セザルモノニ對シ其ノ申出ニ依リ米穀自治管理法第四十三條ノ規定(同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依ル割當ヲ爲スコトヲ得ルモノトス

第 條ノ四 本組合ニ評議員何名ヲ置キ總會(總代會)ニ於テ組合員中ヨリ之ヲ選任ス

米穀自治管理法施行令第三十四條第一項ノ規定ニ依ル異議ノ申立アリタルトキハ組合長ハ評議員會ノ意見ヲ徵シ遲滯ナク決定ヲ爲スモノトス

評議員及評議員會ニ關スル事項ハ米穀自治管理規程ノ定ムル所ニ依ル

第 條ノ五 米穀自治管理法施行令第十條ノ規定ニ依リ

總會(總代會)ノ議決ヲ經ベキ事項ニ關シ臨時急施ヲ要スル場合ニ於テ總會(總代會)成立セザルトキ又ハ之ヲ招集スルノ暇ナキトキハ組合長ハ之ヲ專決處分スルコトヲ得前項ノ規定ニ依リ專決處分ヲ爲シタルトキハ組合長ハ次

ノ總會(總代會)ニ之ヲ報告スルモノトス

第六條 本組合ハ米穀自治管理法第四十三條ノ規定(同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依リ割當ヲ爲ス爲メ自治管理總代會(自治管理總會)ヲ設ク自治管理總代會及ビ其ノ總代ニ關スル事項ハ自治管理規程ノ定ムル所ニ依ル

自治管理總代會(自治管理總會)ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノニ付テハ書面ヲ以テ自治管理總代會(自治管理總會)ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵シ自治管理總代會(自治管理總會)ノ議決ニ代フルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ組合長ハ十日ヲ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ此ノ期間迄ニ到達セザル意見書ハ採決ノ數ニ加ヘザルモノトス

第七條 米穀自治管理法第四十三條ノ規定(同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依リ割當ヲ受ケタル者ハ割當テラレタル數量ノ米穀ノ割當ヲ受ケタル日ヨリ十四日以内ニ本組合ノ指定スル場所ニ寄託スルコトヲ要ス但シ特別ノ事情アルトキハ組合長ハ七日以内ニ限り此ノ期間ヲ延長スルコトヲ得

第一項及第二項ノ規定ニ違反シタル者ニ對シテハ何圓以下ノ過怠金ヲ徵收スルコトヲ得

第八條 組合員ニシテ使用料又ハ手数料ヲ滯納スル者アルトキハ組合長ハ期限ヲ指定シ之ヲ督促スベシ前項ノ督促ヲ受ケ指定期間迄ニ之ヲ完納セザルトキハ評議員會ノ意見ヲ徵シ滯納金額ノ十分ノ二以内ノ過怠金ヲ課ス

七 米穀統制組合ノ事業ヲ行フ米穀販賣組合ノ自治管理業務規程例

第一條 米穀自治管理法ニ依リ貯藏スベキ米穀ノ保管並ニ資金ノ融通及輪旋ニ關シテハ本業務規程ノ定ムル所ニ依リ之ヲ行フモノトス

第二條 米穀自治管理法ニ依リ貯藏スベキ米穀ノ割當ヲ受ケタル者ハ様式第一號ノ寄託申込書ヲ本組合ニ差出スベシ

第三條 本組合前條ノ寄託ノ申込ヲ受ケタルトキハ倉庫ヲ指定シ之ヲ申込者ニ通知スルモノトス

申込者前項ノ通知ヲ受ケタルトキハ遲滞ナク割當ヲ受ケタル數量ノ米穀ヲ其ノ指定倉庫ニ搬入スルコトヲ要ス

第四條 前條ノ搬入アリタルトキハ本組合ハ其ノ米穀ニ付

所定ノ條件ニ適合スルヤ否ヲ検査シ適當ナリト認ムルトキハ之ヲ入庫スルモノトス

第五條 本組合ニ於テ米穀自治管理法ニ依リ貯藏スベキ米穀ハ他ノ米穀ト區分シ之ヲ保管スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ區分シテ貯藏スベキ米穀ニシテ銘柄及等級ノ同一ナルモノハ特別ノ契約アル場合ヲ除クノ外混合保管ヲ爲スコトアルベシ

第六條 前條ノ貯藏米穀ニ對シテハ燻蒸其ノ他必要ナル手入ヲ行フコトアルベシ

第七條 貯藏米穀中變質、蟲害等ニ依リ他ノ貯藏米穀ニ損害ヲ及ボス虞アリト認ムルモノアルトキハ本組合ニ於テ其ノ米穀ヲ庫出シ又ハ他ノ貯藏米穀ト區分シ遲滞ナク貯藏ノ解除ノ許可ヲ地方長官ニ申請スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ解除ノ許可ヲ受ケタルトキハ其ノ米穀ヲ引取ルベキ旨ヲ寄託者又ハ自治管理倉庫證券ノ所持人ニ請求スルモノトス

前項ノ規定ニ依リ請求ヲ受ケタル者ハ遲滞ナク第四條ノ入庫票又ハ第十一條ノ自治管理倉庫證券ヲ提出シテ其ノ引渡ノ請求ヲ爲スベシ

第八條 保管料ハ一箇月ヲ二期(一日乃至十五日)ニ分チ一期ニ付左ノ如ク之ヲ定ム但シ二期ニ滿タザル日數ニ付テモ一期トシテ之ヲ計算ス

混合保管ノ場合 一俵、一叭又ハ一袋ニ付金 錢以内

特定保管ノ場合 一俵、一叭又ハ一袋ニ付金 錢以内

前項ノ保管料ハ組合員ニ非ザル者ニ對シテハ金 錢ノ割増金ヲ徵收スルモノトス

第九條 保管料ハ出庫ノ際受取人ヨリ之ヲ徵收ス但シ保管ノ期間三箇月ヲ超ユルトキハ三箇月毎ニ之ヲ徵收スルモノトス

第十條 貯藏ヲ解除シタル後ノ保管期間ハ特約アル場合ヲ除クノ外三箇月トス但シ保管期間更新ノ求メニ應ズ

第十一條 本組合ハ寄託者ノ請求アリタルトキハ入庫票ト引換ニ自治管理倉庫證券ヲ發行スルモノトス

第十二條 寄託者又ハ自治管理倉庫證券ノ所持人保管期間ノ更新ヲ求メントスルトキハ入庫票又ハ自治管理倉庫證券ヲ呈示スベシ

本組合保管期間ノ更新ヲ承諾シタルトキハ其ノ入庫票又ハ自治管理倉庫證券ニ更新ノ年月日及期間ヲ記入ス

第十三條 自治管理證券ヲ滅失シタルトキハ二人以上ノ保證人ヲ立テ又ハ擔保ヲ提供シテ自治管理倉庫證券ノ再交

第四條 本會ハ米穀自治管理法第四十三條ノ規定又ハ同法第五十六條ノ規定ニ依リ割當ヲ受ケタルトキハ割當ヲ受ケタル日ヨリ七日以内ニ自治管理總代會ヲ開キ其ノ割當テラレタル數量ヲ本會ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合及其ノ事業ヲ行フ團體ニ對シ割當ツルモノトス

第五條 米穀自治管理法第四十三條ノ規定(同法第五十六條第二項ニ於テ準用スル場合ヲ含ム)ニ依リ本會ニ於テ統制スベキ米穀ノ數量ヲ割當ツル場合ハ割當ヲ受クベキ團體ノ區域内ニ於ケル米穀ノ販賣高、生産高等ヲ參酌スルモノトス

前項ノ販賣高ハ前五箇年中ノ中庸作柄ノ年ニ於ケルモノ、生産高ハ第二回米穀豫想收穫高トス

第六條 本會ノ米穀自治管理ニ關スル事業年度ハ前年ノ十一月一日ヨリ其ノ年ノ十月三十一日迄トス

第七條 本會ニハ米穀自治管理ニ關スル左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 米穀自治管理名簿
- 二 米穀割當ニ關スル帳簿
- 三 其他事業上必要ナル帳簿

第八條 本會ノ地方米穀統制組合聯合會ノ事業ニ關スル庶務細則ハ會長之ヲ定ム

第二章 自治管理總代會

第九條 定款第 號ノ三ノ自治管理總代會ハ左ニ掲グル者ヲ以テ之ヲ組織ス

- 一 所屬組合ニシテ米穀統制組合ノ事業ヲ行フ米穀販賣組合ノ理事(理事數人アル場合ニ於テハ理事ノ互選シタル者)ヨリ選出シタル總代
- 二 本會ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合ノ組合長及本會ノ區域内ニ於ケル米穀統制組合ノ事業ヲ行フ市農會又ハ町村農會ノ會長ヨリ選出シタル總代
- 三 農林大臣ニ於テ任命シタル特別議員

第十條 左ノ各號ノ一ニ該當スル者ハ自治管理總代會ノ總代タルコトヲ得ズ

- 一 未成年者、禁治產者又ハ準禁治產者
- 二 破產者ニシテ復權ヲ得ザル者
- 三 六年ノ懲役又ハ禁錮以上ノ刑ニ處セラレタル者
- 四 六年未滿ノ懲役又ハ禁錮ノ刑ニ處セラレ其ノ執行ヲ終リ又ハ執行ヲ受クルコトナキニ至ル迄ノ者

第十一條 第九條第一號及第二號ノ總代ノ選舉ハ各別ニ之ヲ行フ

第十二條 第九條第一號及第二號ノ總代ノ定數ハ何人トス

第十三條 總代ノ選舉ニ關スル事務ハ會長之ヲ管理ス

選舉ハ單記無名投票ヲ以テ之ヲ行フ

投票ハ一人一票ニ限ル

前三項ノ外選舉ニ關シ必要ナル事項ハ會長之ヲ定ム

第十四條 總代ノ選舉ハ有効投票ノ多數ヲ得タル者ヲ以テ當選者トス但シ選出スベキ總代ノ定數ヲ以テ有効投票ノ總數ヲ除シテ得タル數ノ六分ノ一以上ノ得票アルコトヲ要ス

前項ノ規定ニ依リ當選者ヲ定ムルニ當リ得票ノ數同ジキトキハ會長又ハ其ノ指命シタル者抽籤シテ當選者ヲ定ムベシ

第十五條 會長ハ選舉錄ヲ調製シ投票其ノ他ノ關係書類ト共ニ總代ノ任期間會長ニ於テ之ヲ保存スベシ

第十六條 當選者定マリタルトキハ會長ハ直ニ當選ノ旨ヲ通知スベシ

當選者當選ヲ辭セントスルトキハ當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ五日以内ニ之ヲ會長ニ届出ヅベシ

第十七條 當選ノ通知ヲ受ケタル日ヨリ一年以内ニ左ニ掲グル事由ノ一ニ該當スルニ至リタルトキハ會長ハ直ニ第十四條ノ例ニ依リ當選者ヲ定ムルモノトス

- 一 當選ヲ辭シタルトキ
- 二 總代ヲ辭シタルトキ
- 三 總代タルノ資格ヲ失ヒタルトキ
- 四 死亡シタルトキ

第十八條 第十六條第二項ノ期間ヲ經過シタルトキハ會長ハ直ニ當選者ノ住所及氏名ヲ公告スベシ

第十九條 選舉人米穀自治管理法施行規則第六十六條ニ於テ準用スル同規則第二十二條ノ規定ニ依リ選舉又ハ當選ノ取消ヲ申立テントスルトキハ選舉ニ關シテハ選舉ノ日ヨリ、當選ニ關シテハ前條ノ公告ノ日ヨリ三十日以内ニ申立書ヲ會長ニ差出スベシ此ノ場合ニ於テハ會長ハ意見ヲ附シ七日以内ニ之ヲ地方長官ニ申達スベシ總代ハ選舉又ハ當選ノ取消アル迄ハ會議ニ列席シ議事ニ參與スルノ權ヲ失ハズ

第二十條 總代選舉ノ取消アリタルトキハ三月以内ニ更ニ總代ノ選舉ヲ行フモノトス

總代選舉ノ取消アリタルトキハ會長ハ直ニ第十四條ノ例ニ依リ當選者ヲ定ムベシ

總代ノ定數ニ足ル當選者ヲ得ルコト能ハザルトキハ其ノ不足ノ員數ニ付更ニ選舉ヲ行フモノトス

總代中關員ヲ生ジ關員ガ總代定數ノ三分ノ一ニ至リタルトキ又ハ會長若ハ總代會ニ於テ必要ト認ムルトキハ補關選舉ヲ行フモノトス

第二十一條 總代ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ

第二十二條 總代ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四年トス但シ補

關ノ總代ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル總代ノ任期ハ他ノ總代ノ殘任期間トス

第二十三條 自治管理總代會ヲ召集セントスルトキハ會長ハ少クトモ開會ノ日前何日迄ニ書面ヲ以テ會議ノ目的タル事項、日時及場所ヲ總代會ヲ組織スル者ニ通知スベシ

第二十四條 自治管理總代會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アリタルトキハ理事ノ互選ニ依ル米穀自治管理法施行規則第六十六條第二項ニ於テ準用スル同規則第二十五條第三項又ハ第四項ノ規定ニ依リ總代ガ行政官廳ノ許可ヲ受ケ召集シ又ハ行政官廳ガ召集セシメタル場合ニ於テハ出席者之ヲ互選ス

第二十五條 自治管理總代會ハ之ヲ組織スル者ノ半数以上出席スルニ非ザレバ會議ヲ開クコトヲ得ズ但シ同一ノ事項ニ付召集再回ニ至ルモ仍半数ニ滿タザルトキ又ハ召集ニ應ズルモ出席者定數ヲ闕キ議長ニ於テ出席ヲ催告シ仍半数ニ滿タザルトキハ此ノ限ニ在ラズ

第二十六條 自治管理總代會ノ議事ハ出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナルトキハ議長ノ決スルトコロニ依ル

第二十七條 議長ハ會議ヲ總理シ其ノ日ノ會議ヲ開閉ス自治管理總代會ヲ組織スル者ノ半数以上ヨリ請求アルト

キハ議長ハ其ノ日ノ會議ヲ開クコトヲ要ス此ノ場合ニ於テ議長仍會議ヲ開カザルトキハ第二十四條ノ例ニ依リ前項ノ請求ニ依リ會議ヲ開キタルトキ又ハ出席者中異議アルトキハ議長ハ會議ノ議決ニ依ルニ非ザレバ其ノ日ノ會議ヲ閉チ又ハ之ヲ中止スルコトヲ得ズ

第二十八條 議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名スベシ
一 開會ノ日時及場所
二 自治管理總代會ヲ組織スル者ノ定數及員數
三 出席者ノ員數
四 議事ノ要領
五 議決シタル事項及賛否ノ數

第二十九條 自治管理總代會ノ議事ニ關スル細則ハ本章ニ規定アルモノヲ除クノ外本會ノ總代會ノ議事細則ニ依ル

一〇 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合定款變更例

何々組合定款ヲ左ノ如ク改ム

(第一章總則)第一條第一項ニ左ノ一號ヲ加フ

國民健康保險法ノ規定ニ依リ國民健康保險組合ノ事業ヲ行フコト

(第四章事業執行)第一節)第 條ノ次ニ左ノ一節ヲ加フ

第 節 國民健康保險

第 條ノ二 第一條第一項第 號ノ事業ハ國民健康保險規程ノ定ムル所ニ依リ之ヲ行フ

國民健康保險規程ハ總會(總代會)ニ於テ之ヲ定ム

第 條ノ三 理事ハ國民健康保險ニ關シ國民健康保險規程ノ定ムル事務ヲ處理セシムベシキ常務理事一名ヲ互選ス

一一 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合(醫療ニ關スル施設ヲ爲スモノ)ノ國民健康保險規程例

第一章 被保險者

第一條 本組合ハ組合員及其ノ世帯ニ屬スル者ヲ以テ被保險者トス但シ左ニ掲グル者ヲ除ク

- 一 健康保險ノ被保險者
- 二 國民健康保險組合又ハ國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ他ノ法人ノ被保險者
- 三 私傷病ニ付療養ニ關スル給付ヲ爲ス官業共濟組合及警察共濟組合ノ組合員
- 四 何々

第二條 新ニ被保險者ト爲リタル者アルトキハ組合員ハ十日以内ニ其ノ被保險者ノ氏名、男女別、生年月日及自己

附 錄

國民健康保險組合事業ヲ行フ産業組合ノ施設ヲ爲スモノノ國民健康保險規程例

トノ續柄ヲ記載シタル書面ヲ以テ其ノ旨組合ニ届出ツベシ記載事項中變更アリタルトキ亦同ジ

第三條 被保險者中其ノ資格ヲ喪失シタル者アルトキハ組合員ハ十日以内ニ其ノ被保險者ノ氏名及資格喪失ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ以テ其ノ旨組合ニ届出ツベシ

第二章 保險給付及保健施設

第四條 本組合ニ於テ爲ス保險給付ノ種類左ノ如シ

- 一 療養ノ給付
- 二 助産ノ給付(助産費ノ支給)
- 三 葬祭ノ給付(葬祭費ノ支給)
- 四 何々

第五條 療養ノ給付ノ範圍左ノ如シ

- 一 診察(往診及處方箋ノ交付ヲ含ム)
 - 二 藥劑又ハ治療材料ノ支給(診察以外ノ藥品及賣藥ノ支給ヲ含マズ)
 - 三 處置、手術其ノ他ノ手當
 - 四 入院
 - 五 看護
 - 六 被保險者ノ移送
 - 七 何々
- 處置、手術其ノ他ノ手當ニ付テハ組合ノ承認ヲ受ケタル(醫療ニ關スル)

附 錄 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ノ施設ヲ爲スモノノ國民健康保險規程例

四〇

場合ヲ除クノ外之ニ要スル費用一回十圓(何圓)ヲ以テ限度トス
入院(看護及被保險者ノ移送)ニ付テハ組合ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第六條 前條第一項第一號乃至第三號ノ給付ニ付テハ被保險者ハ組合ノ指定シタル醫師、齒科醫師、藥劑師其ノ他ノ者ノ中自己ノ選定シタル者ニ就キ之ヲ受クルコトヲ得

第七條 療養ノ給付ハ同一ノ傷病及之ニ因リ發シタル疾病ニ付其ノ給付ヲ始メタル日ヨリ起算シ百八十日(何日)ヲ經過シタルトキハ之ヲ爲サズ

第八條 被保險者左ノ場合ニ於テ組合ノ指定セザル醫師、齒科醫師其ノ他ノ者ノ手當ヲ受ケタルトキハ療養ノ給付ニ代ヘテ療養費ヲ支給ス
一 組合ニ於テ療養ノ給付ヲ爲スコト困難ナリト認めタルトキ
二 緊急ノ必要アルトキ
三 其ノ他必要ニ依リ組合ノ承認ヲ受ケタルトキ

第九條 療養費ノ額ハ療養ニ要シタル實費トス但シ療養ノ給付ヲ爲ス場合ニ要スル額ヨリ第九條ノ規定ニ依ル一部負擔ノ額ヲ控除シタル額ヲ超ユルコトヲ得ズ

第十條 被保險者療養ノ給付ヲ受クルトキハ其ノ世帯ノ組員ハ其ノ費用ノ一部ヲ負擔スルモノトス
但シ特別ノ事由アル者ニ付テハ總會(總代會)ノ議決ヲ經テ之ヲ減免スルコトアルベシ
一部負擔金ノ割合(額)及其ノ徵收方法ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

第十一條 被保險者療養ノ給付ヲ受クルトキハ其ノ世帯ノ組合員ハ其ノ費用ノ何割ヲ負擔スルモノトス
但シ特別ノ事由アル者ニ付テハ總會(總代會)ノ議決ヲ經テ之ヲ減免スルコトアルベシ
一部負擔金ノ徵收方法ニ付テハ別ニ之ヲ定ム

第十二條 助産ノ給付ノ範圍左ノ如シ
一 分娩前ノ診察
二 分娩ノ介助
三 分娩後ノ處置

第十三條 助産ノ給付ニ付テハ被保險者ハ組合ノ指定シタル產婆ノ中自己ノ選定シタル者ニ付之ヲ受クルコトヲ得
給付ニ代ヘテ助産費ヲ支給ス

第十四條 組合ハ療養費ヲ支給スル場合ノ例ニ依リ助産ノ給付ニ代ヘテ助産費ヲ支給スルコトアルベシ

第十五條 組合ハ被保險者ノ健康ヲ保持増進スル爲左ノ施設ヲ爲ス
一 豫防注射
二 健康診断
三 何々
四 其ノ他健康ノ保持増進ニ關スル施設

第十六條 本章ニ定ムルモノノ外保險給付及保健施設ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

附 錄 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ノ施設ヲ爲スモノノ國民健康保險規程

四一

第十七條 組合必要アリト認めタル場合ニ於テハ葬祭ノ給付ニ代ヘテ葬祭費ヲ支給スルコトアルベシ

第十八條 葬祭費ノ額ハ何圓トシ葬祭ヲ行フ者ニ之ヲ支給ス
給ス(註 本條ハ前二條ニ代ルモノトス)

第十九條 國民健康保險組合ノ事業開始後被保險者ト爲リタル者ハ左ノ期間ヲ經過スルニ非ザレバ保險給付ヲ受クルコトヲ得ズ但シ出生ニ因リ被保險者ト爲リタル者ハ此ノ限ニ在ラズ
一 療養ニ關スル給付ニ付テハ三十日(何日)
二 助産及葬祭ニ關スル給付ニ付テハ九十日(何日)

第二十條 傳染病豫防法其ノ他ノ法令ノ規定ニ依リ無償ニテ療養ヲ受クル場合ハ其ノ限度ニ於テ療養ノ給付ハ之ヲ爲サズ

第二十一條 組合必要アリト認めタル場合ニ於テハ葬祭ノ給付ニ代ヘテ葬祭費ヲ支給スルコトアルベシ

第二十二條 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合者ノ診斷ヲ行フコトアルベシ

第二十三條 國民健康保險組合ノ事業ヲ行フ産業組合ノ施設ヲ爲スモノノ國民健康保險規程

第一級 何 錢
第二級 何 錢
第三級 何圓何錢

被保險者數五人(何人)ヲ超ユル世帯ニ在リテハ其ノ一人(何人)ヲ増ス毎ニ前項ノ額ニ何錢(何級以下ハ何錢)ヲ加算シタルモノヲ以テ保險料トス

正當ノ理由ナクシテ前項ノ診斷ヲ拒ミタル者ニ對シテハ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲サザルコトアルベシ
第一條 組合ハ保險料ヲ著シク滯納スル組合員ノ世帯ノ被保險者ニ對シ保險給付ノ全部又ハ一部ヲ爲サザルコトアルベシ

第二十條 各組合員ノ保險料ノ等級ハ資力ヲ標準トシ總會（總代會）ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム其ノ等級ノ變更ニ付亦同シ

第二十一條 保險料ノ等級及額ヲ決定シタルトキハ理事ハ遲滞ナク之ヲ組合員ニ通知スベシ等級又ハ額ニ變更アリタルトキ亦同シ

第二十二條 保險料ハ毎月末日迄ニ之ヲ納付スベシ

第二十三條 保險料ハ毎年何月ヨリ何月迄ノ分ヲ何月末日迄ニ、何月ヨリ何月迄ノ分ヲ何月末日迄ニ之ヲ納付スベシ

第二十四條 特別ノ事由アル者ニ付テハ總會（總代會）ノ議決ヲ經テ保險料ヲ減免シ又ハ其ノ徵收ヲ猶豫スルコトアルベシ

第二十五條 本章ニ定ムルモノノ外保險料ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第四章 財務
第二十六條 本組合ノ國民健康保險ニ關スル收入支出ハ他ノ事業ニ關スル會計ト區分シ之ヲ經理スルモノトス

第二十七條 本組合ノ國民健康保險ニ關スル會計年度ハ四月一日ニ始リ翌年三月三十一日ニ終ル但シ出納ハ翌年度五月三十一日ヲ以テ之ヲ閉鎖ス

第二十八條 豫備費ヲ以テ充ツルコトヲ得ル費途左ノ如シ
一 保險給付費
二 保健施設費

第二十九條 國民健康保險ニ關スル會計ニ屬スル財産ハ左ノ各號ニ依リ之ヲ管理ス
一 有價證券ハ郵便局ニ保管ヲ託シ又ハ産業組合中央金庫若ハ何々銀行ニ保護預トス

第三十條 本章ニ定ムルモノノ外國民健康保險ニ關スル會計ニ關シ必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

第五章 雜 則
第三十一條 左ノ事項ハ常務理事ニ於テ之ヲ專決スルコトヲ得
一 被保險者ノ資格ノ得喪ニ關スル事項
二 保險給付ノ決定ニ關スル事項但シ保險給付ノ不支給

一二 農村負債整理組合法ニ依リ負債整理事業ヲ行フ信用組合ノ定款變更例

昭和十三年二月九日及二月二十一日 經濟更生部金融課長名地方廳經濟部長宛

今般農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ信用組合ノ定款例事務參考ノ爲別紙ノ通作成候條及送付候也

農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ依リ負債整理事業ヲ行フ信用組合ノ定款例

（但シ産業組合中央會發行産業組合關係法規所載ノ保證責任何々信用販賣購買利用組合定款（未定稿）ニ基キ作成）

第一章 總則 第一條ニ左ノ一號ヲ加フ
八 農村負債整理組合法ニ依リ負債整理事業ヲ行フコト

第十八條第一項中「特別積立金」ヲ「特別積立金及負債整理特別積立金」ニ改メ同條第一項ノ次ニ左ノ二項ヲ加フ本組合ハ組合員ノ釀出又ハ勞務奉仕ニ依リテ行フ何々（共同事業名）ノ收益金ニ依リ負債償還積立金ヲ積立ツルモノトス

ノ決定ヲ除ク
三 收入及支出ノ決定ニ關スル事項
四 何々
五 其ノ他定例ニ屬スル事項又ハ輕易ナル事項
第 條 一世帯ニ二人以上ノ組合員アルトキハ理事ハ保險料及第九條ノ一部負擔金ヲ納付スベキ組合員ヲ定メ之ヲ其ノ組合員ニ通知スベシ
第三十二條 本組合ニ於テ國民健康保險ニ關シ公示スベキ事項ハ本組合ノ揭示場ニ揭示（何々ニ掲載）ス
第三十三條 本組合ノ國民健康保險ニ關スル帳簿及書類ノ保存ニ付テハ別ニ之ヲ定ム
（備考）
一、第 條……ト記載セルモノハ組合ノ實情ニ依リ斯ノ如キ條項ノ採否自由ナルコトヲ示シタルモノナリ
二、（第何條……）ト記載セルモノハ其ノ前掲ノ一條項又ハ數條項ニ代ヘテ斯ノ如キ條項ト爲ス場合ヲ示シタルモノナリ
三、一條項中ノ項又ハ號ニ括弧ヲ附セルモノハ組合ノ實情ニ依リ斯ノ如キ規定ノ存否自由ナルコトヲ示シタルモノナリ

附錄 農村負債整理組合法ニ依リ負債整理事業ヲ行フ信用組合ノ定款變更例 外一

前項ノ組合員ノ醸出又ハ勞務奉仕ニ依リテ行フ何々(共同事業名)ハ總會(總代會)ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第十九條 第一項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

負債整理特別積立金ハ負債整理事業ノ損失ノ填補ニ充ツルモノトス

第十九條 第二項ノ次ニ左ノ一項ヲ加フ

負債償還積立金ハ負債整理資金ノ償還ニ充ツルモノトス

第八十二條ノ次ニ左ノ一節ヲ加フ

第七節 負債整理

第八十二條ノ二 本組合ハ組合員ノ負債ヲ整理セシムル爲左ノ事業ヲ行フ

- 一、組合員ノ負債償還計畫及經濟更生計畫ノ樹立
- 二、債務者タル組合員及債權者間ニ於ケル負債ノ金額、利率、償還期限、償還方法其ノ他ノ條件ノ緩和ニ關スル協定ノ斡旋
- 三、組合員ニ對スル負債整理資金ノ貸付
- 四、前各號ニ掲グルモノノ外組合員ノ負債整理ニ必要ナル事業

第八十二條ノ三 組合員負債整理ノ申出ヲ爲サントスル場合ニ於テハ誠實ニ負債ノ償還及經濟更生ニ努メ以テ負債整理ヲ爲スベキコトヲ誓約スルコトヲ要ス

第八十二條ノ四 理事ハ負債整理ヲ爲シタル組合員ヲシテ收支ノ記帳ヲ勵行セシメ常時其ノ業務ノ經營及家計ノ狀

況ヲ調査シ負債償還計畫及經濟更生計畫ノ實行ニ付指導督勵ヲ爲スモノトス

第八十二條ノ五 負債整理資金ノ貸付利率ハ年何分何厘以内トス

組合員負債整理資金ノ辨濟又ハ其ノ利息ノ支拂ヲ怠リタルトキハ百圓ニ付日歩何錢以内ノ遅延利息ヲ徵スルモノトス

第八十二條ノ六 第四十四條ノ規定ハ負債整理資金ノ貸付ノ場合ニ之ヲ準用ス

第八十二條ノ七 組合員第八十二條ノ三ノ誓約ニ違背シタルトキ若ハ第十八條ノ醸出又ハ勞務奉仕ヲ怠リタルトキハ過怠金ヲ徵スルコトヲ得

前項ノ過怠金ノ額及徵收ニ關スル規定ハ總會(總代會)ニ於テ別ニ之ヲ定ム

第八十二條ノ八 本組合ノ負債整理事業ニ關スル收入支出ハ他ノ事業ニ關スル會計ト區分シ之ヲ經理スルモノトス

第八十二條ノ九 負債整理資金ノ貸付ニ付テハ第八十三條ノ規定ニ拘ラズ事業分量ニ對スル配當ハ之ヲ爲サザルモノトス

第八十三條中「特別積立金」ヲ「特別積立金及負債整理特別積立金」ニ改ム

一三 庶民金庫業務ノ代理ニ關スル件

(其ノ他ノ金融關係參照)

(二) 中央機關定款及規約

一 産業組合中央會定款

明治	四	十	三	年	一	月	五	日
改	正	大	正	大	正	大	正	大
昭	和	十	八	七	五	十	九	六
和	和	十	八	七	五	十	九	六
五	三	二	二	二	二	二	二	二
年	年	年	年	年	年	年	年	年
八	五	五	四	四	五	五	六	五
月	月	月	月	月	月	月	月	月
月	月	月	月	月	月	月	月	月

第一章 總則

第一條 本會ハ産業組合及産業組合聯合會ノ普及、發達及聯絡ヲ圖ルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ産業組合中央會ト稱ス

第三條 本會ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク

第二章 會員

第四條 本會ノ會員ハ正會員及贊助會員ノ二種トス

正會員ハ産業組合及産業組合聯合會トス

附錄 産業組合中央會定款

贊助會員ハ本會ノ趣旨ヲ賛成シテ入會シタルモノトス

第五條 本會ノ會員タラムトスルモノハ會費ヲ添ヘ其ノ旨事務所ニ申込ムヘシ

第六條 會員ノ會費年額左ノ如シ

- 正會員 聯合會 參拾圓
- 贊助會員 參圓六拾錢

會員ハ少クトモ一箇年分ノ會費ヲ前納スルモノトス但別ニ定ムル所ニ依リ分納スルヲ妨ケス

第七條 會員ハ左ノ事由ニ因リ脱退ス

- 一 解散
- 二 死亡
- 三 除名

前項第一號ノ場合ニ於テハ清算人、第二號ノ場合ニ於テハ相續人ヨリ其ノ旨届出ツヘシ

第八條 會員脱退セムトスルトキハ其ノ事由ヲ記シ三箇月前ニ其ノ旨届出ツヘシ

第九條 會員ニシテ本會ノ目的ニ反スル行爲アルトキ又ハ會費ヲ滞納シタルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

但臨機急施ヲ要スル場合ニハ參與ニ諮リ理事之ヲ專行シ次期ノ總會ニ報告スヘシ

第十條 前三條ノ場合ニ於テモ既納ノ會費ハ之ヲ返付セ

第十一條 本會ハ理事會ノ決議ヲ經テ學識名望アル者又ハ本會ニ對シ功勞アル者ヲ名譽會員ニ推薦スルコトヲ

第十二條 本會ハ總會ノ決議ヲ經テ産業組合ノ發達ニ對シ偉大ノ功勞アル者ヲ名譽會頭ニ推薦スルコトヲ

第三章 資 産

第十三條 本會ニ基本財産ヲ置ク

- 一 會員ノ會費
- 二 有志家又ハ會員ノ寄附又ハ遺贈ニ係ル金錢及物品
- 三 本會ノ事業又ハ所有財産ヨリ生スル收入
- 四 國又ハ公共團體等ノ補助金又ハ交付金
- 五 其他ノ雜收入

第十四條 本會カ寄附金ヲ受ケタルトキハ用途ヲ指定シテ

第十五條 本會ノ總會ノ決議ヲ經ルニ非サレハ之ヲ處分スルコ

ルモノノ外之ヲ基本財産ニ組入ルルモノトス
第十六條 本會解散ノ場合ニ於ケル殘餘財産ノ處分ハ總會ニ於テ之ヲ決スヘシ

第四章 役 員

第十七條 本會ニ理事十二名以内、監事三名ヲ置ク

第十八條 會頭ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス
第十九條 會頭ハ會務ヲ補佐シ會頭事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十條 常務理事ハ會頭及副會頭ヲ補佐シテ會務ヲ掌理シ會頭副會頭共ニ事故アルトキハ之ヲ代理ス

第二十一條 理事ノ任期ハ三箇年トシ監事ノ任期ハ二箇年ト

ス但再選ヲ妨ケス
第二十二條 補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第二十三條 理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十四條 辭任其ノ他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ闕員ヲ生シタルトキハ通常總會ヲ待ツコト能ハサル場合ニ限り臨時總會ニ於テ補闕選舉ヲ行フヘシ

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉ヲ行フヘシ

第二十五條 理事及監事ハ名譽職トス但總會ノ決議ニ依リ理

事ノ一部ヲ有給ト爲スコトヲ得

第二十六條 理事及監事ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得

第二十七條 本會ニ參與二十名以内ヲ置ク
參與ハ會員中ヨリ會頭之ヲ囑託シ其ノ任期ハ三ヶ年トシ會務ニ參與ス

第二十八條 本會ニ主事、主事補及書記若干名ヲ置キ理事之ヲ選任ス

第二十九條 主事ハ理事ノ命ヲ受ケテ會務ヲ處理シ主事補ハ理事及主事ノ命ヲ承ケテ會務ニ從事シ書記ハ主事及主事補ノ命ヲ承ケテ庶務ニ從事ス

第三十條 參與ハ名譽職トシ主事、主事補及書記ハ有給トス

第三十一條 本會ニ講師若干名ヲ置キ會頭之ヲ囑託ス

第三十二條 講師ハ名譽職トシ會頭ノ依囑ヲ受ケテ調査指導ニ關スル事務ヲ掌ル

第三十三條 本會ニ顧問若干名ヲ置キ理事會ノ決議ヲ經テ會頭之ヲ囑託シ其ノ任期ハ一箇年トス

第三十四條 顧問ハ本會ノ事業ヲ援助シ會頭ノ諮問アルトキハ之ニ對フルモノトス

第五章 總 會

第三十五條 本會ノ總會ヲ組織スル代表者ハ其ノ選舉區域

毎ニ議決權五百以内ニ付各一人ヲ選舉シ五百以上五百ヲ加フル毎ニ一人ヲ加フ

第三十六條 前項ノ選舉ニ於テ多數ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者ト爲ス同數ノ場合ニハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第三十七條 會員ノ議決權ハ聯合會ニ在リテハ五箇、組合ニ在リテハ二箇、贊助會員ニ在リテハ一箇トス

第三十八條 代表者ノ選舉ハ理事ノ指定シタル會員ニ於テ之ヲ管理シ別ニ定ムル方法ニ從ヒ之ヲ行フ

第三十九條 管理者ハ選舉ノ狀況ヲ記録シ之ヲ理事ニ報告スヘシ

第四十條 代表者ノ任期ハ二箇年トス但再選ヲ妨ケス
代表者ニ闕員ヲ生シタルトキハ遲滞ナク補闕選舉ヲ行フモノトス

第四十一條 第十八條第二項第三項及第二十條第二項ノ規定ハ代表者ニ之ヲ準用ス

第四十二條 總會ハ通常總會及臨時總會ノ二種トス
通常總會ハ毎年一回四月又ハ五月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク
一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 監事カ産業組合法第九十二條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三 代表者ノ五分ノ一又ハ總議決權五分ノ一以上ニ當ル會員ヨリ會議ノ目的及招集ノ事由ヲ示シテ請求シタルトキ

第三十一條 總會ノ招集ハ少クトモ十日前ニ書面ヲ以テ代表者ニ之ヲ通知スヘシ
前項ノ通知書ニハ會議ノ目的タル事項ヲ示シ招集者ニ記名スヘシ

第三十二條 代表者ノ議決權ハ平等トス

第三十三條 總會ノ決議ハ出席シタル代表者ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス但理事及監事ノ選任、解任及定款ノ變更ノ決議ハ三分ノ二以上ノ同意アルコトヲ要ス

第三十四條 總會ニ於テハ第三十一條第二項ニ依リ豫メ通知ヲ爲シタル事項ニ付テノ決議ヲ爲スモノトス但出席代表者ノ三分ノ二以上ノ同意アルトキハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 本會ト或代表者トノ關係ニ付決議ヲ爲ス場合ニ於テハ其ノ代表者ハ議決權ヲ有セス

第三十六條 總會ノ議長ハ會頭又ハ副會頭若ハ常務理事ニ當ル會頭副會頭常務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ一人ニ代ル

第三十七條 總會ノ決議録ハ理事之ヲ作り議長、監事及代

表者又ハ會員二名之ニ記名捺印スヘシ
第三十八條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第三十九條 解散ノ決議ヲ爲サムトスルトキハ會員ノ總會ヲ招集ス

代表者ヲ以テ組織スル總會ニ關スル規定ハ前項ノ總會ニ之ヲ準用ス但其ノ決議ハ議決權二分ノ一以上ニ當ル會員出席シ議決權ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス
會員ハ他ノ會員ヲ代理人トシテ議決權ヲ行フコトヲ得
前項ノ代理人ハ二十人以上ヲ代理スルコトヲ得ス

第六章 代議員會

第四十條 總會ハ代表者中ヨリ代議員十名ヲ選舉ス

代議員ノ任期ハ代表者ノ任期ニ從フ但再選ヲ妨ケス
代議員ニ副員ヲ生シタルトキハ次ノ總會ニ於テ補闕選舉ヲ行フ

第十八條第二項第三項及第二十條第二項ノ規定ハ代議員ニ之ヲ準用ス

第四十一條 代議員ハ本會ノ豫算ヲ議決ス

臨時急施ヲ要スル事項ニ付テハ會頭ハ前項ノ規定ニ拘ラス理事會ノ決議ヲ經テ專決處分ヲ爲スコトヲ得此ノ場合ニ於テハ次ノ代議員會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムヘシ

第二部

一 肥料其ノ他理事ニ於テ定メタル物ヲ購買シテ之ヲ會員タル組合又ハ聯合會ニ賣却スルコト

二 生産品陳列所其ノ他理事ニ於テ定メタル物ヲ備へ之ヲ會員タル組合又ハ聯合會ニ使用セシムルコト

本會ハ官廳又ハ公共團體等ヨリ事業ノ囑託ヲ受ケタルトキハ理事ニ於テ之ヲ處理ス但次期ノ總會ニ報告スヘシ

第四十六條 前條第二部ノ事業施行方法ハ定款ニ規定アルモノノ外總會ノ承認ヲ經テ別ニ之ヲ定ム

第四十七條 理事ハ第二部ノ事業執行ニ關シテハ必要ニ應シ之ニ關係アル組合及聯合會ノミノ特別會議ヲ招集シ意見ヲ徵スルコトヲ得
特別會議ニ關スル細則ハ別ニ之ヲ定ム

第八章 支會

第四十八條 本會ハ事業執行上ノ便ヲ圖ル爲メ本定款ノ規定ニ依リ道府縣毎ニ支會ヲ設クルコトヲ得

第四十九條 支會ハ其ノ道府縣毎ニ議決權二分ノ一以上ニ當ル會員ノ同意アルニ非サレハ之ヲ設置セス
支會ノ設置區域内ニ於ケル會員ハ本定款ノ外支會會則ヲ遵守スヘシ

第五十條 支會ヲ設置セムトスルトキハ會員中ヨリ發起人

第四十二條 代議員會ハ會頭之ヲ招集ス

第四十三條 代議員會ノ決議ハ出席シタル代議員ノ過半数ヲ以テ之ヲ爲ス

第四十四條 第三十六條及第三十七條ノ規定ハ代議員會ニ之ヲ準用ス

第七章 事業

第四十五條 本會ニ於テ行フ事業左ノ如シ

第一部

一 産業組合及産業組合聯合會ノ設立ヲ獎勵斡旋スルコト

二 組合及聯合會ニ關シ指導ヲ爲スコト

三 組合及聯合會ニ關シ監査ヲ行フコト

四 組合及聯合會ニ關シ表彰ヲ行フコト

五 組合及聯合會相互ノ聯絡ヲ圖リ事業執行上ノ便宜ヲ與フルコト

六 組合及聯合會ニ關スル講習講話等ヲ行フコト

七 組合及聯合會ニ關スル調査ヲ行フコト

八 會員ノ質問ニ應スルコト

九 會報ヲ發行スルコト

十 組合及聯合會ニ關スル書籍ヲ發行スルコト

十一 前各號ノ外本會ノ目的ヲ達スルニ必要ナル事項

附錄 全國產業組合役職員共濟會定款及規程

五〇

ヲ指定シ其ノ發起人ヲシテ會則ヲ定メ同意者名簿ヲ添ヘ本會ノ承認ヲ受ケシム

第五十一條 支會ハ産業組合中央會何々支會ト稱ス

第五十二條 支會ニハ左ノ役員ヲ置ク

- 一 會長 一名
- 二 副會長 一名又ハ二名
- 三 其ノ他支會會則ヲ以テ定ムル役員

會長及副會長ハ本會ノ承認ヲ受クヘシ

第十七條ノ規定ハ會長及副會長ニ之ヲ準用ス

第五十三條 本會ハ何時ニテモ支會役員ノ改選ヲ命スルコトヲ得但次ノ總會ニ之ヲ報告スヘシ

第五十四條 支會ハ本會ヨリ交付スル經費ノ外會則ノ定ムル所ニヨリ特ニ其ノ區域内ニ於ケル會員ヨリ會費ヲ徵收スルコトヲ得

第五十五條 支會ハ毎年豫算ヲ作り本會ノ承認ヲ受クヘシ

支會ハ毎年會計年度終了後速ニ前年度ノ決算及會務ノ狀況ヲ本會ニ報告スヘシ

第五十六條 支會ハ本會ノ指揮ヲ拒ムコトヲ得ス

支會カ前項ノ規定ニ違背シタルトキハ本會ハ經費ノ交付ヲ停止シ又ハ支會ノ廢止ヲ行フコトヲ得

第九章 會計

第五十七條 本會ノ年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月

三十一日ニ終ルモノトス

第五十八條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

- 一 會員名簿
- 二 出納帳
- 三 財產臺帳
- 四 其ノ他必要ナル帳簿

第五十九條 會計ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

二 全國產業組合役職員共濟會 定款及規程

昭和十五年十月一日施行

總則

第一條 本會ハ産業組合役職員ノ共濟ヲ圖リ産業組合ノ發展ヲ期スルヲ以テ目的トス

第二條 本會ハ全國產業組合役職員共濟會ト稱ス

第三條 本會ハ本部ヲ産業組合中央會内ニ支部ヲ産業組合中央會道府縣支會内ニ置ク

第四條 本會ハ左記各號ニ該當スルモノヲ以テ組織ス

- 一、産業組合中央會、道府縣支會

補缺選舉ニヨリ就任シタル理事、監事ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第十二條 本會ニ評議員若干名ヲ置キ會長之ヲ委囑ス

評議員ハ決算其他重要ナル事項ニツキ審議ス

評議員ノ任期ハ二年トス

第十三條 本會ニ審査委員會ヲ置キ加入、脱退又ハ給與ニ關シ異議ノ申出アリタルトキハ之ヲ審査ス

審査委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第十四條 本會ノ總會ハ左ノ代表者ヲ以テ之ヲ開ク

- 一、産業組合中央會
- 二、産業組合中央會道府縣支會
- 三、産業組合中央金庫
- 四、産業組合監査聯合會
- 五、道府縣以上ヲ區域トスル産業組合聯合會
- 六、第四條第一項第四號ノ團體
- 七、各道府縣支會ノ推薦シタル其ノ區域内ノ會員ヲ代表スル者一名

前項第七號ノ代表者ノ任期ハ二年トス

通常總會ハ毎年一回四月又ハ五月之ヲ開ク

臨時總會ハ會長必要ト認ムルトキ之ヲ開ク

總會ノ通知ハ少クトモ七日以前ニ發送スルコトヲ要ス

附錄 全國產業組合役職員共濟會定款及規程

五一

二、産業組合中央金庫、産業組合監査聯合會

三、産業組合聯合會、産業組合

四、産業組合關係團體ニシテ理事會ノ承認シタルモノ

五、産業組合關係常務役職員

第五條 本會ニ賛助會員ヲ置ク

賛助會員ハ本會ノ趣旨ニ賛成シ寄附ヲナシタルモノトス

機關

第六條 本會ニ理事十五名以内及監事五名以内ヲ置ク

第七條 理事及監事ハ總會ニ於テ之ヲ選任ス 但理事中一名ハ産業組合中央會々頭トス

第八條 本會ニ會長一名副會長二名及常務理事一名ヲ置ク

會長ハ産業組合中央會々頭ヲ以テ之ニ充ツ

副會長及常務理事ハ理事ノ互選トス

第九條 會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ輔佐シ會長事故アルトキハ之ヲ代理ス

常務理事ハ會長及副會長ヲ輔佐シテ會務ヲ掌理シ會長、副會長共ニ事故アルトキハ之ヲ代表ス

第十條 監事ハ財産又ハ業務執行ノ狀況ヲ監査シ必要アリ

ト認ムルトキハ理事ニ對シ意見ヲ開陳スルモノトス

第十一條 理事及監事ノ任期ハ三年トス 但任期滿了後ト

雖モ後任者ノ就任スル迄其ノ任期ヲ伸長スルモノトス

第十五條 總會決議事項左ノ如シ

- 一、役員選任ニ關スル事項
- 二、決算ニ關スル事項
- 三、定款ニ關スル事項
- 四、給與金規程ニ關スル事項
- 五、其他重要ナル事項

第十六條 總會ノ議長ハ會長之ニ當リ會長事故アルトキハ副會長之ニ當ル

會長、副會長共ニ事故アルトキハ常務理事又ハ他ノ理事之ニ當ル

第十七條 總會ノ決議ハ出席者ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス

第十八條 總會ノ決議事項ハ議事録ヲ作成シ之ニ議長及出席者二名以上ノ署名ヲ要ス

事業

第十九條 本會ハ左記事業ヲ爲スモノトス

- 一、會員又ハ其ノ遺族ニ對シ左記各號ノ給與
- イ、退職給與金
- ロ、死亡給與金
- 二、共濟ニ必要ナル施設
- 三、總會ノ決議ヲ經タル事業

第二十條 本會ヨリ給與ヲ受クル者ハ第四條第五號ノ會員

ニシテ本會給與金規程ニ定メタル義務ヲ履行シタル常務役員タルコトヲ要ス

第二十一條 給與金規程其他必要ナル事項ハ別ニ之ヲ定ム

加入及脱退

第二十二條 本會ニ加入セントスルモノハ別ニ定ムル様式ニヨリ申込書ヲ提出スヘシ

第四條第五號ニ該當スル者ハ申込書ニ其ノ所屬團體代表者ノ連署ヲ受クヘシ

第二十三條 會員ハ左ノ事由ニ因リ脱退ス

- 一、退職
- 二、死亡
- 三、除名
- 四、資格ノ喪失

會員ハ前項ノ事由ニ因ルノ外正當ノ事由アル場合ニ於テハ本會ノ承認ヲ得テ脱退スルコトヲ得

第二十四條 會員ニシテ本會ノ目的ニ反シ又ハ義務違背ノ行爲アリタルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名スルコトヲ得

但急施ヲ要スル場合ハ理事ニ於テ專行シ總會ニ於テ承認ヲ求ムルモノトス

會計

第二十五條 本會々計年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年三月三十一日ヲ以テ終ル

第二十六條 會計ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第二十七條 共濟制度ノ基礎ヲ鞏固ニスル爲メ産業組合關係團體及篤志者ヨリ寄附ヲ受ケ基金ヲ造成スルモノトス

第二十八條 本會ニ基金及資金運用委員會ヲ置キ基金及資金ノ運用ニ關スル事項ヲ審議ス

基金及資金運用委員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第二十九條 定款ノ變更ハ總會ノ出席者三分ノ二以上ノ同意ヲ得ルニ非サレハ解散スルコトヲ得ス

第三十條 本會ハ總會ニ於テ代表者總數ノ四分ノ三以上ノ同意ヲ得ルニ非サレハ解散スルコトヲ得ス

審査委員會規程

第一條 加入、脱退又ハ給與ニ關シ異議ノ申出アリタル場合ハ會長之ヲ審査委員會ニ附議スルモノトス

第二條 審査委員會ハ七名トシ定款第十四條ニ規定セル代表者及學識經驗アル者ノ中ヨリ會長之ヲ委囑ス

審査委員ノ任期ハ二年トス

第三條 審査委員會ハ委員ノ半数以上出席シ過半数ヲ以テ決ス

基金及資金運用委員會規程

第一條 基金及資金運用委員會ハ基金及資金ノ運用ニ關シ會長ノ諮問ニ應スルモノトス

第二條 基金及資金運用委員會ハ委員七名ヨリ成ル委員會ノ議長ハ會長之ニ當ル

委員ハ定款第十四條ニ規定セル代表者及學識經驗アル者ノ中ヨリ會長之ヲ委囑ス

委員ノ任期ハ二年トス

第三條 會長ハ必要アル場合常任委員若干名ヲ置クコトヲ得

給與金規程

總則

第一條 本會ヨリ給與ヲ受クル會員ハ報酬又ハ給料ヲ受クル産業組合關係常務役員タルコトヲ要ス

前項ノ會員ハ入會ノ際所屬團體長ノ同意ヲ得連署ヲ以テ加入申込書ヲ會長宛ニ提出スヘシ

納付金

第二條 常務役員タル會員(以下單ニ會員ト稱ス)及其ノ所屬團體ハ毎月一口ニツキ左ノ金額ヲ本會ニ納ムルモノトス

イ、會員納付金

月壹圓

口、所屬團體納付金

月貳圓

合計一口

月參圓

加入申込書ニ連署シタル團體ハ其ノ役職員ニ係ル納付金ノ負擔ヲ拒ムコトヲ得ス

前項ノ納付金ハ毎月末日迄ニ所屬團體ニ於テ之ヲ取纏メ本會ニ納ムルモノトス

第三條 前條ノ會員ト所屬團體トノ納付金ノ負擔割合ハ特別ノ事由存スル場合ニ於テ之ヲ變更スルコトヲ得、但此ノ場合ニ於テハ其ノ旨ヲ申請シ本會ノ承認ヲ受クヘシ

第四條 會員ハ一口以上三口マデ申込ムコトヲ得

第五條 納付金ヲ滞納シタルトキハ其ノ延滞額ニ對シ日歩四錢以内ノ過怠金ヲ徴收ス

給與金

第六條 會員脫退シタルトキハ別表ニヨリ退職給與金ヲ支給スルモノトス

第七條 正當ノ理由ナクシテ脫退シタル者ニ對シテハ退職給與金定額ノ三分ノ一ヲ支給ス

會員ノ責ニ歸スヘキ事由ニヨリ三月分以上ノ納付金ヲ滞納シタル爲メ除名セラレタル場合ハ正當ノ理由ナク脱退シタルモノト看做スコトヲ得

第八條 定款第二十四條ニヨリ除名シタル會員ニ對シテハ

ノ順位ヲ左ノ如ク定ム

一、配偶者

二、直系卑屬

三、直系尊屬

四、戸主

五、兄弟姉妹

前項ノ規定ニ依ル同順位ノ遺族數人アルトキハ民法第九百七十條及民法第九百八十四條ノ規定ニ準シ其ノ順位ヲ定ム 會員死亡後出生ノ直系卑屬ハ會員死亡ノ時ヨリ引續キ其ノ家ニアリタルモノト看做ス

第十五條 給與金ハ之ヲ受クヘキ者其ノ事由ノ生シタル後二ケ年以内ニ請求セサルトキハ其ノ權利ヲ拋棄シタルモノト看做ス

第十六條 給與ヲ受クル權利ハ之ヲ讓渡シ又ハ擔保ニ供スルコトヲ得ス

第十七條 會員犯罪行為ニ因リ所屬團體ニ損害ヲ與ヘ脱退シタルトキ其ノ所屬團體ヨリ請求アリタル場合ハ給與金ヲ所屬團體ニ交付スルモノトス 但給與金ガ損害額ヲ超過スル場合ハ給與金ハ損害額ニ止ムルモノトス

第十八條 給與金規程ノ變更ニ付テハ定款變更ノ場合ニ準ス

給與金ヲ支給セサルコトヲ得 但前條第二項ノ場合ハ此ノ限ニ在ラス

第九條 會員死亡シタルトキハ第六條ノ退職給與金ト別表ノ死亡給與金トヲ併セ支給スルモノトス

第十條 本會ノ會計ニ餘裕ヲ生シタル場合ハ第六條及第九條ニ定ムル給與金ノ外ニ特別給與金ヲ支給スルコトヲ得

第十一條 在職年數ノ計算ハ加入ノ月ヨリ起算シ脱退ノ事由(除名ノ場合ニ於テハ其ノ事由)ノ生シタル月ヲ以テ終ルモノトス

應召其他ノ事由ニ因リ休職ヲ命セラレ納付金ヲ納メサル場合ハ休職期間ヲ控除シ前後ノ勤續年數ヲ通算スルモノトス

第十二條 會員轉任シタルトキ前後兩團體共本會々員ニシテ

繼續加入ノ手續ヲ爲シタル場合ハ在職年數ヲ通算ス

前項ノ場合ニ於テ就職ノ月ノ團體納付金ハ後ノ團體之ヲ負擔スルモノトス

第十三條 給與金ヲ受クヘキ事由發生シタルトキハ所屬團體長ノ連署ヲ以テ給與金請求書ヲ提出スヘシ 但當該會員死亡ノ場合ニアリテハ正當請求順位者ナルコトヲ證明スルニ足ル戸籍謄本其他ノ書類ヲ添附スヘシ

第十四條 會員死亡シタルトキ給與金ノ支給ヲ受クヘキ者

附則

第十九條 各道府縣ノ既存共濟施設ニ加入シ居ル者ニシテ本會ニ編入加入セントスル者ハ別表ノ編入所要金ヲ納メタル場合ニ限り本規程ニ依リ共濟ヲ受クルコトヲ得

給與金規程第六條、第九條及第十九條ニ定ムル別表

一、給與金額表

在職年數	口數	三		二		一	
		給與金	口	給與金	口	給與金	口
一年未滿		三納付金ノ一ノ				三納付金ノ一ノ	
一年以上		三一八	一八〇	二一二	一二〇	一〇六	六〇
二年以上		四三五	一八〇	二九〇	一二〇	一四五	六〇
三年以上		五六四	二四〇	三七六	一六〇	一八八	八〇
四年以上		六九六	二四〇	四六四	一六〇	二三二	八〇
五年以上		八四三	二四〇	五六二	一六〇	二八一	八〇
六年以上		九九六	二四〇	六六四	一六〇	三三二	八〇
七年以上		一一五五	二四〇	七七〇	一六〇	三八五	八〇
八年以上		一三二六	三〇〇	八八四	二〇〇	四四二	一〇〇
九年以上		一五〇三	三〇〇	一〇〇二	二〇〇	五〇一	一〇〇

二、編入所要金

在職年數	口數	編入所要金
十二年以上	一六八九	三〇〇
十一年以上	一八八七	三〇〇
十三年以上	二〇八八	三〇〇
十四年以上	二二〇四	三〇〇
十五年以上	二二二六	三〇〇
十六年以上	二二五二	三六〇
十七年以上	二二五四	三六〇
十八年以上	二二九四	三六〇
十九年以上	三二四〇	二一六〇
二十年以上	三四九八	二二六〇

在職年數	口數	三		二		一	
		所編所要金入	口	所編所要金入	口	所編所要金入	口
一年	一一四	七六	三八	一四七	八五八	四二九	
二年	二四〇	一六〇	八〇	一四八	九七二	四八六	

年	三	四	五	六	七	八
年	三八一	五一九	六六〇	八一〇	九六三	一一二二
年	二五四	三四六	四四〇	五四〇	六四二	七四八
年	一二七	一七三	二二〇	二七〇	三二一	三七四
年	一六三五	一八一八	二〇〇七	二二〇二	二四〇三	
年	一〇九〇	一二一二	一三三八	一四六八	一六〇二	
年	五四五	六〇六	六六九	七三四	八〇一	

注意 在職年數ハ既存ノ共済施設ノ在職年數ナリ

三 産業組合中央金庫定款

大正十二年七月十六日認可
 改正大正十三年七月五日
 大正十五年七月六日
 昭和四年六月七日
 昭和六年六月九日
 昭和七年十月十四日
 昭和十年十月二十四日
 昭和十二年三月三十一日
 昭和十三年七月一日
 昭和十五年七月四日

第一章 總 則

第一條 當金庫ハ大正十二年法律第四十二號産業組合中央

金庫法ニ依リ設立シ産業組合中央金庫ト稱ス

第二條 當金庫ハ産業組合中央金庫法ニ依リ左ノ業務ヲ行

- 一 所屬聯合會(所屬産業組合聯合會及所屬漁業組合聯合會)ヲ總稱ス以下之ニ同シ)又ハ所屬組合(所屬産業組合及所屬漁業協同組合)ヲ總稱ス以下之ニ同シ)ニ對シ擔保ヲ徵セスシテ五箇年以内ノ定期償還貸付ヲ爲スコト
- 二 所屬聯合會又ハ所屬組合ニ對シ擔保ヲ徵セスシテ三十箇年以内ノ年賦償還貸付ヲ爲スコト但シ其ノ金額ハ拂込出資金及産業債券發行額ノ二分ノ一ヲ超エサルモ

ノトス
 三 所屬聯合會又ハ所屬組合ニ對シ手形ノ割引又ハ當座預金貸越ヲ爲スコト

四 所屬聯合會又ハ所屬組合ノ爲ニ爲替業務ヲ爲スコト
 五 産業組合聯合會、産業組合、漁業組合聯合會、漁業組合、公共團體其ノ他營利ヲ目的トセサル法人ヨリ預リ金ヲ爲スコト

六 所屬聯合會又ハ所屬組合ノ爲ニ有價證券ノ保護預リヲ爲スコト
 七 所屬聯合會又ハ所屬組合ノ爲ニ有價證券ノ委託買賣ヲ爲スコト

八 其ノ他法律ニ依リ規定セラレタル當金庫ノ業務ヲ爲スコト
 當金庫ハ必要アリト認メタル場合ニ於テハ擔保ヲ徵シテ前項第一號乃至第三號ノ業務ヲ爲スコトヲ得

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法、農村負債整理資金特別融通及損失補償法又ハ臨時農村負債處理法ニ依ル特別融通ニ關シテハ前項ニ規定スル第一號第一號ノ規定中貸付年限及償還方法ニ關スルモノ並前項ニ規定スル第一號第二號但書ノ規定ハ之ヲ適用セス
 當金庫カ前項ノ特別融通以外ノ貸付ヲ爲ス場合ニ於テ前

項ノ特別融通ノ額及之ヲ爲ス爲發行スル産業債券ノ額ハ第一項第二號但書ノ制限ノ計算上之ヲ算入セス

第一項第二號但書ノ規定及第二項ニ規定スル第一項第二號但書ノ規定ハ當金庫カ政府資金ノ貸付ヲ爲ス場合ニハ之ヲ適用セス

前項ノ貸付金額及之ヲ爲ス爲發行スル産業債券ノ額ハ第一項第二號但書及第二項ニ規定スル第一項第二號但書ノ制限ノ計算上之ヲ算入セス

第三條 當金庫ノ組織ハ有責任トス
 第四條 當金庫ハ主タル事務所ヲ東京市ニ、從タル事務所ヲ大阪市、仙臺市、門司市及札幌市ニ置ク

當金庫ハ業務ノ都合ニ依リ各地方便宜ノ地ニ出張所ヲ置キ又ハ所屬聯合會ヲシテ業務ノ代理ヲ爲サシムルコトヲ得

第五條 當金庫ノ出資者ハ政府、産業組合聯合會、産業組合、漁業組合聯合會又ハ漁業協同組合ニ限ルモノトス

第六條 當金庫ノ存立期間ハ設立許可ノ日ヨリ五十箇年トス
 第七條 當金庫ノ公告ハ官報及産業組合中央會ノ發行スル會報ヲ以テ之ヲ爲ス

第八條 當金庫ノ財産ニ付出資者ノ有スル持分ハ左ノ標準

ニ依リ之ヲ定ム

一 資本金ニ對シテハ出資額ニ應シ之ヲ算定ス

二 準備金其ノ他ノ財産ニ對シテハ拂込濟出資額及拂込後ノ期間ニ應シ之ヲ算定ス此ノ場合ニ於テハ政府ノ出資ノ拂込ハ所屬聯合會及所屬組合ノ出資ノ拂込ト同一ノ方法ニ依リタルモノト看做シ大正十三年ノ増資ノ拂込ハ設立當初ノ出資ノ拂込ト看做ス
當金庫ノ財産カ資本金ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス

第九條 所屬聯合會及所屬組合ハ其ノ名稱又ハ事務所ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ當金庫ニ通知スルコトヲ要ス

第二章 出資及積立金

第十條 當金庫ノ資本金ハ三千五百七十萬圓トシ之ヲ三十五萬七千口ニ分チ一口ノ金額ヲ百圓トス

第十一條 政府ハ千五百萬圓ヲ當金庫ニ出資シ設立當初ニ於テ五百萬圓ヲ拂込ミ爾後毎年五百萬圓宛拂込ムモノトス

第十一條ノ二 政府ハ產業組合中央金庫法第六條ノ二第一項ノ規定ニ依リ二百五十萬圓ヲ當金庫ニ出資シ其ノ出資ニ對シ出資スヘキコトト爲リタル當初ニ於テ五十萬圓ヲ

拂込ミ爾後四箇年間に其ノ殘餘ヲ拂込ムモノトス

第十二條 所屬聯合會及所屬組合ノ出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付二十圓トス

第一回後ノ出資拂込ハ理事長ノ定ムル期日及方法ニ依リ第一回ノ拂込後十箇年間に之ヲ爲スヘキモノトス
出資ノ拂込ヲ終ル迄ハ配當スヘキ剩餘金ハ之ヲ其ノ拂込ニ充ツルモノトス

第十三條 前條ノ規定ハ増資ノ場合ニ於ケル出資拂込ニ付之ヲ準用ス

第十四條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後日歩四錢ノ遲延利息ヲ徴收ス

第十五條 當金庫ハ每事業年度ノ剩餘金ノ十分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十六條 (削除)

第十七條 當金庫ハ剩餘金ヨリ特別積立金、別途積立金及退職給與基金ヲ積立ツルコトヲ得

第十八條 準備金及特別積立金ハ損失填補ニ充ツルモノトス但シ特別積立金ハ總代會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ使用スルコトヲ得
別途積立金ハ債權ノ銷却ニ充ツルモノトス

第三章 役員

第十九條 當金庫ニ理事長、副理事長各一名理事三名以上

五名以下監事三名ヲ置ク

理事長、副理事長及理事ノ任期ハ五箇年監事ノ任期ハ三箇年トシ主務大臣之ヲ任命スルモノトス

第二十條 理事長ハ當金庫ノ事務ヲ總理シ當金庫ヲ代表ス副理事長ハ理事長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ理事長缺員ノトキ其ノ職務ヲ行フ

副理事長及理事ハ理事長ヲ補助シ理事長ノ定ムル所ニ從ヒ當金庫ノ業務ヲ掌理ス

監事ハ產業組合中央金庫ノ業務ヲ監査ス

第二十一條 理事長、副理事長、理事及監事ノ報酬ハ總代會ニ於テ之ヲ定ム

第二十二條 當金庫ニ評議員三十名以内ヲ置キ主務大臣之ヲ任命スルモノトス

評議員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ三箇年トス
評議員ハ當金庫ノ業務經營ニ關スル重要ナル事項ニ就キ理事長ノ諮問ニ應シ意見ヲ開陳スルモノトス
評議員ニ諮問スヘキ事項左ノ如シ

一 定款ノ變更

二 事業執行ニ關スル規則及其ノ他諸規則ノ制定及其ノ變更

三 出資拂込ノ時期及方法

四 產業債券ノ發行、償還ニ關スル事項

五 貸付及手形割引ニ關スル方針

六 預り金、貸付金ノ利率、手形割引ノ歩合並有價證券ノ保護預り及委託賣買ノ手数料率

七 擔保ノ種類

八 剩餘金ノ處分

九 其ノ他理事長ニ於テ必要ト認ムル事項
第二十三條 當金庫ノ使用人ハ理事長之ヲ任免ス

第四章 總代會及總會

第二十四條 當金庫ハ產業組合中央金庫法第七條及產業組合法第三十八條ノ二ニ依リ總代會ヲ設ク

第二十五條 總代會所屬漁業組合聯合會及所屬漁業協同組合ヲ除キタル出資者ニ在リテハ道府縣毎ニ、所屬漁業組合聯合會及所屬漁業協同組合ニ在リテハ別表ノ區域毎ニ之ヲ互選ス

前項ニ依リ選出スヘキ總代會員數ハ出資者百迄ニ付一トシ百ヲ加フル毎ニ一ヲ加フ但シ所屬漁業組合聯合會及所屬漁業協同組合ヨリ選出スヘキ總代會員數ハ別表ノ定ムル所ニ依ル

出資者ノ増減アリタル場合ニ於テモ現在總代ノ任期滿了

ニ至ル迄ハ其ノ員數ハ之ヲ變更セズ

總代ノ選舉ハ單記無記名トシ其ノ選出區域ニ於ケル出資者中ヨリ其ノ出資者數ヲ其ノ區域ニ於テ選出スヘキ總代ノ數ヲ以テ除シテ得タル數ノ三分ノ一以上ノ得票アリタル者ヲ當選者トス但シ當選者ノ數カ選出スヘキ總代ノ員數ヲ超過シタルトキハ其ノ得票數ノ多キ者ヨリ順次之ヲ定メ得票同數ノ者ニ付テハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第二十六條 總代ノ選舉ハ其ノ選出區域毎ニ理事長ノ指定シタル所屬聯合會又ハ所屬組合ノ理事之ヲ管理シ所屬聯合會又ハ所屬組合ノ理事中ヨリ管理者ノ指定シタル二人以上ノ立會人ノ立會ヲ以テ之ヲ行フ

第二十七條 總代選舉ノ方法ハ管理者ノ定ムル所ニ依ル管理者ハ總代選舉ノ狀況ヲ記録シ之ヲ理事長ニ報告スルコトヲ要ス

第二十八條 總代ノ任期ハ二箇年トス但シ再選ヲ妨ケス總代ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十九條 總代ニ缺員ヲ生シタルトキハ遲滞ナク補缺選舉ヲ爲スコトヲ要ス

補缺選舉ニ依リ就職シタル總代ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス第三十條 通常總代會ハ毎年四月又ハ五月之ヲ開ク臨時總

理事長ノ指定シタル理事之ニ代ル

監事ノ招集シタル總代會ノ議長ハ總代會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

第三十條 第三號ニ依ル總代會ノ議長ハ出席者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

第三十六條 總代ハ代理人ヲ以テ議決權ヲ行フコトヲ得但シ總代ニ非サレハ代理人タルコトヲ得ス

總代ハ三以上ノ總代ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス代理ノ委任ヲ受ケタル總代ハ代理權ヲ證スル書面ヲ當金庫ニ差出スコトヲ要ス

第三十七條 議長ハ總代會ノ決議録ヲ作り開會ノ日時、場所、會議ノ順末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十八條 總代會ノ議事ニ關スル細則ハ總代會ニ於テ之ヲ定ム

第三十九條 解散ノ決議ヲ爲サムトキハ總會ヲ招集ス前項ノ決議ハ出資者ノ半數以上出席シ其議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ爲ス

出席者ハ十以上ノ出資者ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ

代會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

- 一 理事長カ必要ト認メタルトキ
- 二 監事カ産業組合中央金庫法第七條及産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ
- 三 産業組合中央金庫法第七條及産業組合法第二十三條ニ依リ招集ノ請求アリタルトキ

第三十一條 總代會ノ招集ハ少クトモ三週間前ニ書面ヲ以テ總代ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者ノ氏名ヲ記載スルコトヲ要ス

第三十二條 總代ハ總代會ノ當日會議ヲ開ク前ニ出席者名簿ニ記名捺印シ代理ノ委任ヲ受ケタルモノハ其ノ旨ヲ附記スヘシ

第三十三條 總代會ノ決議ハ出席シタル總代ノ議決權ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

定款變更ノ決議ハ總代ノ半數以上出席シ其ノ議決權ノ四分ノ三以上ヲ以テ之ヲ爲ス

第三十四條 總代會ニ於テハ豫メ通知ヲ爲シタル事項ノ外決議ヲ爲スコトヲ得ス但シ急速ヲ要スル輕微ノ事項ニ付テハ此ノ限ニ在ラス

第三十五條 總代會ノ議長ハ理事長之ニ當ル理事長事故アルトキハ副理事長、理事長副理事長共ニ事故アルトキハ

得ス

總代會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス

第五章 事業ノ執行

第四十條 當金庫ノ事業年度ハ一箇年トシ毎年四月一日ヨリ翌年三月三十一日迄トス

第四十一條 所屬聯合會又ハ所屬組合カ定期又ハ年賦償還貸付ヲ受ケムトスルトキハ借入金額、用途、辨濟期限及所要時期ヲ定メ其ノ旨ヲ當金庫ニ申出ツルコトヲ要ス

第四十二條 前條ノ申出アリタルトキハ信用程度表ニ依リ信用ヲ査定シ又ハ事業及財産ノ實況ヲ調査シタル上貸付ノ諾否、金額及其ノ條件ヲ定ムルモノトス

第四十三條 當金庫ハ所屬聯合會又ハ所屬組合ヨリ當座預金貸越契約ノ申出アリタルトキハ極度金額ヲ定メ之ヲ締結スルモノトス

前條ノ規定ハ前項ノ場合ニ之ヲ準用ス

第四十四條 貸付金ノ辨濟ヲ怠リタルトキハ期日後日歩四錢以内ノ遅延利息ヲ徴收ス但シ其ノ割合ハ貸付ノ際契約ヲ以テ之ヲ定ム

天災又ハ避クヘカラサル事故ニ依リ辨濟スルコト能ハサルトキハ約定利息ト同率ノ遅延利息ヲ徴スルモノトス

第四十五條 當金庫ハ貸付ヲ爲シタル所屬聯合會又ハ所屬

金庫カ貸付契約ニ違背シタルトキハ償還期限前ト雖貸付組ノ償還ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十六條 貸付金ノ利率ハ主務大臣ノ認可ヲ經タル最高歩合ノ範圍内ニ於テ理事長之ヲ定ム

手形割引ノ歩合ハ理事長之ヲ定ム

第四十七條 當金庫ノ業務ノ代理ヲ委任スヘキ所屬聯合會ハ信用事業ヲ行フモノニ限ル

當金庫カ前項ノ委任ヲ爲ス場合ニ於テハ當該所屬聯合會ノ事業及財産ノ實況ヲ調査スルコトヲ要ス

第四十八條 當金庫ハ所屬聯合會ヲシテ貸付又ハ割引ヲ代理セシムル場合ニ於テハ其ノ所屬聯合會ヲシテ債務ノ保證ヲ爲サシムルコトヲ得

第四十九條 預リ金ノ利率並有價證券ノ保護預リ及委託賣買ノ手数料率ハ理事長之ヲ定ム

第五十條 業務上ノ餘裕金ハ左ノ方法ニ依ルノ外之ヲ運用セサルモノトス

- 一 國債證券、地方債證券又ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル有價證券ノ買入、應募又ハ引受ヲ爲スコト
- 二 大藏省預金部若ハ主務大臣ノ認可ヲ受ケタル銀行ヘノ預金又ハ郵便貯金ト爲スコト
- 三 産業組合聯合會、産業組合、漁業組合聯合會又ハ漁

業組合ニ對シ短期貸付ヲ爲スコト

四 産業組合聯合會、産業組合、漁業組合聯合會又ハ漁業組合ノ發達ヲ圖ル爲必要ナル施設ヲ行フ法人ニ對シ

主務大臣ノ認可ヲ受ケ短期貸付ヲ爲スコト

五 其ノ他法律ニ依リ規定セラレタル方法

第四十二條ノ規定ハ前項第三號及第四號ノ貸付ニ付之ヲ準用ス

第五十一條 事業執行ニ關スル諸規則ハ理事長之ヲ定ム

第六章 産業債券

第五十二條 當金庫ノ發行スル産業債券ハ券面金額ヲ五十圓以上トシ無記名利札付トス但シ應募者又ハ所有者ノ請求ニ依リ記名ト爲スコトヲ得

第五十三條 産業債券ノ發行高ハ拂込出資金額ノ十倍ヲ限リトス但シ貸付金現在高、割引手形現在高及其ノ所有ニ係ル有價證券現在高ヲ超過スルコトヲ得ス

産業債券借換ノ爲一時低利ノ産業債券ヲ發行スル場合ハ前項ノ制限ニ依ラサルコトヲ得

前項ノ規定ニ依リ産業債券ヲ發行シタルトキハ發行後一箇月以内ニ抽籤ヲ以テ其ノ發行券面金額ニ相當スル舊産業債券ヲ償還スルモノトス

産業組合中央金庫特別融通及損失補償法、農村負債整理

資金特別融通及損失補償法又ハ臨時農村負債處理法ニ依ル特別融通ヲ爲ス爲必要アルトキハ第一項ノ制限ニ拘ラズ産業債券ヲ發行スルコトヲ得

當金庫カ前項ノ特別融通以外ノ貸付及手形割引ヲ爲ス爲産業債券ヲ發行スル場合ニ於テ特別融通ノ額及之ヲ爲ス爲發行スル産業債券ノ額ハ第一項ノ制限ノ計算上之ヲ算入セス

第五十四條 産業債券ノ償還期限ハ其ノ發行後三十五箇年以内トス

第五十五條 産業債券ノ償還又ハ賣出ノ方法ニ依ル産業債券ノ發行ニ關シ必要ナル事項ハ豫メ之ヲ公告ス

第五十六條 無記名産業債券ヲ記名ト爲シ又ハ記名産業債券ヲ無記名ト爲スニハ其ノ請求書ニ債券ヲ添ヘ當金庫ニ差出スコトヲ要ス

記名産業債券ノ名義書換ヲ爲スニハ讓渡人及讓受人雙方ノ記名捺印セル請求書ニ債券ヲ添ヘ當金庫ニ差出スコトヲ要ス

相續、遺贈、競賣等ニ因リ記名産業債券ヲ取得シタル場合ニ於テ前項ノ規定ニ依ルコト能ハサルトキハ其ノ取得ヲ證スル書面ヲ添ヘ名義書換ヲ當金庫ニ請求スルコトヲ要ス

無記名産業債券ヲ記名ト爲ス旨ノ請求アリタルトキハ當金庫ハ之ニ記名紙ヲ貼付シ其ノ手續ヲ了シタル上理事長證明シテ請求者ニ還付ス

前項ノ規定ハ記名産業債券ノ名義書換ニ付之ヲ準用ス

記名産業債券ヲ無記名ト爲ス旨ノ請求アリタルトキハ當金庫ハ之ト同一番號ノ無記名新債券ヲ交付スルモノトス

第五十七條 當金庫ハ無記名産業債券又ハ利札ヲ滅失シ、紛失シ若ハ盜取セラレタル者アル場合ニ於テ公示催告手續ニ依リ除權判決ヲ受ケタル後ニ非サレハ代債券ヲ交付セサルモノトス但シ滅失ノ場合ニ於テ其ノ證據判明ナルモノニ付テハ特ニ第五十九條ノ規定ヲ準用スルコトヲ得

第五十八條 記名産業債券災害ニ罹リ滅失シタルトキハ所有者ハ其ノ事由、金額及番號ヲ詳記シ二名以上ノ保證人ヲ立テ當金庫ニ届出テ代債券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ受ケタルトキハ當金庫ハ其ノ證據判明ナルモノニ限り代債券ヲ交付ス其ノ證據判明ナラサルモノニ付テハ紛失ノ例ニ依ル

第五十九條 記名産業債券ヲ紛失シ又ハ盜取セラレタルトキハ所有者ハ其ノ事由、金額及番號ヲ詳記シ其ノ旨ヲ當金庫ニ届出テ代債券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

ヲ以テ其ノ旨ヲ公告シ一箇月以内ニ其ノ産業債券ヲ發見シタル旨ノ届出ナキトキハ二名以上ノ保證人ヲ立テシメ代債券ヲ交付ス

第六十條 滅失、紛失又ハ盜取ノ届出アリタル記名産業債券ニ關シ異議ノ申立ヲ爲ス者アルトキハ當金庫ハ管轄裁判所ノ判決確定ノ後ニ非サルハ代債券ヲ交付セス

第六十一條 産業債券汚染又ハ毀損シタルトキハ所有者ハ其ノ事由ヲ詳記シ其ノ債券ヲ添ヘ當金庫ニ差出シ代債券ノ交付ヲ請求スルコトヲ得

前項ノ請求ヲ受ケ其ノ債券ヲ審査シ真正ナリト認ムルトキハ當金庫ハ代債券ヲ交付ス其ノ真正ナルコトヲ鑑別シ難キモノハ紛失ノ例ニ依ル

第六十二條 記名産業債券ヲ無記名ニ、無記名産業債券ヲ記名ニ書換ヲ爲ス場合又ハ滅失シ、紛失シ、盜取セラレ若ハ汚染毀損シタル等ノ爲代債券ヲ交付スル場合ニ於テハ請求者ヨリ債券一通ニ付三十錢ノ手数料ヲ徴收ス

記名産業債券ノ名義書換ヲ爲ス場合ニ於テハ請求人ヨリ債券一通ニ付十五錢ノ手数料ヲ徴收ス

第七章 剩餘金處分及損失填補
第六十三條 剩餘金ハ左ノ方法ニ依リ主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ處分スルモノトス

- 一 準備金
- 二 特別積立金
- 三 別途積立金
- 四 退職給與基金
- 五 役員賞與金
- 六 特別配當金
- 七 剩餘金ヨリ前六號ノ金額ヲ引去リタル殘額ハ之ヲ出資ニ對シ配當シ又ハ後年度繰越金ト爲スヘシ但シ別途積立金及役員賞與金ハ場合ニ依リ之ヲ引去ラサルコトヲ得

第六十四條 剩餘金ノ配當ハ拂込済出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス但シ準備金ノ額カ出資總額ノ四分ノ一ニ達シタルトキハ年八分迄之ヲ増加スルコトヲ得

剩餘金ノ特別配當ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度内ニ於テ當金庫ヨリ所屬聯合會及所屬組合ニ支拂ヒタル預リ金ノ利息並所屬聯合會及所屬組合カ當金庫ニ支拂ヒタル利息及割引料ヲ標準トシテ之ヲ定ムルモノトス

配當又ハ特別配當ハ一圓未満ノ金額ニ對シテハ之ヲ爲ササルモノトス
役員賞與金ハ剩餘金ノ十分ノ一ヲ超ユルコトヲ得ス
第六十五條 政府ノ出資ニ對シテハ每事業年度ニ於ケル出

資ニ對シ配當シ得ヘキ剩餘金額カ所屬聯合會及所屬組合ノ拂込済出資額ニ對シ年四分ノ割合ニ達スル迄剩餘金ノ配當ヲ爲ササルモノトス

當金庫ノ每事業年度ニ於ケル出資ニ對シ配當シ得ヘキ剩餘金額カ所屬聯合會及所屬組合ノ拂込済出資額ニ對シ年四分ノ割合ヲ超過スル場合ニ於テ所屬聯合會及所屬組合ニ對シ年四分ノ割合ヲ超エ剩餘金配當ヲ爲サムトスルト

キハ其ノ超過スル剩餘金額ハ剩餘金配當額カ總拂込済出資額ニ對シ均一ノ割合ニ達スル迄所屬聯合會及所屬組合ノ拂込済出資額及政府ノ拂込済出資額ニ對シ一ト三トノ割合ヲ以テ之ヲ配當スルモノトス

第六十六條 損失ノ填補ハ先ツ特別積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス

第八章 加入、増口、持分讓渡及脱退

第六十七條 新ニ當金庫ニ加入シ又ハ増口セムトスル産業組合聯合會、産業組合、漁業組合聯合會又ハ漁業協同組合ハ毎年二月末日迄ニ其ノ出資口數ヲ理事長ニ申出ツルコトヲ要ス

前項ノ申出口數相當數ニ達シタルトキハ理事長ハ増加スヘキ資本金額ヲ豫定シ増資案ヲ通常總代會ニ提出スルモノトス

附 錄 産業組合中央金庫定款

第六十八條 増資ノ決議アリタルトキハ政府ノ認可ヲ經テ産業組合聯合會、産業組合、漁業組合聯合會又ハ漁業協同組合ヨリ申込書ヲ徴シ其ノ引受口數ヲ定メ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後出資者名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入及増口ノ效力ハ出資第一回ノ拂込ノ完了ト同時ニ發生スルモノトス
申込書ニハ其ノ引受クヘキ出資口數、申込者ノ名稱及住所ヲ記載スルコトヲ要ス

第六十九條 持分ヲ讓渡セムトスル場合ニ於テハ讓渡者及讓受者ノ連署ヲ以テ理事長ノ承認ヲ經ルコトヲ要ス
前項ノ場合ニ於テハ直ニ出資者名簿ノ記載ヲ更正スルコトヲ要ス

第七十條 所屬聯合會又ハ所屬組合ハ持分ノ讓渡ニ依リテノミ脱退スルコトヲ得

第九章 雜 則

第七十一條 當金庫ノ業務取扱時間ハ午前九時ヨリ午後三時三十分迄トス但シ土曜日ニ限リ午前十二時迄トス
前項ノ業務取扱時間ハ業務ノ都合ニ依リ之ヲ延長スルコトアルヘシ
休業日ハ祭日、祝日、日曜日其ノ他當金庫事務所所在地

附 錄 産業組合中央金庫定款

ニ行ハルル一般ノ休日トシ必要アル場合ニ於テハ豫メ公
告ノ上臨時休業ヲ爲スコトアルヘシ

附 則

- 第七十二條 當金庫設立初度ノ理事長、副理事長、理事及
監事ノ報酬ハ設立委員之ヲ定ム
- 第七十三條 當金庫設立初度ノ總代ハ創立總會終了ノ日ヨ
リ二箇月内ニ之ヲ選舉シ大正十四年三月之ヲ改選ス
- 第七十四條 理事長ハ前條總代選舉終了ノ日ヨリ一箇月内
ニ第一回總代會招集ノ手續ヲ爲スヘシ
- 第七十五條 當金庫ノ負擔ニ歸スヘキ設立費用ノ限度ハ二
萬圓トス

附 則

産業組合中央金庫法第四條ノ二及第五條ノ改正規定施行セ
ラレタルトキハ漁業組合聯合會又ハ漁業協同組合ヨリ申込
書ヲ徵シ其ノ引受口數ヲ定メ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメ
タル後出資者名簿ニ記載スルコトヲ要ス
加入ノ效力ハ出資第一回ノ拂込ノ完了ト同時ニ發生スルモ
ノトス
申込書ニハ其ノ引受クヘキ出資口數、申込者ノ名稱及住所
ヲ記載スルコトヲ要ス
所屬漁業組合聯合會及所屬漁業協同組合初度ノ總代ハ産業

四 産業組合監査聯合會定款

昭和十四年四月一日認可

第一章 總 則

- 第一條 本會ハ左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス
 - 一 會員タル産業組合及産業組合聯合會ノ監査
 - 二 會員タル産業組合及産業組合聯合會ニ於ケル監査事
務ノ指導
 - 三 其ノ他産業組合及産業組合聯合會ノ監査ニ關シ必要
ナル事業
- 第二條 本會ハ産業組合監査聯合會ト稱ス
- 第三條 本會ハ主タル事務所ヲ東京市ニ置ク
- 第四條 本會ノ公告ハ官報及中央産業組合新聞ヲ以テ之ヲ
爲ス

第二章 會 員

- 第五條 本會ノ會員タルコトヲ得ル者ハ産業組合、産業組
合聯合會、産業組合中央會及産業組合中央金庫トス
- 第六條 本會ニ加入セントスル者ハ加入申込書ニ住所、名
稱及代表者ノ氏名ヲ記載シ本會ニ差出スコトヲ要ス
本會前項ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨ヲ申込者ニ通
知シ遲滞ナク會員名簿ニ記載スルモノトス

附 錄 産業組合監査聯合會定款

組合中央金庫法第四條ノ二及第五條ノ改正規定施行ノ日ヨ
リ二箇月内ニ之ヲ選舉シ其ノ任期ハ昭和十四年三月九日迄
トス
(別表)

選 出 區 域	員 數
第一區 北海道	二
第二區 青森 岩手 宮城 秋田 山形 福島	三
第三區 茨城 栃木 群馬 埼玉 千葉 東京 神奈川	二
第四區 新潟 富山 石川 福井 山梨 長野 岐阜	一
第五區 靜岡 愛知 三重	二
第六區 滋賀 京都 大阪 兵庫 奈良 和歌山	二
第七區 鳥取 島根 岡山 廣島 山口	二
第八區 德島 香川 愛媛 高知	二
第九區 福岡 佐賀 長崎 熊本 大分 宮崎 鹿兒島 沖 繩	三
計	十九

會員ハ第一項ノ加入申込書ニ記載シタル事項ニ變更ヲ生
ジタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ本會ニ届出ヅルコトヲ要
ス

第七條 會員ハ別ニ定ムル規程ニ依リ經費ヲ負擔スルコト
ヲ要ス

第八條 會員合併ニ因リ解散シタルトキハ合併後存続シ若
ハ合併ニ因リ設立シタル産業組合又ハ産業組合聯合會ニ
於テ其ノ會員タル地位ヲ承繼スルモノトス

會員解散又ハ合併シタルトキハ遲滞ナク其ノ旨ヲ本會ニ
届出ヅルコトヲ要ス

第九條 會員ハ其ノ解散ノ場合ヲ除クノ外脱退スルコトヲ
得ズ

第三章 役員及職員

第十條 本會ニ會長常務理事各一人、理事三人以上五人以
下及監事三人ヲ置ク
會長、常務理事及理事ノ任期ハ五年、監事ノ任期ハ三年
トシ主務大臣之ヲ任命スルモノトス

第十一條 會長ハ本會ヲ代表シ本會ノ業務ヲ總理ス

常務理事ハ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理シ會長缺
員ノトキハ其ノ職務ヲ行フ

常務理事及理事ハ會長ヲ輔佐シ會長ノ定ムル所ニ依リ本

會ノ業務ヲ分掌ス

監事ハ本會ノ業務ヲ監査ス

第十二條 會長及常務理事ニハ報酬ヲ支給スルモノトス
理事及監事ハ名譽職トス

第十三條 本會ニ評議員二十人以内ヲ置キ主務大臣之ヲ任命スルモノトス

評議員ハ名譽職トシ其ノ任期ハ三年トス

評議員ハ業務執行ニ關スル重要ナル事項ニ付會長ノ諮問

ニ應ジ必要アルトキハ之ニ對シ意見ヲ述ブルモノトス

評議員ニ諮問スベキ事項左ノ如シ

一 收支ノ豫算

二 經費ノ分賦收入方法及手数料ノ徴收方法

三 財産目錄、事業報告及收支決算

四 借入金(一時借入金ヲ除ク)

五 定款ノ變更

六 資産ノ管理及會計ニ關スル規程

七 監査規程

八 産業組合監査員ノ資格、服務及給與ニ關スル規程

九 會長及常務理事ノ報酬

十 産業組合監査員ノ懲戒

十一 其ノ他會長ニ於テ必要ト認ムル事項

第十四條 本會ニ參事五人以内ヲ置キ會長之ヲ委囑ス

參事ハ名譽職トシ其ノ任期ハ三年トス

參事ハ本會ノ業務ニ參與ス

第十五條 理事、監事、評議員及參事ニハ手當ヲ支給スルコトヲ得

第十六條 本會ニ産業組合監査員ヲ置キ會長之ヲ免任ス

産業組合監査員ハ會長、常務理事又ハ理事ノ指揮ニ從ヒ

監査ニ關スル事務ニ從事ス

産業組合監査員ノ資格、服務及給與ニ關スル規程ハ會長

之ヲ定ム

第十七條 本會ニ主事、主事補、書記其ノ他ノ職員ヲ置キ

會長之ヲ任免ス

主事ハ會長、常務理事、理事又ハ監事ノ指揮ニ從ヒ本會

ノ業務ヲ處理シ主事補及書記ハ會長、常務理事、理事、

監事、産業組合監査員又ハ主事ノ命ヲ承ケテ本會ノ業務

ニ從事ス

第四章 總代會

第十八條 本會ニ總代會ヲ設ク

第十九條 總代ノ員數ハ道府縣毎ニ一人トシ會員之ヲ互選

ス

總代ハ選舉ニ於テ多數ノ同意ヲ得タル者ヲ以テ當選者ト

爲ス同數ノ場合ニ於テハ抽籤ヲ以テ之ヲ定ム

第二十條 總代ノ選舉ハ道府縣毎ニ會員タル産業組合又ハ

産業組合聯合會ノ理事中ヨリ會長ノ指定スル者ノ管理ニ

依リ之ヲ行フ

第二十一條 總代選舉ノ方法ハ管理者ノ定ムル所ニ依ル

管理者ハ總代選舉ノ狀況ヲ記録シ之ヲ會長ニ報告スルコ

トヲ要ス

第二十二條 總代ノ任期ハ三年トス但シ再選ヲ妨ゲズ

總代ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其ノ職務ヲ

行フモノトス

第二十三條 總代ニ缺員ヲ生ジタルトキハ遲滞ナク補闕選

舉ヲ行フコトヲ要ス

補闕選舉ニ依リ就職シタル總代ハ前任者ノ任期ヲ繼承ス

第二十四條 通常總代會ハ毎年一回四月又ハ五月之ヲ招集

ス臨時總代會ハ會長左ノ場合ニ於テ之ヲ招集ス

一 會長必要ト認メタルトキ

二 監事ガ産業組合自治監査法施行令第三十二條ノ規定

ニ依リ準用スル民法第五十九條ノ規定ニ依リ必要ト認

メタルトキ

第二十五條 總代會ノ招集ハ少クトモ十日日前ニ書面ヲ以テ

各總代ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ會議ノ目的タル事項、日時、場所及招

集者ノ氏名ヲ記載スルコトヲ要ス

第二十六條 總代會ノ議決ヲ經ベキ事項ニ關シ臨時急施ヲ

要スル場合ニ於テ總代會成立セザルトキ又ハ之ヲ招集ス

ルノ暇ナキトキハ會長主務大臣ノ認可ヲ受ケ之ヲ專決處

分スルコトヲ得

前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總代會ニ之ヲ報告スルコ

トヲ要ス

第二十七條 總代ハ總代會ノ當日會議ヲ開ク前ニ出席者名

簿ニ記名捺印シ代理ノ委任ヲ受ケタル者ハ其ノ旨ヲ附記

スベシ

第二十八條 總代會ノ議決ハ出席シタル總代ノ議決權ノ過

半數ヲ以テ之ヲ爲ス

第二十九條 總代會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ノ外議決

ヲ爲スコトヲ得ズ但シ緊急ヲ要スル輕微ノ事項ニ付テハ

此ノ限ニ在ラズ

第三十條 總代ハ他ノ總代ニ委任シテ議決權ヲ行フコトヲ

得此ノ場合ニ於テハ其ノ總代ハ出席者ト看做ス

總代ハ三以上ノ總代ノ委任ヲ受ケ議決權ヲ行フコトヲ得

ズ

第三十一條 總代會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルト

第一項ノ受任者ハ委任狀ヲ本會ニ差出スコトヲ要ス

附錄 産業組合監査聯合會定款

キハ常務理事之ニ代ル
 會長及常務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ一人之ニ代ル
 監事ノ招集シタル總代會ノ議長ハ總代會ヲ招集シタル監
 事之ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル
 第三十二條 議長ハ總代會ノ決議ヲ作り開會ノ日時、場
 所、會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス
 決議録ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二人以上之ニ
 署名又ハ記名捺印スルコトヲ要ス
 第三十三條 總代會ノ議事ニ關スル細則ハ總代會ニ於テ之
 ヲ定ム

第五章 業務執行

第三十四條 監査ハ監査規程及監査計畫ノ定ムル所ニ依リ
 之ヲ行フモノトス
 監査計畫ハ每事業年度會長之ヲ定ム
 第三十五條 會員ヨリ監査ノ申出アリタルトキハ本會ハ監
 査計畫ノ施行上支障ナキ限リ監査ヲ行フモノトス
 前項ノ規定ニ依リ監査ヲ行フ場合ニ於テハ本會ハ別ニ定
 ムル所ニ依リ手数料ヲ徵スルコトアルベシ
 第三十六條 産業組合監査員ハ監査ニ際シ産業組合自治監
 査法施行規則第六條ハ規定ニ依ル産業組合監査員證ヲ携
 帶スルモノトス

第三十七條 本會ハ監査ヲ爲シタル産業組合又ハ産業組合
 聯合會ニ對シ監査書ヲ交付スルモノトス
 監査ヲ受ケタル産業組合又ハ産業組合聯合會ヨリ申出ア
 リタルトキハ本會ハ別ニ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵シテ
 前項ノ監査書ノ寫ヲ交付スルモノトス
 第三十八條 本會ハ本會ガ主務大臣ノ承認ヲ受ケタル者ニ
 對シ監査書ノ寫又ハ監査報告書ノ寫ヲ交附スルコトヲ得
 ルモノトス
 第三十九條 監査事務ノ指導ハ本會必要アリト認ムルトキ
 又ハ會員ヨリ申出アリタルトキ之ヲ行フモノトス
 會員ヨリノ申出ニ依ル指導ヲ行フ場合ニ於テハ本會ハ別
 ニ定ムル所ニ依リ手数料ヲ徵スルコトアルベシ
 第四十條 本會ハ監査ニ關スル講習、講話、調査其ノ他必
 要ナル事業ヲ行フモノトス
 第四十一條 事業執行ニ關スル細則ハ會長之ヲ定ム
 第四十二條 本會ノ事業年度ハ毎年四月一日ニ始マリ翌年
 三月三十一日ニ終ルモノトス
 第四十三條 本會ノ資産ハ會員ノ負擔金、手数料、寄附金
 補助金、交付金及雜收入ヨリ成ルモノトス
 資産ノ管理及會計ニ關スル規程ハ會長之ヲ定ム

第六章 資産及會計

二 所屬聯合會又ハ所屬組合ノ販賣スル物ニ加工シ又ハ
 加工セスシテ之ヲ販賣、輸出又ハ移出スルコト
 三 農業倉庫業法ニ依リ聯合農業倉庫ノ經營ヲ爲スコト
 四 前各號ノ事業執行上必要ナル事業ヲ爲スコト
 第二條 本會ハ保證責任全國購買販賣組合聯合會ト稱ス
 第三條 本會ノ組織ハ保證責任トス
 保證金額ハ出資一口ニ付一千圓トス
 第四條 本會ハ全國ヲ以テ區域トス
 第五條 本會ハ主タル事務所ヲ東京市ニ、從タル事務所ヲ
 東京市、大阪市及門司市ニ置ク
 第六條 聯合會原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ届出又ハ聯
 合會原簿ノ提出ハ毎年七月三十一日ニ取纏メテ其ノ後二
 週間内ニ之ヲ爲ス
 第七條 本會ノ公告ハ官報ニ掲載シテ之ヲ爲ス
 第八條 本會ハ産業組合聯合會及産業組合ヲ以テ之ヲ構成
 ス
 第九條 本會ノ財産ニ對スル所屬聯合會及所屬組合ノ持分
 ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム
 一 出資金ニ對シテハ出資額ニ應ジ算定ス
 二 準備金ニ對シテハ本會解散當時ノ所屬聯合會及所屬
 組合ニ限り持分ヲ有シ其ノ算定ハ拂込濟出資累計額ニ

第七章 解 散

第四十四條 本會解散シタルトキハ會長其ノ清算人ト爲ル
 第四十五條 本會解散ノ場合ニ於ケル殘餘財産ノ處分ハ總
 代會ニ於テ之ヲ決スルモノトス
 第二十八條第二項ノ規定ハ前項ノ議決ニ之ヲ準用ス

附 則

第四十六條 本會設立ノ際現ニ社團法人産業組合監査聯合
 會ノ會員タリシ者ハ第六條ノ規定ニ拘ラズ同會ノ理事タ
 リシ者ヨリ其ノ會員名簿ヲ本會ニ提出アリタルトキハ本
 會ノ會員タルモノトス

五 保證全國購買販賣組合聯合會

定款

昭和十六年一月一日認可

第一章 總 則

第一條 本會ハ國家目的達成ノ爲産業組合ニ課セラレタル
 責務ヲ分擔スルコトヲ以テ經營ノ本義トシ左ノ事業ヲ行
 フモノトス
 一 所屬聯合會又ハ所屬組合ノ購買スル物ヲ買入レ之ニ
 加工シ若ハ加工セスシテ又ハ之ヲ生産シテ所屬聯合會
 又ハ所屬組合ニ賣却スルコト

附 錄 保證責任全國購買販賣組合聯合會定款

應スルモノトス

三 其ノ他ノ財産ニ對シテハ本會解散當時ノ所屬聯合會及所屬組合ニ限リ持分ヲ有シ其ノ割合ハ平等トス
本會ノ財産カ出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應ジ持分ヲ算定ス

第十條 所屬聯合會及所屬組合其ノ名稱及事務所ヲ變更シタルトキハ遲滞ナク之ヲ本會ニ通知スルコトヲ要ス

第二章 出資及積立金

第十一條 出資一口ノ金額ハ一千圓トス

所屬聯合會及所屬組合ハ五百口迄ノ出資ヲ爲スコトヲ得

第十二條 第一回ノ出資拂込金額ハ一口ニ付百圓トス

所屬聯合會及所屬組合ハ前項ノ金額ヲ超エテ任意ニ拂込ヲ爲スコトヲ得

第十三條 第二回以後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ

拂込ニ充ツルモノヲ除クノ外第一回ノ出資拂込ノ年ノ翌年ヨリ出資一口ニ付毎年十二月二十日迄ニ百圓ヲ拂込モノトス

前條第二項ノ規定ハ前項ノ拂込ニ之ヲ準用ス

第十四條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ其ノ期日後一日ニ

付拂込ヘキ金額ノ二千分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收スルモノトス

ノトス

保險積立金ハ取扱物品ノ自家保險ニ充ツルモノトス

退職積立金及退職手當法ニ依ル積立金ハ退職積立金及退職手當規程ニ依ル職工ノ退職給與金ニ充ツルモノトス

第十九條 役員退職給與積立金及保險積立金ノ積立及處分ニ關スル規程並ニ退職積立金及退職手當規程ハ理事之ヲ定ム

第二十條 輸出振興留保金並ニ退職積立金及退職手當法ニ依ル積立金ハ他ノ財産ト分別シテ之ヲ計理スルモノトス
前項以外ノ積立金ハ總代會ノ決議ヲ經テ之ヲ事業資金ニ融通スルコトヲ得

第三章 機關

第二十一條 本會ニ理事二十人及監事五人ヲ置ク
理事ハ會長一人、專務理事二人以内及常務理事十人以内ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス會長事故アルトキハ互選ニ依リ專務理事ノ一人之ニ代リ會長專務理事共ニ事故アルトキハ互選ニ依リ常務理事ノ一人之ニ代リ

專務理事ハ會長ヲ輔佐シ會務ヲ掌理ス

常務理事ハ會長及專務理事ヲ輔佐シ會務ヲ分掌ス

監事ハ常任監事一人ヲ互選スルコトヲ得

附錄 保證責任全國購買販賣組合聯合會定款

第十五條 本會ハ出資總額ト同額ニ達スル迄毎年事業年度ノ剩餘金ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

第十六條 過怠金及拂戻ヲ爲ササル持分額ハ之ヲ準備金ニ繰入ルルモノトス

第十七條 本會ハ剩餘金ヨリ特別積立金及輸出振興留保金ヲ積立ツルコトヲ得

本會ハ工場、聯合農業倉庫其ノ他ノ設備ニ對シ政府ヨリ補助金ヲ受ケタルトキハ之ヲ固定設備銷却積立金トシテ積立ツルモノトス

本會ハ經費ヨリ役員退職給與積立金及保險積立金ヲ積立ツルコトヲ得

本會ハ退職積立金及退職手當法ニ依ル積立金ヲ積立ツルモノトス

第十八條 準備金及特別積立金ハ損失ノ填補ニ充ツルモノトス但シ特別積立金ハ總代會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得

輸出振興留保金ハ輸出振興ノ爲必要ナル資金ニ充ツルモノトス

固定設備銷却積立金ハ之ヲ積立テタル當該固定設備ノ減價銷却ニ充ツルモノトス

役員退職給與積立金ハ役員ノ退職給與金ニ充ツルモノトス

第二十二條 理事ノ任期ハ三年、監事ノ任期ハ二年トス但シ再選ヲ妨ケス

補闕選舉又ハ増員ニ因リ就任シタル理事又ハ監事ノ任期ハ現任者ノ殘任期トス但シ理事又ハ監事ノ全員缺ケタル場合ニ於ケル就任者ノ任期ハ此ノ限ニ在ラス

理事又ハ監事ハ任期滿了後ト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

第二十三條 辭任其ノ他ノ事由ニ因リ理事又ハ監事ニ副員ヲ生シタルトキハ通常總代會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限リ臨時總代會ヲ招集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總代會理事又ハ監事ノ解任ヲ決議シタルトキハ其ノ總代會ニ於テ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十四條 理事及監事ハ名譽職トス但シ會長、專務理事、常務理事及常任監事ハ有給トス

總代會ノ決議ニ依リ理事及監事ニ報酬、手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得

第二十五條 本會ハ總會ニ代ルヘキ總代會ヲ設ク

第二十六條 總代ハ左ノ者トス

一 道府縣ヲ區寫トスル所屬聯合會

二 道府縣毎ニ前號以外ノ所屬聯合會及所屬組合ヲ通シ

其ノ數百迄ハ一、百ヲ加フル毎ニ一ヲ加ヘタル割合ヲ以テ互選シタル者

道府縣ヲ區域トスル所屬聯合會ト雖モ特殊ノ事業ヲ主タル目的トスルモノハ之ヲ前項第二號ノ聯合會ト看做ス所屬聯合會及所屬組合ノ増減ニ因リ總代數ニ異動ヲ生スヘキ場合ニ於テモ第一項第二號ノ現在總代ノ任期滿了ニ至ル迄總代數ヲ變更セサルモノトス

本會ノ理事、監事及職員ハ總代ノ代表者タルコトヲ得ス
第二十七條 前條第一項第二號ノ總代ノ選舉ハ道府縣毎ニ本會ノ指定シタル管理者ニ於テ之ヲ行フ

第二十八條 總代選舉ノ方法其ノ他必要ナル事項ハ管理者ノ定ムル所ニ依ル

管理者ハ選舉終了後遲滞ナク當選者ニ其ノ旨ヲ通知スルト共ニ選舉ノ狀況ヲ記錄シ之ヲ本會ニ報告スヘシ

第二十九條 第二十六條第一項第二號ノ總代ノ任期ハ二年トス但シ再選ヲ妨ケス

前項ノ總代中關員ヲ生シタルキハ次ノ改選期迄猶豫スルコト能ハサル場合ニ限り補關選舉ヲ爲スモノトス

補關選舉ニ因リ當選シタル總代ノ任期ハ現任者ノ殘任期トス

第二十二條第三項ノ規定ハ總代ニ之ヲ準用ス

第三十條 通常總代會ハ毎年一回九月又ハ十月之ヲ開ク

臨時總代會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク
一 理事必要ト認ムルトキ
二 監事產業組合法第三十四條ノ規定ニ依リ必要ト認ムルトキ

三 產業組合法第二十三條ノ規定ニ依リ總代會招集ノ請求アリタルトキ

第三十一條 總代會ノ招集ハ會日ヨリ少クトモ二週間前ニ書面ヲ以テ總代ニ其ノ通知ヲ發スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ其ノ會議目的タル事項ヲ記載シ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第三十二條 總代ハ總代會ニ出席セシムル爲其ノ代表者ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其ノ變更アリタルトキ亦同シ

第三十三條 總代會ハ總代ノ半數以上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス半數ニ充タサルトキハ三十日以内ニ更ニ招集シ出席シタル總代ヲ以テ開會ス

總代會ノ決議ハ出席シタル總代ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

理事若ハ監事ノ選任若ハ解任、定款ノ變更又ハ所屬聯合會若ハ所屬組合ノ除名ノ決議ハ總代ノ半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

總代會ニ於テハ急速ヲ要スル輕微ノ事項ニ限り豫メ知通ナキモノト雖モ其ノ決議ヲ爲スコトヲ得

第三十四條 總代會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルトキハ互選ニ依リ専務理事ノ一人之ニ當リ會長専務理事共ニ事故アルトキハ互選ニ依リ他ノ理事中ノ一人之ニ當ル監事ノ招集シタル總代會ノ議長ハ總代會ヲ招集シタル監事之ニ當ル其ノ數人ナル場合ニ於テハ互選ニ依リ其ノ一人之ニ當ル

總代會ニ於テ必要ト認ムルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議長ヲ定ムルコトヲ得

第三十五條 總代ハ三人以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第三十六條 總代會ニ於テハ決議錄ヲ作り開會ノ時期、場所、總代ノ總數及其ノ出席者ノ數並ニ會議ノ顛末ヲ之ニ記載スルコトヲ要ス

決議錄ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二人以上之ニ記名捺印スルコトヲ要ス

第三十七條 總代會ノ議事ニ關スル細則ハ總代會ニ於テ之ヲ定ム

第三十八條 解散又ハ合併ノ決議ヲ爲サントスルトキハ總會ヲ招集ス

前項ノ決議ハ所屬聯合會及所屬組合ノ半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同意アルコトヲ要ス

總代會ニ關スル規定ハ總會ニ之ヲ準用ス

第三十九條 所屬聯合會及所屬組合ハ總會ニ於テ三十以上ヲ代理シテ議決權ヲ行フコトヲ得ス

第四十條 本會ニ名譽會長ヲ置クコトヲ得

名譽會長ハ總代會ニ於テ之ヲ推薦シ本會ノ事業ヲ輔導ス

第四十一條 本會ニ顧問及參與ヲ置クコトヲ得

顧問ハ總代會ノ決議ヲ經テ會長之ヲ推薦シ本會ノ事業ヲ援助ス

參與ハ會長之ヲ推薦シ會長ノ諮問ニ答ヘ又ハ本會ノ事業ニ關シ會長ニ意見ヲ開陳スルモノトス

顧問及參與ノ任期ハ理事ノ任期ニ依ル

六 保證責任大日本生絲販賣購買組合聯合會定款

昭和二年三月十五日	可
昭和三年四月二十二日	認
昭和三年七月三十一日	日
昭和四年八月九日	日
昭和五年八月二十二日	日
昭和六年八月二十六日	日

昭和八年七月二十日
昭和十三年九月十八日
昭和十四年十月二十四日
昭和十五年八月二十四日

第一章 總 則

- 第一條 本會ハ左ノ事業ヲ行フヲ以テ目的トス
 - 一 所屬聯合會ノ及所屬組合ノ委託ヲ受ケ其ノ取扱又ハ生産シタル生絲ヲ販賣スルコト
 - 二 所屬聯合會及所屬組合ノ委託ヲ受ケ其ノ取扱又ハ生産シタル副蠶絲ニ加工シ又ハ加工セシテ之ヲ販賣スルコト
 - 三 所屬聯合會及所屬組合ノ購買スル蠶種並生絲及副蠶絲ノ整理荷造用品ヲ買入レ之ニ加工シ若ハ加工セシテ又ハ之ヲ所産生シテ屬聯合會及所屬組合ニ賣却スルコト
- 第二條 本會ハ保證責任大日本生絲販賣購買組合聯合會ト稱ス
- 第三條 本會ノ組織ハ保證責任トス
- 第四條 保證金額ハ出資一口ニ付金壹千圓トス
- 第五條 本會ハ全國ヲ以テ區域トス
- 第六條 本會ハ主タル事務所ヲ神奈川縣橫濱市中區北仲通五丁目五十七番地ニ、從タル事務所ヲ兵庫縣神戸市神戶區明石町三十二番地ニ置ク
- 第六條 聯合會原簿ニ記載シタル事項ノ變更ノ届出及聯合

會原簿ノ提出ハ毎年六月三十日取纏メ其ノ後二週間以内ニ之ヲ爲ス

- 第七條 產業組合法第四十條第二項ニ依ル公告ハ本會ノ揭示場ニ掲示シ且官報、中外商業新報及產業組合中央會ノ發行スル會報ヲ以テ之ヲ爲ス
- 第八條 本會ハ生絲販賣事業ヲ行フ產業組合聯合會及產業組合ヲ以テ之ヲ構成ス
- 第九條 本會ノ財産ニ對スル所屬聯合會及所屬組合ノ持分ハ左ノ標準ニ依リ之ヲ定ム
 - 一 出資金ニ對シテハ出資額ニ應シ之ヲ算定ス
 - 二 準備金ニ對シテハ剩餘金ヲ生シタル事業年度内ニ於テ所屬聯合會及所屬組合カ本會ヲ通シ販賣シタル生絲、副蠶絲並購買シタル蠶種、整理荷造用品ノ價額ニ應シ年度毎ニ算定加算ス但シ其ノ算定ノ基準ハ理事之ヲ定ムルモノトシ購買品ニアリテハ場合ニ依リ除外スルコトヲ得ルモノトス
 - 三 其他ノ財産ニ對シテハ本會解散當時ノ所屬聯合會及所屬組合ニ限リ持分ヲ有シ其ノ權利ハ拂込濟出資額ニ應スルモノトス
- 本會財産力出資額ヨリ減少シタルトキハ出資額ニ應シ持分ヲ算定ス

第十條 所屬聯合會及所屬組合ハ左ノ事項ニ變更ヲ生シタルトキハ遲滞ナク之ヲ本會ニ通知スルコトヲ要ス但シ第五號及第六號ノ事項ハ每事業年度末毎ニ之ヲ報告スヘシ

- 一名 稱
- 二 事務所
- 三 存立時期
- 四 出資一口ノ金額並保證金額
- 五 出資ノ總口數
- 六 拂込ミタル出資ノ總額
- 第二章 出資及積立金
- 第十一條 出資一口ノ金額ハ金壹千圓トス
- 第十二條 所屬聯合會及所屬組合ハ百口迄ノ出資ヲ爲スコトヲ得
- 第十三條 出資第一回ノ拂込金額ハ一口ニ付金參百圓トス
- 第十四條 第一回後ノ出資拂込ハ配當スヘキ剩餘金ヨリ拂込ニ充ツルモノ、外出資一口ニ付金百圓以内ニ於テ其ノ拂込金額及期日ヲ定ム
- 第十五條 前項ノ拂込金額及期日ハ理事之ヲ定メ一箇月以前ニ所屬聯合會及所屬組合ニ通知スルモノトス
- 第十六條 出資ノ拂込ヲ怠リタルトキハ期日後一日ニ付拂込ムヘキ金額ノ千分ノ一ニ當ル過怠金ヲ徴收ス
- 第十七條 本會ハ出資總額ニ達スル迄每事業年度ノ剩餘金

ノ四分ノ一以上ヲ準備金トシテ積立ツルモノトス

- 第十六條 加入金、増口金、過怠金及拂戻ヲ爲ササル持分ハ之ヲ準備金ニ組入ル、モノトス
- 第十七條 本會ハ剩餘金ヨリ別途積立金及職員福利施設積立金ヲ積立ツルコトヲ得
- 第十八條 本會ハ役員退職給與積立金ヲ積立ツルモノトス
- 第十九條 役員退職給與積立金及職員福利施設積立金ハ役員退職給與規程及職員福利施設規程ニ依リ處分スルモノトス
- 第二十條 役員退職給與規程及職員福利施設規程ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ定ム
- 第二十一條 準備金及別途積立金ハ損失填補ニ充ツルモノトス但シ別途積立金ハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ臨時ノ支出ニ處分スルコトヲ得
- 第二十二條 削 除
- 第二十三條 準備金、別途積立金及役員退職給與積立金ハ產業組合中央金庫ニ又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ預ケ入又ハ之ヲ以テ產業債券、國債證券、地方債證券、貯蓄債券、勸業債券、日本興業銀行ノ債券、北海道拓殖銀行ノ債券、農工債券若ハ華中蠶絲株式會社ノ株式其ノ他總會ノ決議ヲ經タル社債券ヲ買入ルル外他ニ之ヲ利用スルコトヲ得ス但シ總會ノ承認ヲ經テ事業資金ニ融通スルコトヲ得

トヲ得

第三章 機關

第二十一條 本會ニ理事十三名、監事五名ヲ置ク

理事ハ會長一名、副會長二名、常務理事一名ヲ互選ス

會長ハ會務ヲ總理シ本會ヲ代表ス

副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ副會長ノ互選

ニ依リ其ノ代理者一名ヲ定ム

會長、副會長共ニ事故アルトキハ常務理事之ニ代リ會長、

副會長及常務理事共ニ事故アルトキハ理事ノ互選ニ依リ

其ノ代理者一名ヲ定ム

常務理事ハ會長、副會長ヲ補佐シ會務ヲ掌理ス

第二十二條 理事ノ任期ハ三箇年、監事ノ任期ハ二箇年ト

ス但シ再選ヲ妨ケス

會長、副會長及常務理事ノ任期ハ理事ノ任期ニ從フ

補闕選舉ニ依リ就任シタル理事又ハ監事ハ前任者ノ任期

ヲ繼承ス

理事及監事ハ任期滿了後ト雖後任者ノ就職スル迄仍其職

務ヲ行フモノトス

第二十三條 辭任其他ノ事由ニ依リ理事又ハ監事ニ副員ヲ

生シタルトキハ通常總會ノ時期迄猶豫スルコト能ハサル

場合ニ限り臨時總會ヲ招集シ補闕選舉ヲ爲スモノトス

總會カ理事又ハ監事ノ解任ヲ議決シタルトキハ同時ニ其ノ補闕選舉ヲ爲スコトヲ要ス

第二十四條 理事及監事ハ名譽職トス但シ副會長及常務理事ハ之ヲ有給トス

理事及監事ニハ總會ノ決議ニヨリ報酬、手當又ハ賞與ヲ支給スルコトヲ得

理事及監事ハ正當ノ事由ナクテ辭任スルコトヲ得ス

第二十五條 通常總會ハ毎年一回七月又ハ八月之ヲ開ク

臨時總會ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ開ク

一 理事カ必要ト認メタルトキ

二 監事カ産業組合法第三十四條ニ依リ必要ト認メタルトキ

三 理事闕ケタルトキ

四 産業組合法第二十三條ニ依リ總會招集ノ請求アリタルトキ

第二十六條 總會ノ招集ハ少クトモ二週間前ニ書面ヲ以テ

所屬聯合會及所屬組合ニ之ヲ通知スルコトヲ要ス

前項ノ通知書ニハ招集者之ニ記名スルコトヲ要ス

第二十七條 所屬聯合會及所屬組合ハ總會ニ出席セシムル

爲代表者一名ヲ定メ之ヲ本會ニ届出ツルコトヲ要ス其ノ

變更アリタルトキ亦同シ

第二十八條 總會ハ所屬聯合會及所屬組合ノ代表者半數以

上出席スルニ非サレハ開會スルコトヲ得ス

總會ノ決議ハ出席シタル代表者ノ過半數ヲ以テ之ヲ爲ス

理事若ハ監事ノ選任又ハ解任、定款ノ變更、所屬聯合會

又ハ所屬組合ノ除名、解散及合併ノ決議ハ所屬聯合會及

所屬組合ノ代表者半數以上出席シ其ノ四分ノ三以上ノ同

意アルコトヲ要ス

總會ニ於テハ急速輕微ノ事項ニ限り豫メ通知ナキモノト

雖モ其ノ決議ヲ爲スコトヲ得

第二十九條 總會ノ議長ハ會長之ニ當ル會長事故アルトキ

ハ副會長ノ一人之ニ當リ會長、副會長共ニ事故アルトキ

ハ理事ノ互選ニ依ル

監事ノ招集シタル總會ノ議長ハ總會ヲ招集シタル監事之

ニ當ル其ノ多數ナル場合ニ於テハ其ノ互選ニ依ル

總會ニ於テ必要ト認メタルトキハ出席者ノ互選ニ依リ議

長ヲ定ムルコトヲ得

第三十條 總會ニ出席スル所屬聯合會及所屬組合ノ代表者

ハ三名以上ヲ代理シテ決議權ヲ行フコトヲ得ス

第三十一條 總會ニ於テハ決議錄ヲ作り開會ノ日時、場所、

會議ノ顛末及出席者ノ員數ヲ記載スルコトヲ要ス

決議錄ニハ議長及議長ノ指名シタル出席者二名以上之ニ

記名捺印スルコトヲ要ス

第三十二條 總會ノ議事ニ關スル細則ハ總會ニ於テ之ヲ定

ム

第三十三條 本會ニ顧問及相談役ヲ置クコトヲ得

顧問ハ總會ノ推薦ヲ經テ會長之ヲ囑託シ本會ノ事業ヲ援

助ス

相談役ハ理事之ヲ推薦シ其ノ任期ハ三箇年トス但シ再推

薦ヲ妨ケス

相談役ハ理事ノ諮問ニ答ヘ又ハ本會ノ事業ニ付キ理事ニ

意見ヲ開陳スルモノトス

第三十四條 本會ニ主事、主事補及書記若干名ヲ置キ會長

之ヲ任免ス

主事ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ會務ヲ處理シ主事補及書記

ハ理事、監事及主事ノ指揮ヲ承ケ會務ニ從事ス

第三十五條 本會ニ技師及技手若干名ヲ置キ會長之ヲ任免

ス

技師及技手ハ理事及監事ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス

第四章 事業ノ執行

第一節 通則

第三十六條 本會ノ事業年度ハ七月一日ニ始マリ翌年六月

三十日ニ終ル

第三十六條ノ二 本會ニ餘裕金アルトキハ産業組合中央金庫ニ又ハ總會ノ承認ヲ經タル銀行ニ之ヲ預入ル、モノトス

第三十六條ノ三 事業執行ニ關スル細則ハ理事之ヲ定ム

第二節 販 賣
第三十七條 本會ニ於テ取扱フ物品ハ生絲並副蠶絲及其ノ加工品トス

第三十八條 本會ニ於テ爲ス加工左ノ如シ
副蠶絲ノ精練又ハ製綿其ノ他販賣上必要ナル加工

第三十九條 所屬聯合會及所屬組合ハ其ノ取扱又ハ生産シタル生絲ノ全額ヲ本會ニ出荷シ販賣ヲ委託スルモノトス
止ムコトヲ得サル事由ニヨリ前項ニ據リ難キモノハ理事ノ承認ヲ經ルヲ要ス

第三十九條ノ二 所屬聯合會又ハ所屬組合前條ノ規定ニ違反シテ其ノ取扱又ハ生産シタル生絲ヲ他ニ出荷シタルトキハ過怠金ヲ徵收スルコトヲ得
過怠金ノ額及徵收ニ關スル規程ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

第四十條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會指定ノ時期方式ニ依リ前受入狀況、製絲狀況、出荷スヘキ生絲及副蠶絲又ハ本會ノ必要ト認メタル事項ニ付報告スルヲ要ス
前項報告中變更ヲ生シタル場合ハ遲滞ナク之ヲ報告スル

モノトス

第四十一條 所屬聯合會及所屬組合ハ製絲及生絲ノ出荷ニ付本會ノ指示アリタルトキハ之ニ從フコトヲ要ス
前項ノ出荷ニ付荷造費、運賃其ノ他本會到着迄ニ要スル費用ハ所屬聯合會又ハ所屬組合ノ負擔トス

第四十二條 本會ハ所屬聯合會又ハ所屬組合ヨリ生絲又ハ副蠶絲ノ送付ヲ受ケタルトキハ其ノ送狀ニ照シテ查收シ之ヲ通知スルモノトス
受入レタル生絲又ハ副蠶絲ニ付テハ本會ノ其ノ責ヲ負フ但シ不可抗力ニ據ル場合ハ此ノ限りニアラス

第四十三條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會へ出荷シタル生絲又ハ副蠶絲ニ付販賣時期、値段、賣先、販賣方法又ハ加工ニ付指定スルコトヲ得ス

第四十四條 所屬聯合會及所屬組合ハ本會ニ生絲又ハ副蠶絲ヲ引渡シタル後ハ何時ニモ代金ノ假渡ヲ請求スルコトヲ得但シ其ノ額ハ時價ノ十分ノ八以内ニテ理事之ヲ定ム
前項ノ假渡金ニ對シテハ百圓ニ付日歩二錢以内ニ於テ理事ノ定メタル利息ヲ支拂フコトヲ要ス
第四十四條ノ二 本會ハ假渡金調達ノ爲必要アル場合ハ所屬聯合會又ハ所屬組合ヨリ受入レタル生絲並副蠶絲及其ノ加工品ヲ擔保ニ供スルコトヲ得

第四十五條 所屬聯合會及所屬組合ニ配分スヘキ生絲販賣代金ノ配分期間及品等數量査定方法並各品等間ノ格差決定方法ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

生絲販賣代金ハ其ノ配分期間ニ編入セラレタル生絲ニ對シ前項ニ依リ定メタル格差ヲ計算シ其ノ數量ニ應シ配分ス
毎配分期間ノ配分ハ其ノ配分期間ニ編入セラレタル生絲ヲ全部賣了シタルトキ之ヲ行フ但シ理事必要ト認メタルトキハ適宜配分日ヲ定メ其ノ期日迄ニ賣了シタルモノヲ以テ締切リ配分ヲナシ賣了シ能ハサリシモノアリタルトキハ之ヲ次期配分期間ニ編入スルコトヲ得
賣了前ト雖モ品等數量ノ査定ヲ了シタルモノニ對シテハ總會ノ定メタルトコロニ依リ假配分ヲナス

假配分ニ對シテハ利息ヲ附セス
第四十五條ノ二 所屬聯合會及所屬組合ニ配分スヘキ副蠶絲販賣代金ノ配分期間及品等數量査定方法並各品等間ノ格差ハ總會ニ於テ之ヲ定ム

副蠶絲販賣代金ハ加工シタルト否トヲ問ハス其ノ配分期間ニ編入セラレタル副蠶絲ニ對シ前項ニ依リ定メタル格差ヲ計算シ其ノ數量ニ應シ配分ス
毎配分期間ノ配分ハ編入セラレタル副蠶絲ヲ

全部賣了シタルトキ之ヲ行フ但シ理事必要ト認メタルトキハ適宜配分日ヲ定メ期日迄ニ賣了シタルモノヲ以テ締切リ配分ヲナシ賣了シ能ハサリシモノアリタルトキハ之ヲ次期配分期間ニ編入スルコトヲ得
賣了前ト雖モ品等數量ノ査定ヲ了シタルモノニ對シテハ總會ニ於テ定メタルトコロニ依リ假配分ヲナス

第四十六條 削 除
第四十七條 削 除
第四十八條 本會ハ受託生絲一俵ニ付七圓以内、受託副蠶絲十貫ニ付二圓以内ニ於テ理事ノ定メタル販賣歩合金ヲ徵シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス

第四十九條 本會ハ受託生絲又ハ副蠶絲ニ付キ特殊ノ勞費ヲ要シタルモノニ付テハ實費ヲ徵シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス受託物ノ運賃又ハ保険料其ノ他ノ立替金ニ付亦同シ

第五十條 副蠶絲中本會ニ於テ加工ヲ爲シタルモノニアリテハ之ニ要シタル實費ヲ標準トシテ加工料ヲ徵シ代金配分ノトキ之ヲ差引クモノトス

第三節 購 買

第五十條ノ二 本會ニ於テ賣却スル物品左ノ如シ

蠶種、生絲及副蠶絲ノ整理荷造用品

第五十條ノ三 本會ニ於テ爲ス加工又ハ生産左ノ如シ

- 一 括箱、括絲、編索絲、金巾袋、通袋、文庫紙、副蠶絲用麻袋及繭袋ノ製作
- 二 蠶種ノ自己生産又ハ委託生産
- 三 其ノ他總會ノ決議ヲ經タル物

第五十條ノ四 理事ハ所屬聯合會及所屬組合ノ需要ヲ調査シ又ハ其ノ注文ニ應シ賣却スヘキ物品及其ノ材料ヲ便宜買入レ又ハ生産スルモノトス

第五十條ノ五 購買申込多數ノ場合ニ於ケル賣却ノ數量又ハ順位ハ理事之ヲ査定スルモノトス

第五十條ノ六 所屬聯合會及所屬組合ニ賣却スル物品ノ代價ハ市價ヲ標準トシテ理事之ヲ定ム

所屬聯合會及所屬組合ハ購買物品引取ト同時ニ其ノ代金ヲ支拂フコトヲ要ス但シ本會ハ當該所屬聯合會及所屬組合ニ支拂フヘキ販賣代金ヨリ之ヲ控除受入ル、コトヲ得

第五十條ノ七 理事ハ所屬聯合會及所屬組合ヲシテ物品並

期日ヲ指定シ購買ノ豫約ヲナサシメ、豫約ヲナサ、リシ所屬聯合會及所屬組合ニ對シテハ賣却ヲ拒絕スルコトヲ得前項ノ豫約ニ際シテハ代金ノ全部又ハ一部ヲ前納セシムルコトヲ得

第五十條ノ八 所屬聯合會及所屬組合ハ本會ヨリ購買物品ヲ

引渡サントスルトキハ遲滞ナク之ヲ引取ルコトヲ要ス前項ノ引取ヲ爲サ、ルトキハ購買物品代金ノ全額又ハ一割以上ニ相當スル過怠金ヲ徵收ス但シ理事ニ於テ特別ノ事由アリト認ムルトキハ過怠金ノ徵收ヲ輕減又ハ免除スルコトヲ得

第五十條ノ九 本會ハ購買物品ニ付所屬聯合會及所屬組合

カ引取遲延其ノ他所屬聯合會及所屬組合ノ責ニ歸ス可キ事由ニヨリ生シタル損害ニ付テハ其ノ責ニ任セス

第五十一條 削 除

第五十二條 削 除

第五十三條 剩餘金處分並損失ノ填補及分擔

第五十四條 配當金ハ其ノ餘剩金ヲ生シタル年度ノ終リニ

於ケル所屬聯合會及所屬組合ノ拂込濟出資額ニ應シ其ノ率ハ年六分以下トス

特別配當金ハ其ノ剩餘金ヲ生シタル事業年度内ニ於テ所屬聯合會及所屬組合カ本會ヲ通シ販賣シタル生絲、副蠶絲並購買シタル蠶種、整理荷造用品ノ價額ニ應スルモノトス但シ其ノ算定ノ基準ハ理事之ヲ定ムルモノトシ購買品ニアリテハ場合ニ依リ除外スルコトヲ得ルモノトス前二項ノ配當ハ拾圓未満ノ金額ニ對シテハ之ヲ爲サ、ルモノトス

第五十五條 損失ノ填補ハ別途積立金ヲ以テシ次ニ準備金ヲ以テス但シ總會ノ決議ニ依リ別途積立金及準備金ヲ以テ填補スルコトヲ得

第五十五條ノ二 本會ノ財産ヲ以テ其ノ債務ヲ完済スルコト能ハサル場合ニ於テ各所屬聯合會及所屬組合間ニ於ケル損失分擔ノ割合ハ其ノ保證金額ノ割合ニ應スルモノトス脱退シタル聯合會及組合ノ損失分擔ノ割合亦同シ

第六章 加入増口及脱退

第五十六條 本會ニ加入セムトスルトキハ申込書ニ加入金壹圓及左ニ掲クル書類ヲ添付シテ理事ニ差出スコトヲ要ス但シ第一年度ニ於テハ加入金ヲ徵セス

一 定款ノ謄本

二 最近作製シタル貸借對照表及最近年度ノ事業報告書

三 設備釜數及最近三ヶ年間ニ於ケル生絲販賣高(輸出向國用向各種別數量)

四 産業組合法第七十八條ノ規定ニ依ル總會又ハ總代會ノ決議録ノ謄本

五 設立許可ノ年月日並理事ノ氏名住所

理事加入ノ申込ヲ承諾シタルトキハ其ノ旨申込者ニ通知シ出資第一回ノ拂込ヲ爲サシメタル後所屬聯合會及所屬組合名簿ニ記載スルコトヲ要ス

加入ノ效力ハ第五十八條ノ場合ヲ除ク外出資第一回ノ拂込ト同時ニ發生スルモノトス

第五十七條 所屬聯合會及所屬組合カ出資ノ増口ヲ爲サム

トスルトキハ前條ノ規定ヲ準用ス但シ前條ノ第一項第一號乃至第五號ノ書類ニ付テハ此ノ限ニアラス

第五十八條 持分ヲ讓渡セムトスル場合ニ於テハ理事ノ承

諾ヲ得ルコトヲ要ス

持分ヲ讓受ケムトスル者カ所屬聯合會又ハ所屬組合ニ非

サルトキハ出資ノ拂込ヲ爲サシメサルノ外第五十六條ノ規定ヲ準用ス

第五十九條 所屬聯合會及所屬組合カ脱退セムトスルトキ

ハ其ノ事業年度末十ヶ月前ニ其ノ旨理事ニ豫告スルコトヲ要ス

第六十條 所屬聯合會及所屬組合ハ左ノ事由ノ一ニ當ルトキハ總會ノ決議ニ依リ之ヲ除名ス

- 一 出資ノ拂込、過怠金ノ納付又ハ購買代金ノ支拂ヲ怠リ二ヶ月内ニ其ノ義務ヲ履行セザルトキ
- 二 第三十九條ノ規定ニ違反シテ生絲ヲ出荷シタルトキ
- 三 本會ノ事業ヲ妨クル行爲アリタルトキ
- 四 信用ヲ失ヒタルトキ

第六十一條 所屬聯合會及所屬組合脱退ノ場合ニ於ケル持分ノ拂戻ハ其ノ拂込済出資額ノ半額ニ止ムルモノトス但シ除名ニ依ル場合ニ於テハ其ノ拂込済出資額ノ四分ノ一ヲ解散、所屬聯合會及所屬組合タル資格ノ喪失其ノ他總會ニ於テ止ムコトヲ得サルモノト認メタル事由ニ依ル場合ニ於テハ其ノ拂込済出資額ヲ拂戻スモノトス

第七章 解 散

第六十二條 本會解散シタルトキハ理事其ノ清算人トナル但シ總會ノ決議ニヨリ所屬聯合會及所屬組合ノ理事中ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

第八章 附 則

第六十三條 本會設立當時ノ理事及監事ヲ定ムルコト左ノ

名、除外ノ俵數、出荷先又ハ賣却先及除外ヲ承認シタル理由ノ概略ニ付本會所屬聯合會又ハ組合ニ通知スルモノトス

- 五 會長ハ除外承認ニ關スル理事會ニ除外ヲ求メタル聯合會又ハ組合ノ代表者ヲシテ出席セシメ質疑ニ應答セシムルコトヲ得但シ討議ニ參加セシムルコトヲ得ス
- 六 除外承認ニ關スル理事會ニ於テハ討議進行上必要ニヨリ利害關係者ノ出席ヲ要求スル事ヲ得
- 七 除外承認ノ審議ハ左ノ場合ニ限ルモノトス
 - 1 關東大震災火災燒失生絲關係
 - 2 當該聯合會又ハ組合ノ存立ニ關スル場合

過怠金徴收規程

昭和八年七月二十一日總會決議

第一條 定款第三十九條ノ二ノ規程ニ依リ徴收スヘキ過怠金ノ額ハ所屬聯合會又ハ所屬組合力定款第三十九條第二項ノ承認ヲ經スシテ他ニ出荷シタルト認メタル生絲ノ俵數ニ應シ其生絲ノ出荷又ハ販賣當時ノ時價(理事推定スルモノトス)ノ二割ニ相當スル金額トス

第二條 定款第三十九條第二項ノ承認ヲ經スシテ他ニ出荷シタルモノト認メタル俵數及徴收スヘキ過怠金ノ額ヲ決定シタルトキハ當該所屬聯合會又ハ所屬組合ニ其金額及

附 錄 保證責任大日本生絲販賣購買組合聯合會定款

如シ但シ第一回通常總會ニ於テ之ヲ改選ス(理事監事氏名略)

定款第三十九條第二項ニヨリ除外ニ關スル規程

昭和八年六月二十八日理事會決議

- 一 定款第三十九條第二項ニヨリ除外ノ承認ヲ求メントスルモノハ會長宛左ノ事項ヲ詳記シタル書面ヲ提出スルコトヲ要ス
 - 1 年度内生絲販賣豫定俵數及本會ニ出荷ス可キ豫定俵數
 - 2 除外ヲ求ムル期間及其期間内ノ除外俵數
 - 3 除外ニヨル出荷先又ハ賣却先及其出荷又ハ賣却ヲ要スル理由
- 二 除外ノ期間ハ事業年度ニヨリ一ヶ年以内タルコトヲ要ス但シ重ネテ除外ヲ求ムル事ヲ得
- 三 會長除外ノ承認ヲ求ムル書面ヲ受取りタル時ハ專決ニヨリ又ハ理事會ニ諮リ書面ヲ受取りタル日ヨリ三十日以内ニ諾否ノ回答ヲナス但シ承認ヲ與フル場合ハ出席シタル理事全員ノ三分ノ二以上ノ同意アルヲ要ス
- 四 會長除外ノ承認ヲ與ヘタル時ハ其聯合會名又ハ組合

納付ノ期日ヲ通知スルモノトス

第三條 所屬聯合會又ハ所屬組合前條ノ通知ヲ受ケタル後定款第三十九條第二項ノ承認ヲ經スシテ生絲ヲ他ニ出荷シタル事實ナキコト又ハ其出荷俵數ニ相違アルコトヲ證明シタル場合ハ過怠金ヲ免除シ若ハ其金額ヲ輕減スルモノトス

第四條 所屬聯合會又ハ所屬組合第二條ノ通知ヲ受ケル前ニ於テ他ニ出荷シタル事實ニ付本會ニ對シ詳細ニ報告シ且再ヒ之ヲ繰返ササル旨ヲ誓約シタル場合若ハ止ムコトヲ得サル事情アリト認メタル場合ハ過怠金ノ徴收ヲ免除シ若ハ其金額ヲ輕減スルコトヲ得

第五條 過怠金ノ免除又ハ輕減ノ割合ハ理事之ヲ定ム前項ノ過怠金ノ納付ヲ怠タリタルトキハ期日後一日ニ付納付スヘキ金額ノ千分ノ一ニ當ル運延料ヲ徴收ス

第六條 過怠金及運延料ハ當該所屬聯合會又ハ所屬組合ノ委託シタル生絲ニ對スル配分金ヨリ之ヲ控除徴收スルコトヲ得

本會へ加入組合ノ出資口數取得標準

昭和七年七月二十二日役員會決議

本會加入ノ聯合會又ハ組合ノ出資口數ハ設備釜數五十二付一口ノ割合トス五十二充タサル端數ハ三十五釜以上ハ之ヲ

七 全國產業組合製絲組合聯合會 會則

昭和七年二月十日認可
改正昭和十三年十二月十一日
昭和十四年十二月十一日
昭和十五年十二月十二日

第一章 總則

- 第一條 本會ハ會員相互ノ聯絡ヲ圖リ其ノ共同ノ目的ヲ達成スルヲ以テ目的トス
- 第二條 本會ハ其ノ目的ヲ達成スル爲左ノ事業ヲ行フ
 - 一 會員相互ノ聯絡及統制ニ關スル施設
 - 二 原料繭及其ノ受入方法ノ統一ニ關スル施設
 - 三 生絲ニ關スル規格ノ統一ニ關スル施設
 - 四 產業組合製絲ノ指導獎勵ニ關スル施設
 - 五 產業組合製絲ニ關スル研究及調査
 - 六 產業組合製絲ニ關スル紛議ノ調停又ハ仲裁
 - 七 前各號ニ掲グルモノノ外會員ノ聯絡ヲ圖リ其ノ目的ヲ達成スル爲必要ナル施設
- 第三條 本會ハ全國產業組合製絲組合聯合會ト稱ス
- 第四條 本會ノ地區ハ全國トス
- 第五條 本會ノ事務所ハ東京市ニ置ク
- 第六條 本會ノ事業年度ハ四月一日ヨリ翌年三月三十一日

迄トス

- 第七條 本會ハ事務所ニ會員名簿ヲ備ヘ置クモノトス
 - 一 會員名簿ニハ左ノ事項ヲ記載ス
 - 二 經費賦課ノ基礎ト爲ルベキ事項
 - 三 議員及豫備議員ノ配當數
 - 四 會員名簿ノ記載事項ニ變更アリタルトキハ會長ハ遲滞ナク之ヲ訂正スベシ
- 第八條 日本中央蠶絲會ニ於テ產業組合製絲ニ關スル統制施設ヲ議決シ行政官廳ノ認可ヲ受ケタルトキハ本會ハ其ノ統制施設ヲ行フモノトス
- 第九條 本會ノ行フ調停又ハ仲裁ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム
- 第十條 本會ハ會員ニ對シ產業組合製絲ニ關スル事項ノ調査又ハ報告ヲ爲サシムルコトヲ得
- 第十一條 會員タル資格ヲ取得シ又ハ喪失シタルトキハ遲滞ナク本會ニ其ノ旨届出ヅベシ第七條第二項第一號又ハ第二號ニ掲グル事項ニ變更アリタルトキ亦同ジ
- 第二章 役員、職員、日本中央蠶絲會議員及相談役
- 第十二條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名

副會長 一名

評議員 十一名

- 第十三條 役員ハ總會ニ於テ議員中ヨリ之ヲ選任ス但シ會長及副會長、其ノ他ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得
- 第十四條 役員ハ正當ノ事由ナクシテ辭任スルコトヲ得ズ
- 第十五條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ役員ヲ解任スルコトヲ得役員ヲ解任シタルトキハ同時ニ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス
- 第十六條 役員ニ闕員ヲ生ジタルトキハ次ノ總會ヲ待ツコト能ハザル場合ニ限り臨時總會ヲ召集シ補闕ノ役員ヲ選任スルモノトス
- 第十七條 役員ノ任期ハ事業年度ニ從ヒ四箇年トス但シ補闕ノ役員ノ任期ハ前任者ノ殘任期間トシ新ニ設ケタル役員ノ任期ハ他ノ役員ノ殘任期間トス
- 役員ハ其ノ任期滿了シタルトキト雖モ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス
- 第十八條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス
- 副會長ハ會長ヲ補佐シ會長事故アルトキハ其ノ職務ヲ代理ス其ノ代理ノ順序ハ會長ノ定ムル所ニ依ル
- 會長ハ副會長ヲシテ左ノ事項ヲ分掌セシムルコトヲ得

- 一 庶務ニ關スル事項
- 二 三百圓未満ノ金錢ノ收支ニ關スル事項
- 第十九條 評議員ハ會務ニ關スル重要ナル事項ニ付會長ノ諮問ニ應ジ並ニ會務ノ執行及財産ノ狀況ヲ監査ス
- 評議員ニ諮問スベキ事項左ノ如シ
 - 一 總會ニ提出スベキ議案ニ關スル事項
 - 二 臨時總會ノ召集ニ關スル事項
 - 三 寄附ノ受諾及拒否ニ關スル事項
 - 四 其ノ他會長ニ於テ必要ト認ムル事項
- 第二十條 會長ハ總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ臨時急施ヲ要シ總會ヲ召集スルノ暇ナシト認ムルモノハ之ヲ專決處分スルコトヲ得
- 前項ノ場合ニ於テハ會長ハ次ノ總會ニ於テ其ノ承認ヲ求ムルコトヲ要ス
- 第二十一條 役員ハ名譽職トス
- 役員ニハ總會ノ議決ヲ經テ報酬手當又ハ賞與ヲ給スルコトヲ得
- 第二十二條 本會ニ左ノ職員ヲ置キ會長之ヲ任免ス
 - 主事 一名
 - 參事 若干名
 - 主事補 若干名

技師 若干名
技手 若干名
書記 若干名

主事ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ管掌ス
參事及主事補ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ヲ處理ス
技師及技手ハ會長ノ命ヲ承ケ技術ニ從事ス
書記ハ會長ノ命ヲ承ケ事務ニ從事ス

第二十三條 職員ニハ別ニ定ムル所ニ依リ俸給ヲ支給ス

第二十四條 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ハ本會ノ役員又ハ議員中ヨリ之ヲ選任ス

第二十五條 本會ハ正當ノ事由アルトキハ前條ノ議員及豫備議員ヲ解任スルコトヲ得

第二十六條 本會ニ相談役ヲ置クコトヲ得

相談役ハ總會ノ推薦ニヨリ會長之ヲ囑託シ其ノ任期ハ役員ノ任期ニ準ズ

相談役ハ會長ノ諮問ニ應ジ且總會又ハ評議員會ニ出席シ意見ヲ開陳スルコトヲ得但シ議決ニ加ハルコトヲ得ズ

第三章 會議

第二十七條 本會ニ總會ヲ置ク

總會ハ會長副會長及議員ヲ以テ之ヲ組織ス

第二十八條 議員及議員事故アル場合之ニ代ルベキ豫備議員

臺ニ付四俵ノ生産トシテ其ノ數量ニ依リ第一號ノ規定ニ準ジ配當ス

前號ノ規定ハ豫備議員ノ定數ニ付之ヲ準用ス

豫備議員二人以上アル場合ニ於テ議員事故アルトキ之ニ代ルベキモノノ順位ハ會員タル産業組合製絲組合、産業組合又ハ産業組合聯合會ニ於テ之ヲ定ムベシ

第二十九條 會員ハ議員又ハ豫備議員ヲ選任又ハ解任シタルトキハ其ノ都度本會ニ届出ヅベシ

第三十條 第十七條及第二十一條ノ規定ハ議員及豫備議員ニ之ヲ準用ス

第三十一條 左ニ掲グル事項ハ總會ノ議決ヲ經ルモノトス但シ第三號ニ掲グル事項ニシテ日本中央蠶絲會ノ決議ニ依リ行フモノニ付テハ此ノ限ニ在ラズ

- 一 收支豫算
- 二 經費ノ分賦收入方法
- 三 生絲ノ生産調節ニ關スル施設並ニ生絲ノ販賣數量及販賣價格ノ統制ニ關スル施設
- 四 生絲ノ規格統一
- 五 事業報告及收支決算
- 六 借入金
- 七 基本財産ノ造成、管理及處分

員ハ會員タル産業組合製絲組合、産業組合又ハ産業組合聯合會ニ於テ之ヲ選任ス

議員ノ定數ハ本會設立ノ日ノ屬スル事業年度ヨリ起算シ毎四事業年度ヲ一期トシ各期ニ付左ノ各號ニ依リ各會員ニ配當シタルモノノ合計トス但シ一會員ニ付八人ヲ超ユルモノニ在リテハ之ヲ八人トス

一、當該期ノ最初ノ事業年度以前ニ於テ會員ト爲リタル會員ニ在リテハ當該期ノ最初ノ事業年度ノ前々生絲事業年度ニ於ケル一ケ年生絲生産數量三萬六千貫未滿ニ付一人トシ尙ホ三萬六千貫ヲ超ユル部分ニ付四萬貫又ハ其ノ端數ヲ増ス毎一人ヲ増加ス

二、當該期ニ於テ新ニ會員ト爲リタル會員ニ在リテハ當該期ノ最初ノ事業年度ノ前々生絲事業年度ノ一ケ年生絲生産數量ニ依リ前號ノ規定ニ準ジ配當ス

三、當該期ニ於テ新ニ會員ト爲リタル會員ニシテ前號ノ生絲生産數量ヲ有セザル者ニ在リテハ其ノ一ケ年生絲生産數量ヲ有スル生絲事業年度迄繰リ下ゲ其ノ年度ニ於ケル其ノ有スル一ケ年生絲生産數量ニ依リ第一號ノ規定ニ準ジ配當ス

四、當該期ニ於テ新ニ會員ト爲リタル會員ニシテ前號ノ生絲生産數量ヲ有セザル者ニ在リテハ設備一釜又ハ一

八 會則ノ變更

九 役員ノ選任及解任

十 日本中央蠶絲會ノ議員及豫備議員ノ選任及解任

十一 本則施行ニ關スル重要ナル諸規程ノ制定並ニ變更

第三十二條 總會ハ會長之ヲ選任ス

第三十三條 總會ハ通常總會及臨時總會トス

通常總會ハ毎年十一月又ハ十二月之ヲ開キ臨時總會ハ左ノ場合ニ之ヲ開ク

- 一 會長必要ト認ムルトキ
 - 二 總會ヲ組織スル者其ノ總數ノ三分ノ一以上ノ同意ヲ得テ會議ノ目的タル事項及招集ノ事由ヲ記載シタル書面ヲ提出シ總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
 - 三 評議員ガ業務執行及財産ノ狀況ヲ監査シ之ヲ總會ニ報告スル爲總會ノ招集ヲ請求シタルトキ
- 前項第二號ノ場合ニ於テ會長正當ノ事由ナクシテ二週間以内ニ總會ヲ招集セザルトキハ請求者ハ農林大臣ノ認可ヲ受ケ招集スルコトヲ得
- 第三十四條 總會ヲ招集セントスルトキハ少クトモ三週間前ニ會議ノ目的タル事項日時及場所ヲ會員ニ通知スベシ前項ノ期間ハ臨時緊急ヲ要スル場合ニ在リテハ之ヲ二週間迄短縮スルコトヲ得

第三十五條 總會ニ於テハ豫メ通知シタル事項ニ付テノミ
議決ヲ爲スコトヲ得但シ緊急且輕微ノモノニ付テハ此ノ
限ニ在ラズ

第三十六條 總會ノ議長ハ會長、會長事故アルトキハ副會
長ヲ以テ之ニ充ツ會長及副會長共ニ事故アルトキ、蠶絲
業組合法第六十八條ノ規定ニ依リ準用スル同法第三十四
條第三項若ハ第四項ノ場合又ハ本會則第三十三條第二項
第三號ノ請求ニヨリ總會ヲ招集シタル場合ニ於テハ出席
者ノ互選ニ依リ之ヲ定ム

第三十七條 總會ノ議事ハ法令及本會則ニ別段ノ定アル場
合ヲ除クノ外出席ノ過半数ヲ以テ之ヲ決ス可否同數ナル
トキハ議長ノ決スル所ニ依ル

第三十八條 第三十一條第三號、第四號、第八號及第九號
ニ掲グル事項ハ總會ニ於テ總會ヲ組織スル者ノ半数以上
出席シ出席者ノ三分ノ二以上ヲ以テ之ヲ議決ス

第三十九條 總會ノ議決ヲ經ベキ事項ニシテ輕微ナルモノ
ニ付テハ會長ハ書面ヲ以テ總會ヲ組織スル者ノ意見ヲ徵
シ總會ノ決議ニ代フルコトヲ得

別項ノ規定ニ依リ意見ヲ徵セントスルトキハ會長ハ七日
ヲ下ラザル回答期限ヲ定ムベシ

第四十條 總會ノ議事ニ關スル規程ハ本會則ニ規定アルモ

ノヲ除クノ外總會ノ議決ヲ經テ之ヲ定ム

第四十一條 總會ノ議長ハ議事録ヲ作り左ニ掲グル事項ヲ
記載シ議長及出席者二人以上之ニ署名又ハ記名捺印スル
モノトス

一 開會ノ日時及場所

二 總會ヲ組織スル者ノ數

三 出席者數

四 議事ノ要領

五 議決シタル事項及賛否ノ數

第四十二條 本會ニ評議員會ヲ置ク

評議員會ハ評議員ヲ以テ之ヲ組織ス

評議員會ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定ム

第四章 會 計

第四十三條 本會ノ經費ハ會員ノ負擔トシ左ノ種別ニ依リ
賦課スルモノトス

一 平等割

二 生絲販賣額割

第四十四條 本會ハ必要ニ應ジ使用料若ハ手数料ヲ徵收シ
又ハ實費ノ辨濟ヲ受クルコトアルベシ

前項ノ使用料、手数料及實費ノ辨濟ニ關スル規程ハ別ニ
之ヲ定ム

第四十五條 經費、使用料、手数料又ハ實費辨濟金ヲ滯納
スル者アルトキハ會長ハ期限ヲ指定シテ之ヲ督促スベシ

第四十六條 本會ハ會員又ハ物件ノ補助又ハ寄附ヲ受クル
コトヲ得

第四十七條 本會ハ基本財産ヲ設ク

支途ヲ特定セザル寄附ヲ受ケタルトキハ之ヲ基本財産ニ
編入ス基本財産ノ造成及管理ニ關スル規程ハ別ニ之ヲ定

第四十八條 本會ニ左ノ帳簿ヲ備フ

一 財産臺帳

二 經費徵收原簿

三 出納簿

四 其ノ他必要ナル帳簿

第四十九條 剩餘金ハ翌年度ニ繰越シ收入豫算ニ編入ス但
シ其ノ全部又ハ一部ヲ基本財産ニ編入スルヲ妨グズ

第五十條 本會ノ出納閉鎖期ハ五月三十一日トス

第五章 過怠金

第五十一條 會員ノ左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五百圓
以下ノ過怠金ヲ課ス

一 本會ノ行フ統制施設ニ違背シタルトキ

二 本會ノ事業ノ執行ヲ妨グタルトキ

會員左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ五十圓以下ノ過怠金
ヲ課ス

一 第十條ノ規定ニ依ル調査又ハ報告ヲ爲サザルトキ

二 第四十五條ノ督促ヲ受ケ指定ノ期限迄ニ之ヲ完納セ
ザルトキ

第五十二條 過怠金徵收ノ通知書ニハ其ノ事由ヲ記載スル
コトヲ要ス

第六章 解 散

第五十三條 本會ノ解散ハ會員ノ三分ノ二以上ノ同意アル
コトヲ要ス

第五十四條 本會解散シタルトキハ會長及副會長ヲ以テ清
算人トス

第五十五條 清算人ハ就任後遲滞ナク財産目錄ヲ作成シ之
ヲ總會ニ提出シテ其ノ承認ヲ求ムベシ

第五十六條 清算終了シタルトキハ清算人ハ遲滞ナク決算
報告書ヲ總會ニ提出シテ其ノ旨報告スベシ

八 中央農業協力會會則

昭和十六年四月十八日施行

第一章 總 則

第一條 本會ハ農業ノ綜合的指導運營及發達ヲ圖ル爲會員

ノ行フ事業ヲ指導統制スルト共ニ農業部門ニ於ケル意見ヲ代表シ重要農業政策ニ關シ政府ニ協力スルコトヲ目的トス

第二條 本會ハ中央農業協力會ト稱ス

第三條 本會ノ事務所ハ產業組合中央金庫内ニ置ク

第二章 會員及準會員

第四條 本會ハ左ニ掲グル團體ヲ以テ其ノ會員トス

帝國農會

產業組合中央會

全國購買販賣組合聯合會

中央畜産會

全國養蠶業組合聯合會

茶業組合中央會議所

產業組合中央金庫

前項ニ掲グル團體以外ノ團體又ハ法人ト雖モ理事會ノ議ヲ經テ之ヲ準會員ト爲スコトヲ得

第五條 會員ハ本會ノ事業ニ必要ナル資料ノ提出及諸般ノ報告ヲ爲ス義務アルモノトス

第六條 會員ハ理事會ニ於テ決定シタル事項ニ付テハ各々其ノ職分ニ應ジ之ニ協力スルト共ニ之ニ則リ其ノ所屬系統團體及之ヲ組織スル者ヲ統制シ系統的ニ其ノ指導ニ從

第十條 會長ハ本會ヲ代表シ會務ヲ總理ス

副會長ハ會長事故アルトキ其ノ職務ヲ代行ス

副會長及理事ハ會長ヲ補佐シ會務ヲ掌理ス

第十一條 理事會ハ會長、副會長及理事ヲ以テ之ヲ組織シ本會ノ會務執行ニ關スル重要事項ヲ審議決定ス

理事會ノ議長ハ會長之ニ當ル

評議員會ハ本會ノ事業ニ關スル重要事項ニ付會長ノ諮問ニ應ズルモノトス

第十二條 本會ニ職員若干名ヲ置キ會長之ヲ任免ス

第四章 事業

第十三條 本會ハ其ノ目的ヲ達スル爲左ニ掲グル事項ニ關シ政府ニ協力スルト共ニ會員ヲ指導統制シテ之ガ遂行ヲ圖ラシムルモノトス

一 農業ノ綜合的指導運營及發達ニ關スル計畫ノ樹立ニ關スル事項

二 農業増産其ノ他農業ニ關スル計畫、指導、統制ノ連絡協調ニ關スル事項

三 農家經濟ノ改善ニ關スル計畫、指導ノ連絡協調ニ關スル事項

四 會員ニ屬スル事業分野ノ協定其ノ他事業上ノ調整ニ必要ナル事項

附 錄 中央農業協力會會則

ハシムルモノトス

第三章 機關

第七條 本會ニ左ノ役員ヲ置ク

會長 一名

副會長 一名

理事 若干名

評議員 若干名

第八條 會長及副會長ハ理事會ニ於テ之ヲ選任ス

理事ハ會員ノ代表者ヲ以テ之ヲ充ツ但シ理事會ニ於テ必要アリト認ムルトキハ會員以外ノ者ヨリ之ヲ選任スルコトヲ得

會長、副會長及前項但書ノ規定ニ依ル理事ノ選任ニ付テハ農林大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

評議員ハ關係官廳官吏、準會員ノ代表者及農業ニ關スル學識經驗アル者ノ中ヨリ理事會ニ於テ之ヲ推薦ス

第九條 會長、副會長及前條第二項但書ノ規定ニ依ル理事ノ任期ハ二年評議員ノ任期ハ一年トス但シ重任ヲ妨グズ補缺ノ爲選任セラレタル者ノ任期ハ前任者ノ任期ヲ繼承スルモノトス

役員ハ任期滿了後ト雖モ事務ノ遂行ニ支障アルトキハ後任者ノ就任スル迄仍其ノ職務ヲ行フモノトス

五 其ノ他必要ナル事項

前項各號ニ掲グル事項ニシテ重要ナルモノニ付テハ農林大臣ノ承認ヲ受クルモノトス

第十五條 本會ノ經費ハ會員ノ離出金其ノ他ノ收入ヲ以テ之ニ充ツ

第十六條 會則ノ變更ハ理事會ノ議ヲ經テ農林大臣ノ承認ヲ受クルコトヲ要ス

第十七條 本會ノ會務執行ニ關シ必要ナル細則ハ會長之ヲ定ム

附 則

本會則ハ昭和十六年四月十八日ヨリ之ヲ施行ス

法規索引

〔五十音字順〕

ア
麻袋ノ回收ニ關スル件……………統…一四〇
イ
有價證券移轉稅法抄……………他…一五
有畜農業獎勵規則……………獎…三
諸類配給統制規則……………統…五七
醫師法抄……………他…一六六
醫藥品及衛生材料生産配給
統制規則抄……………統…六
醫療設備ヲ有スル利用組合
等ノ農林厚生兩省共管並
ニ員外利用ニ關スル件…産…一七
醫療ニ關スル事業ヲ行フ産
業組合及産業組合聯合會
事業報告書ニ關スル件…産…一七

醫療利用組合ノ設立並醫療
事業兼營ニ依ル産業組合
定款變更認可稟請ノ件…他…一六
異例ニ屬スル定款規定ニ關
スル件……………産…一七
〔隱居〕ヲ脱退ノ原因ト爲ス
旨ノ定款ニ關スル件…産…一四九
印紙稅法抄……………他…二〇
印紙稅ニ關スル件……………他…三〇
印紙稅ニ關スル大藏省主稅
局長通牒要旨……………他…三
カ
會計規則抄……………他…二八
價格等統制令抄……………統…六七
價格等統制令施行規則抄…統…三
瓦斯用木炭統制規則抄…統…二八
瓦斯用木炭統制規則施行ニ
關スル件抄……………統…三三
家畜市場法施行規則抄…他…三五

加入豫約者ノ貯金ニ關スル
件……………産…一四三
家屋稅法抄……………他…二
家屋稅法施行規則抄……………他…二
家屋稅法施行細則抄……………他…二
簡易生命保險積立金貸付規
則……………他…一三
乾藪販賣利用組定款及業
務執行ニ關スル規定變更
認可ニ關スル件……………産…一三
監事ノ被選資格ニ關スル件
……………産…一四五
監事ノ職務權限ニ關スル件
……………産…一四五
キ
生絲配給統制規則……………統…一九
生絲販賣組合設立ニ關スル
件……………産…二〇
牛乳及乳製品配給統制規則

牛乳生産者團體ノ活動促進
ニ關スル件……………他…三三
牛豚肥育事業獎勵規則……………獎…三三
行政區劃變更ノ場合ニ於ケル
ル産業組合ノ區域ニ關ス
ル件……………産…三九
漁業組合ト産業組合トノ連
絡協調ニ關スル件……………産…三九
漁業共同施設獎勵規則……………獎…三三
漁業經營費低減補助金交付
規則……………獎…三六
銀行等資金運用令抄……………統…三三
銀行等資金運用令施行規則
抄……………統…三三
金錢債務臨時調停法……………負…三二

スル件……………産…一四三
鶏卵配給統制規則……………統…一三三
兼營組合ニ加入スルノ件……………産…一四二
繭絲關係ノ産業組合及同聯
合會ノ華中蠶絲株式會社
株式取得ニ關スル件……………産…一五六
公共團體ノ意義ニ關スル件
……………産…一三三
公定價格表等ノ表示方ニ關
スル件……………統…一三六
購買組合ニ於ケル肥料取扱
ニ關スル件……………産…一三五
購買組合ノ事業執行ニ關ス
ル件……………産…一七六
購買組合度量衡器販賣免許
ノ件……………産…一七六

購買組合ノ煙草供給方ニ關
スル件……………産…一七七
購買組合聯合會ヲ鹽元賣捌
人ニ指定ノ件……………産…一七九
國家總動員法……………統…三三
國產羊毛ノ購買制限ニ關ス
ル件……………統…二二
黑糖集荷統制規則……………統…二二五
黑糖集荷統制規則第一條及
第三條ノ規定ニ依ル指定
……………統…二二六
國民更生金庫法……………他…三三
國民更生金庫法施行規則……………他…三六
國民更生金庫法施行令……………他…三九
國民健康保險法……………他…一七三
國民健康保險法施行規則……………他…一七九
國民健康保險制度ノ實施ト
醫療事業ヲ行フ産業組合
及同聯合會ノ指導方針ト
ニ關スル件……………他…一八〇

國民健康保險組合ノ事業計
畫書及保險料算出ノ基礎
ヲ示シタル書面ニ關スル
件……………他…一九二
國民健康保險組合事業ヲ行
フ法人ニ關スル件……………他…一九七
國民健康保險組合ノ事業ヲ
行フ産業組合ノ會計ニ關
スル件……………他…二〇〇
國民健康保險組合ノ事業ヲ
行フ産業組合ノ定款變更
例及國民健康保險規程例
ニ關スル件……………他…二〇一
國民健康保險組合ノ事業ヲ
行フ産業組合ニ於ケル直
營診療所ノ經費ニ關スル
件……………他…二〇二
國民貯蓄組合法……………他…二〇三
國民貯蓄組合法施行規則……………他…二〇五
穀物倉庫建設補助ニ關スル

件……………獎…二
小作料統制令抄……………統…九
小作料統制令施行規則……………統…一〇三
小麥増殖獎勵規則……………獎…一三
小麥ノ集荷販賣ニ關スル件
……………産…一七四
小麥粉等製造配給統制規則
第七條ノ場合指定ノ件……………統…一五
小麥粉等製造配給統制規則
……………統…一五
小麥粉等製造配給統制規則
取扱要項……………統…一五
小麥粉等製造配給統制規則
第二條第一項ノ規定ニ依
ル小麥粉製造業者指定ノ
件抄……………統…一五
小麥粉等製造配給統制規則
第二條第一項ノ規定ニ依
ル中央小麥粉配給機關指
定ノ件……………統…一五

小麥粉等製造配給統制規則
第六條第二項ノ場合指定
ノ件……………統…一五
米糠配給統制規則……………統…一八
サ
財產目錄ノ様式ニ關スル件
……………産…二〇三
砂糖配給統制規則抄……………統…二二
砂糖配給統制規則第七條ノ
規定ニ依ル地域指定ノ件
……………統…二二四
酒釀造販賣購買生産組合設
立ノ件……………産…二二九
産業組合及産業組合聯合會
ノ登記名義人ノ表示ノ變
更ノ登記ニ關スル件……………産…二二九
産業組合及産業組合聯合會
取扱心得……………産…二六
産業組合及産業組合聯合會ノ

財產目錄、貸借對照表、 事業報告書及剩餘金處分 案樣式ニ關スル件……………産… 八三	産業組合課稅取扱ニ關スル 件……………他… 七	業ニ關スル件……………産… 一八三
産業組合及同聯合會ノ有價 證券取得ニ關スル件……………産… 一六一	産業組合自治監査法……………監… 一	産業組合中央金庫特別融通 及損失補償法……………金… 一〇
産業組合解散命令ニ對スル 訴願ノ件……………産… 一三三	産業組合自治監査法施行令 ……………監… 二	産業組合中央金庫特別融通 及損失補償法施行規則……金… 三
産業組合力會社ノ株式引受 ニ關スル件……………産… 一五七	産業組合自治監査法施行規 則……………監… 七	産業組合中央金庫特別融通 及損失補償法施行規則第 八條ニ依ル命令……………金… 一七
産業組合力共同シテ農業倉 庫經營ニ關スル件……………倉… 四二	産業組合製絲滿價配分平衡 資金ノ積立ニ關スル件……………産… 一七四	産業組合中央金庫ノ債券購 入特約預金取扱開始ニ關 スル件……………産… 一六〇
産業組合力雜糞ノ共同飼育 ヲナスノ件……………産… 一七六	産業組合設立許可取消ノ件 ……………産… 一三九	産業組合中央金庫ノ資金計 畫書ニ關スル件……………金… 一七
産業組合加入申込書ノ印紙 稅ニ關スル件……………他… 三三	産業組合其ノ他特別法人ニ 對スル國庫補助金交付指 令ニ關スル件……………他… 一六	産業組合中央金庫法……………金… 一
産業組合監査聯合會監査規 程……………監… 一三	産業組合中央會ノ設立及事 業手續……………監… 九	産業組合中央金庫法第二十 則……………金… 六

五條及第二十八條ニ依ル 命令……………金… 一三	産業組合ノ施設スル電氣工 作物ニ關スル件……………産… 一八〇	産業組合ノ理事及監事ノ資 格ニ關スル件……………産… 一四三
産業組合登記取扱手續……………産… 三六	産業組合ノ自治監査ニ於ケ ル書類ニ對シ印紙稅法適 用ニ關スル件……………他… 三	産業組合法改正ニ關スル件 ……………産… 一三
産業組合同聯合會定款規定 ニ關スル件……………産… 一四九	産業組合ノ診療所開設許可 及醫療設備ノ員外利用取 扱方ニ關スル件……………産… 一七九	産業組合法施行規則……産… 一三
産業組合登記簿等ノ謄本抄 本其他交付請求手数料ニ關 スル件抄……………他… 三六	産業組合ノ電氣工作物施設 ニ關スル件……………産… 一八二	産業組合法施行規則第五條 事務取扱方ニ關スル件……………産… 一五三
産業組合ニ於テ監事力招集 セル總會ノ範圍並ニ官選 清算人ノ解任手續ニ關ス ル件……………産… 一四六	産業組合ノ同業組合加入ニ 關スル件……………産… 一三三	産業組合法施行規則第十一 條ノ四ノ事業上ノ餘裕金 ノ範圍ニ關スル件……………産… 一三七
産業組合ニ關スル登記事務 取扱所ノ件……………産… 五四	産業組合ノ菜種油粕製造ニ 關スル件……………統… 二	産業組合法施行規則中改正 ニ關スル件……………産… 一四八
産業組合ニ支配人ヲ置キ得 ルヤ否ヤノ件……………産… 一四四	産業組合ノ賣藥並藥品取扱 ニ關スル件……………産… 一六六	産業組合法第一條第七項ノ 事業ヲ行フ利用組合ニ水 道布設許可ニ關スル件……………産… 一八三
産業組合ノ業務取締ニ關ス ル件……………産… 一三八	産業組合ノ利用事業トシテ ノ自動車設備ニ關スル件	
産業組合ノ公社債應募ニ關 スル件……………産… 一五九		

産業組合法第一條第八項ノ規定ニ依ル利用組合ノ設備指定ノ件……………	産…一七九
産業組合法第一條第四項ノ規定ニ依ル市街地指定ノ件……………	産…一五一
産業組合法第九條ノ取扱ニ關スル件……………	産…一四〇
産業組合法第七十三條ノ二ニヨリ地方長官ノ選任シタル清算人ノ報酬ニ關スル件……………	産…一四七
産業組合法第二十三條ノ權利ノ制限ニ關スル件……………	産…一四六
産業組合法第四十六條ノ二ノ規定ニ依ル拂戻準備金ノ管理ニ關スル件……………	産…一五〇
産業組合法第六條ノ三ノ規定ニ依ル主務大臣ノ職權ノ一部委任ニ關スル件……………	産…一三七
産業組合法中加工ノ意義ニ關スル件……………	産…一七四
産業組合法中疑義ニ關スル件……………	産…一七五
産業組合法中主務大臣ノ行フ職務ニ關スル件……………	産…一三三
産業組合名稱ニ關スル件……………	産…一三八
産業組合ノ餘裕金管理運用方法トシテノ金銭信託ニ關スル件……………	産…一五八
産業組合理事又ハ清算人選任ニ關スル件……………	産…一四三
産業組合聯合會カ借入ヲ爲ス場合ニ其ノ所屬組合又ハ聯合會カ保證スルノ件……………	産…一六九
産業組合聯合會ノ設立許可ニ關スル件……………	産…一三三
産業債券令……………	金…一三八
産商處理改善助成規則……………	獎…一五
蠶絲業組合法抄……………	他…二九
蠶絲業統制法抄……………	統…三五
蠶絲業統制法ノ一部施行期日ノ件……………	統…二九
蠶絲業統制法施行令抄……………	統…三〇
蠶絲業統制法施行規則抄……………	統…三〇
蠶絲業統制法施行ニ關スル件……………	統…三〇
産卵能力檢定規則抄……………	他…二六
市街地信用組合ノ目的ニ關スル件……………	産…一五四
市街地信用組合ノ事業用土地建物ノ取得出資配當並ニ特別配當ニ關スル件……………	産…一五四
市區町村ノ農業倉庫業ニ關スル件……………	倉…一四七
自作地登記令抄……………	他…三七
自作農創設維持補助助成規則……………	獎…一五

市制第六條ノ市ニ準スル市ノ區域ヲ超ユル産業組合ノ設立許可ニ關スル件……………	産…二二
市制町村制施行規則抄……………	他…二二〇
自治管理倉庫建設補助ニ關スル件……………	他…一六〇
市町村負債整理委員會令……………	負…一九
種雜種卵拂下規則抄……………	他…二三五
支那事變農村負債處理資金融通ニ關スル件……………	負…一四二
事務所ノ位置ニ關スル件……………	産…一四二
事務所ノ地番變更ニ關シ登記囑託方ノ件……………	産…一四二
出資額ニ對スル特別配當ニ關スル件……………	産…一四八
出資第一回拂込金額ニ關スル件……………	産…一四三
出資ノ第一回拂込金額ニ關スル件……………	産…一四三
出資拂込ニ關スル件……………	産…一四三
出資一口ノ金額減少ニ依ル持分拂戻ノ件……………	産…一四三
種畜設置獎勵規則……………	獎…二二
職員健康保險法……………	他…二〇四
植物油脂及植物油脂原料種實配給統制規則……………	統…一七〇
食料油配給統制ニ關スル件……………	統…一三五
食料品罐詰用空罐配給統制規則……………	統…一七〇
所得稅法抄……………	他…一
所得稅法施行規則抄……………	他…一
所得稅法施行細則抄……………	他…二
書面表決ニ關スル件……………	産…一四六
庶民金庫法……………	他…四六
庶民金庫法施行規則……………	他…五二
庶民金庫業務ノ代理ニ關スル件……………	他…五三
庶民金庫ノ業務代理ヲ爲ス信用組合ニ關スル件……………	他…五三
飼料自給獎勵規則……………	獎…三〇
飼料配給統制法……………	統…三三
飼料配給統制法施行期日ノ件……………	統…三三
飼料配給統制法施行令……………	統…三三
飼料配給統制法施行規則……………	統…三三
飼料販賣取締規則……………	統…三三
飼料販賣取締規則ニ依ル飼料ノ指定及指定飼料ノ販賣價格指定ノ件……………	統…三七
新製品ノ解釋ニ關スル件……………	統…八一
薪炭瓦斯發生裝置設置獎勵規則……………	獎…四三
薪炭材需給調整規則抄……………	統…二三
薪炭材需給調整規則施行ニ關スル件……………	統…二三
薪炭材需給調整施設助成要綱……………	獎…四六
信用組合及信用組合聯合會ノ資金計畫書ニ關スル件……………	産…一〇三

信用組合聯合會ノ合併ニ關スル件	産	一三二
信用組合經由中小商工業業者ニ對スル資金融通ニ關スル件	産	一五六
信用組合ノ醫療施設ニ關スル件	産	一六九
信用組合ノ負債整理資金ノ借入額及負債償還資金ノ貸付額ノ最高限度ニ關スル件	負	一七〇
診療所取締規則	他	一六六
水産試験場種苗拂下規則抄	他	一三五
水産増殖獎勵規則	獎	一七五
製鹽業者ノ産業組合組織ニ關スル件	産	一七三
生活必需品配給機構整備ニ對スル市街地購買組合ノ取扱方ニ關スル件	産	一七六
生活必需品配給機構整備ニ關スル件	産	一七〇
生活必需品統制令抄	統	一七〇
生活必需品指定規則	統	一七〇
青果物配給統制規則	統	一七〇
製絲業法	他	一七三
製絲業法施行規則	他	一七三
青少年雇入制限令抄	統	一八二
青少年雇入制限令施行規則抄	統	一八四
政府米供出及管理米ノ販賣ニ關スル件	産	一七三
昭和三年度耕地整理事業及産業組合地方資金融通條例ニ關スル件	産	一七五
昭和十五年勅令第四百六十八號第一條ノ規定ニ依ル	産	一七五
統制農産物及指定道府縣	統	一三三
昭和十五年勅令第四百六十八號第四條ノ規定ニ依ル	統	一三三
茶種油賣渡命令ニ關スル件	統	一三三
昭和十五年勅令第四百六十八號第二條但書第二號ニ依ル産業組合ノ茶種加工許可ニ關スル件	統	一三三
全國産業組合役職員共濟制度ニ關スル件	産	一三四
戰時食糧増産完遂上部落農業團體ニ關スル實踐要綱ニ關スル件	産	一三五
損失補償後ノ處理ニ關スル件	金	一三五
存立時期滿了ニ因リ解散シ	金	一三五

タル組合ノ繼續登記ニ關スル疑義ノ件	産	一五五
大豆及大豆油等配給統制規則	統	一五五
代理議決權制限ニ關スル件	産	一四六
脱退ノ豫告ニ關スル件	産	一四九
脱退ノ禁止ニ關スル件	産	一四九
脱退事由ノ制限ニ關スル件	産	一四九
煙草耕作人信用組合設立ニ關スル件	産	一三〇
玉絲製造ニ關スル件	統	一〇九
團體旅行貯金ニ關スル件	産	一五五
畜産共同施設獎勵規則	獎	一六
畜産物販賣斡旋及受託販賣	獎	一六
獎勵規則	獎	一七〇
地主カ販賣組合ニ加入スルノ件	産	一四二
地方異種金融機關ノ金利協定ニ關スル件	産	一六六
地方金利平準化ニ關スル件	産	一六三
地方金利平準化ニ關スル件	産	一六三
地方金融平準化ニ關スル件	産	一六七
地方農業協力體制ニ關スル件	産	一七三
中央農業協力會ニ關スル件	産	一七三
町村農會ニ於テ農業倉庫ヲ經營スル場合ニ於テ特ニ注意ヲ要スル事項ニ關スル件	倉	一八
貯金額ニ應シ特別配當ヲ爲スノ件	産	一八
貯金獎勵ノ爲抽籤法ニ依リ	産	一八
割増金附與ニ關スル件	産	一五五
貯金利率引下狀況報告方ノ件	産	一四四
貯蓄銀行法抄	他	一六六
苧麻、大麻等統制規則抄	統	一〇九
苧麻、大麻等ノ購買制限ニ關スル件	統	一〇九
定款ノ規定上注意スヘキ事項ノ件	産	一三五
定款變更ニ關スル總會又ハ總代会召集通知事項ノ件	産	一三五
澱粉類配給統制規則抄	統	一三三
澱粉類配給統制規則第一條及第三條ノ規定ニ依ル指定	統	一三三

ノ規定ニ依リ同法第十一條ノ事業ヲ行フコトヲ得ル法人指定……………負…九

農村負債整理組合法ニ依リ負債整理事業ヲ行フ信用組合ニ關スル件……………負…三

農村負債整理組合法第八條ノ規定ニ基ク法人指定ニ關スル件……………負…三

農村負債整理資金特別融通及損失補償法……………負…二〇

農村負債整理資金特別融通及損失補償法施行規則……………負…三

農村負債整理特別融通資金融通ニ關スル件……………負…二五

農村負債整理特別融通資金融通ニ關スル注意事項……………負…二九

農村負債整理ニ關スル訓令抄……………負…三三

農地調整法抄……………他…二二五

農地調整法施行令抄……………他…二二五

農地調整法施行規則抄……………他…二二六

農林商工兩省所管事務調整方針要綱……………産…一八四

配給機構整備ニ關スル件……………産…一八七

販賣組合事業ニ關スル件……………産…一七〇

販賣組合ニ於ケル醬油醸造ニ關スル件……………産…一七一

販賣組合ノ販賣方法ニ關スル件……………産…一七〇

皮革配給統制規則……………統…二二

肥料消費調整規則……………統…八

肥料消費調整規則第二條ノ規定ニ依ル肥料施用ノ順位……………統…九

肥料消費調整規則第四條ニ

依ル團體指定……………統…二〇

肥料消費調整規則第六條ノ帳簿ヲ備フルコトヲ要セサル者指定……………統…二〇

肥料配給統制規則……………統…六

肥料配給割當制度ニ關スル件抄……………統…二〇

肥料配給統制助成規則……………獎…四七

肥料配給統制助成ニ關スル件……………獎…四九

肥料配給改善助成規則抄……………獎…五〇

副業獎勵規則……………獎…三

副業獎勵規則ニ依リ獎勵金ヲ交付スヘキ法人及組合指定……………獎…四

副業獎勵施設ニ關スル件……………獎…五

副蠶絲配給統制規則……………統…二〇九

負債整理組合ノ産業組合加

入ニ關スル件……………負…三

穀ノ販賣先指定等ニ關スル件抄……………統…一八

部落會及部落農業團體ノ調整ニ關スル件……………産…一五

米穀管理規則……………統…二六

米穀管理實施要綱……………統…三〇

米穀管理資金融通ニ關スル件……………産…一七三

米穀自治管理法抄……………他…一四三

米穀自治管理法施行令抄……………他…一四七

米穀自治管理法施行規則抄……………他…一五三

米穀自治管理法施行令第二十一條ノ再保管ニ關スル件……………他…一六〇

米穀自治管理法施行ニ伴フ粗検査ニ關スル件……………他…一六三

米穀貯藏獎勵規則……………獎…九

米穀搗精等制限令抄……………統…四

米穀搗精等制限規則……………統…四

米穀搗精等制限規則第二條第四號ノ事由ニ關スル件……………統…四

米穀統制法施行令抄……………他…一六四

米穀統制法施行規則抄……………他…一六五

米穀ノ販賣手数料ニ關スル件……………産…一七三

米穀配給統制法抄……………統…一

米穀配給統制法第四條第一項ノ規定ニ依ル米穀ノ最高販賣價格ニ關スル件……………統…三

米穀配給統制法ノ一部施行期日ニ關スル件……………統…三

米穀配給統制法ノ一部施行期日ニ關スル件……………統…二

米穀配給統制法一部施行ニ

關スル件抄……………統…三

米穀配給統制法一部施行ニ關スル件……………統…二

米穀配給統制法一部施行ニ關スル件……………統…二

貿易組合法抄……………他…三三

貿易組合法施行規則抄……………他…三三

法人ノ産業組合理事就任ニ關スル件……………産…一四

暴利行為等取締規則……………統…九

北海道拓殖銀行法抄……………他…一六

保健婦規則……………他…二〇三

保證責任組織ノ組合ニ於ケル保證ノ方法ニ關スル件……………産…一四八

保證責任組織ノ組合ニ於ケル損失分擔ニ關スル件……………産…一四八

康保險規程例……………	元
農村負債整理組合法ニ依リ負債整理事業ヲ行フ信用組合ノ定款變更例……………	三
庶民金庫業務ノ代理ニ關スル件……………	四
產業組合中央會定款……………	五
產業組合役職員共濟會定款及規程……………	五
產業組合中央金庫定款……………	六
產業組合監査聯合會定款……………	六
保證責任全國購買販賣組合聯合會定款……………	七
保證責任大日本生絲販賣購買組合聯合會定款……………	七
全國產業組合製絲組合聯合會則……………	七
中央農業協力會會則……………	七

昭和十六年十月十二日印刷
昭和十六年十月十五日發行

農林省總務局編纂



【定價】 壹圓六拾錢

(送料共)

發行者

東京市麴町區有樂町一丁目十一番地
中島寅之助

印刷者

東京市麴町區麴町五丁目二番地
杉田彌太郎

印刷所

東京市麴町區麴町五丁目二番地
杉田屋印刷所

發行所

東京市麴町區有樂町一丁目十一番地
產業組合中央會

電話 丸ノ内(23)二五五一—四五
振替口座東京四七二四番





